

# 糸島市国土利用計画 (参考資料編)

令和3年3月

糸島市



# 目次

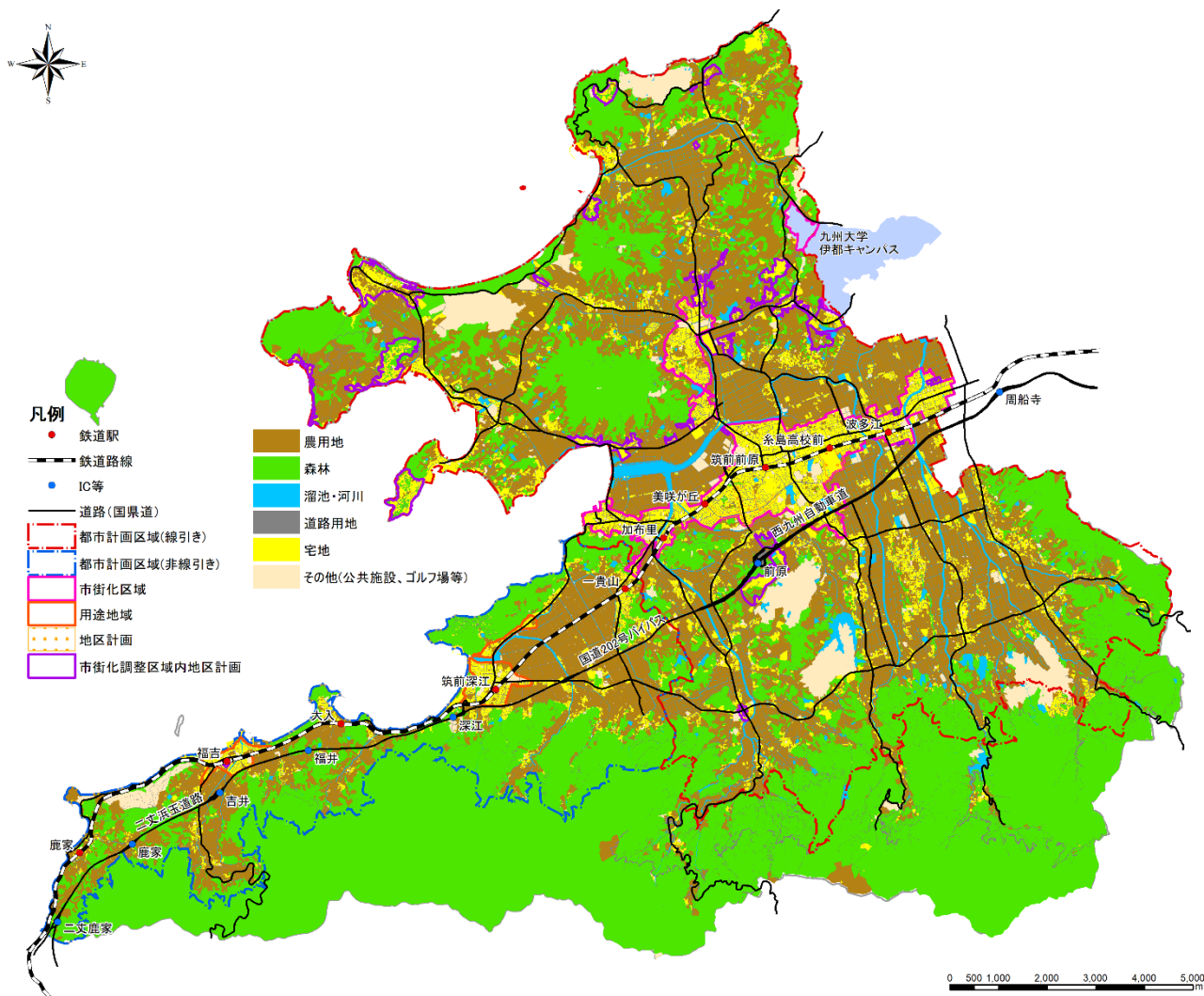
<b>参考資料 1</b> 市土の利用区分と定義 .....	1
<b>参考資料 2</b> 土地利用現況図（令和 2 年） .....	2
<b>参考資料 3</b> 土地利用構想図（令和 1 2 年） .....	3
<b>参考資料 4</b> 土地利用転換マトリックス .....	5
<b>参考資料 5</b> 利用区分ごとの推計面積 .....	6
○農用地の推計 .....	6
○森林の推計 .....	7
○宅地の推計 .....	8
<b>参考資料 6</b> 土地利用にかかる分級評価 .....	9
○農用地適正評価 .....	9
1. 農用地適正評価指標の設定 .....	9
2. 農用地の条件評価 .....	14
3. 農用地適正評価の結果 .....	16
○森林適正評価 .....	17
1. 森林適正評価指標の設定 .....	17
2. 森林の条件評価 .....	22
3. 森林適正評価の結果 .....	25
○都市的土地利用適正評価 .....	26
1. 都市的土地利用適正評価指標の設定 .....	26
2. 都市的土地利用の条件評価 .....	32
3. 都市的土地利用適正評価の結果 .....	36
○産業立地適正評価 .....	37
1. 産業立地適正評価指標の設定 .....	37
2. 産業立地の条件評価 .....	41
3. 産業立地適正評価の結果 .....	43
<b>参考資料 7</b> 土地利用参考図類 .....	44
1. 標高図 .....	44
2. 公共施設分布図 .....	45
3. 法適用現況図 .....	48
4. 水面・河川・水路図 .....	49
5. 災害エリア .....	50

## 参考資料1 市土の利用区分と定義

区分	定義
1. 農用地	農地法第2条第1項に定める農地及び採草放牧地の合計をいう。
(1) 田	耕地の目的に供される土地であって畦畔を含み水路、農道を含まない。
(2) 畑	
(3) 採草放牧地	農地以外の土地で、主として耕作又は養畜の事業のための採草又は家畜の放牧の目的に供されるものをいう。
2. 森林	国有林と民有林の合計をいう。
(1) 国有林	ア. 林野庁所管国有林 森林法第2条第3項に規定する国有林のうち、林野庁が所管する森林をいう。 官行造林地も含む。 イ. その他省庁所管国有林 森林法第2条第3項に規定する国有林のうち、林野庁所管以外の森林をいう。
(2) 民有林	森林法第2条第1項に定める森林であって同条第3項に定めるものをいう。
3. 原野	森林以外の草生地であり、湿原、未利用の野草地など（採草放牧地は除く）をいう。
4. 水面・河川・水路	水面・河川・水路の合計をいう。
(1) 水面	湖沼（人造湖及び天然湖沼）及びため池の満水時の水面面積であり、堤体は含まない。
(2) 河川	一級河川、二級河川、準用河川における河川区域をいう。
(3) 水路	農業用排水路をいう。
5. 道路	一般道路、農道及び林道の合計をいう。
(1) 一般道路	道路法第2条第1項に定める道路（高速自動車国道、一般国道、県道、市町村道）をいう。
(2) 農道	農地面積に一定率を乗じた圃場内農道と「市町村道路台帳」の農道延長に一定幅員を乗じた圃場外農道をいう。
(3) 林道	国有林林道及び民有林林道をいう。
6. 宅地	建物の敷地及び建物の維持又は効用を果たすために必要な土地をいう。
(1) 住宅地	住宅として機能する建物が存在している用地をいう。
(2) 工業用地	従業員4人以上の事業所の敷地をいう。
(3) その他の宅地	「宅地」から「住宅地」と「工業用地」を除いた土地をいう。
その他	上記のいずれにも該当しない土地をいう。
合計	市土面積。
DID地区	国勢調査による「人口集中地区」をいう。 ※人口密度が1平方キロメートル当たり約4,000人以上の調査区が互いに隣接して、人口が5,000人以上となる地域。



## 参考資料2 土地利用現況図（令和2年）



出典：

【土地利用】H29 都市計画基礎調査（二丈都市計画、福岡広域都市計画）土地利用現況（Shape 形式）

【都市計画区域】都市計画図データ（ジオデータベース形式）

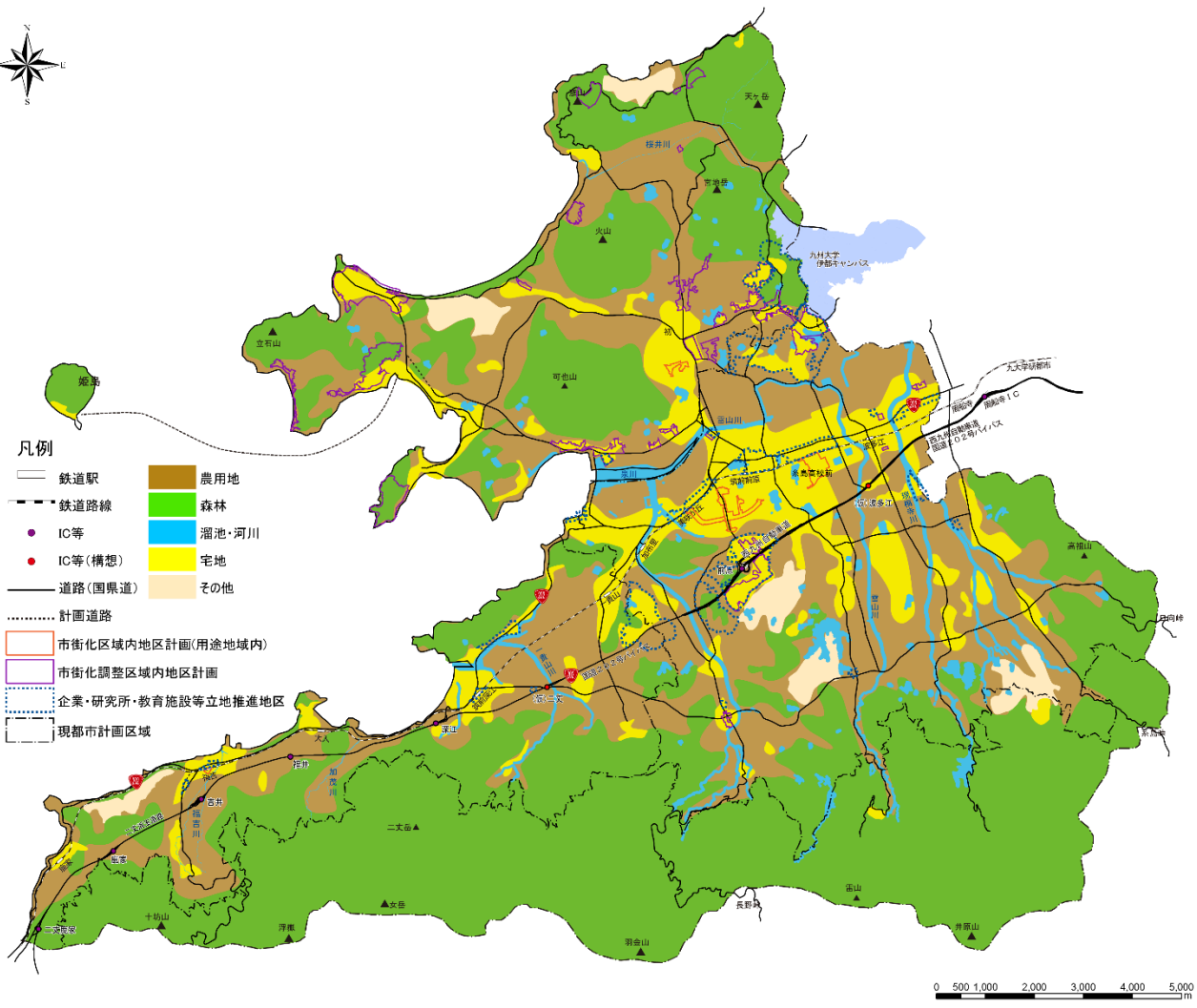
【企業・研究所・教育施設など立地推進地区】平成 28 年度 糸島市企業立地推進計画 指定地域図、

【市街化調整区域内地区計画】都市計画図データ（ジオデータベース形式）、波多江区画整理図、泊ほか区画整理

作成方法：土地利用現況の属性を農用地、森林…に再分類（右図参照）

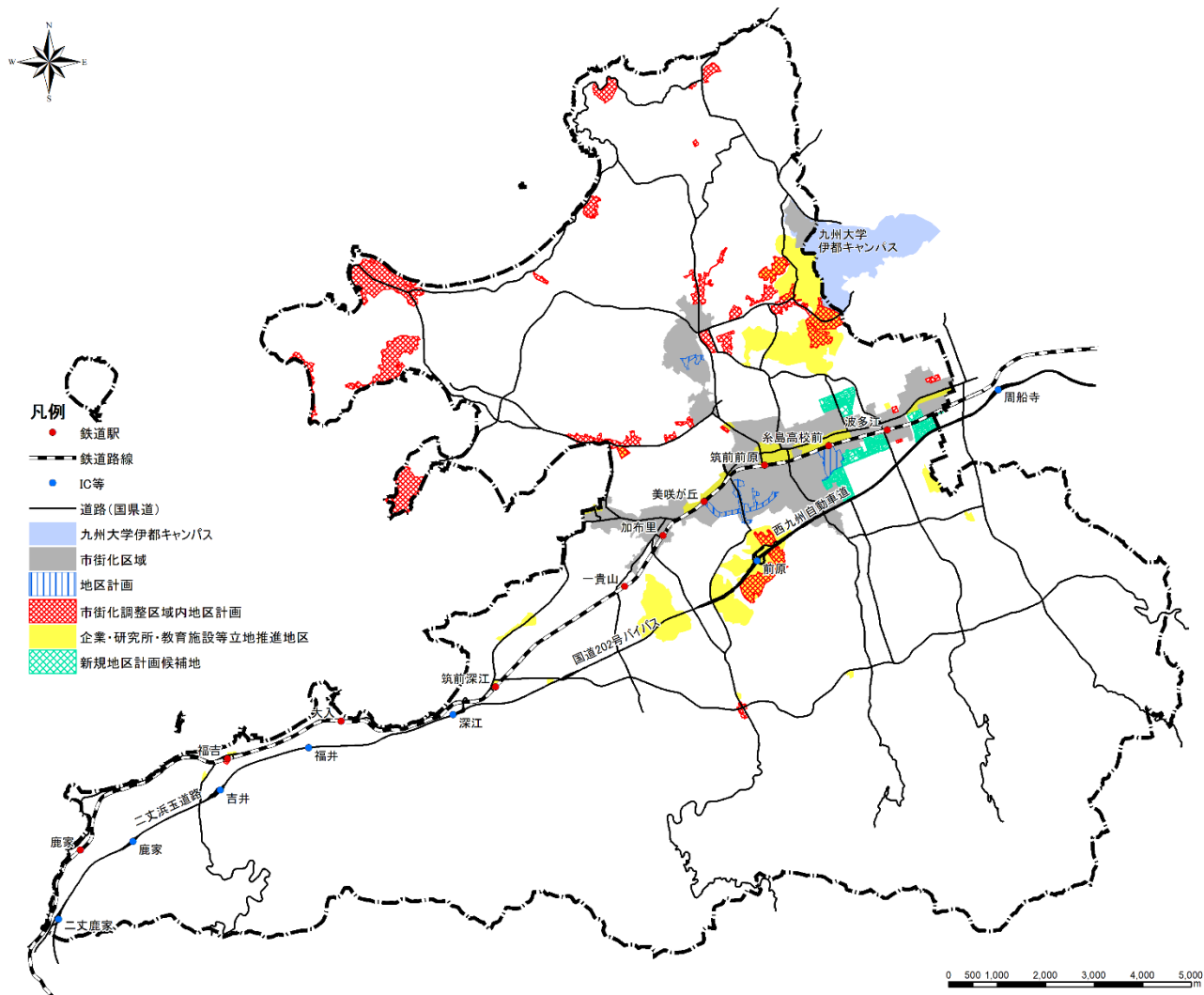
再分類結果	用途No.	用途
農用地	1	田
	2	畑
	5	その他自然地 1
	6	その他自然地 2
森林	3	山林
	4	水面
溜池・河川	12	道路用地
宅地	7	住宅用地
	8	商業用地(小売業)
	9	商業用地(その他)
	10	工業用地
	13	交通施設用地
	14	公共空地 1
	15	公共空地 2
	18	未利用地宅地
	19	農林漁業施設用地
	その他 (公共施設、ゴルフ場等)	11
17		その他の空地

### 参考資料3 土地利用構想図（令和12年）



- 凡例**
- 鉄道駅
  - - - 鉄道路線
  - IC等
  - IC等(構想)
  - 道路(国県道)
  - ..... 計画道路
  - 市街化区域内地区計画(用途地域内)
  - 市街化調整区域内地区計画
  - 企業・研究所・教育施設等立地推進地区
  - 現都市計画区域
  - 農用地
  - 森林
  - 溜池・河川
  - 宅地
  - その他

○地区計画、市街化調整区域内地区計画、企業・研究所・教育施設など立地推進地区



No.	地区計画名	23	池田前川原地区
1	南風台地区地区計画	24	泊大塚溜池南地区地区計画
2	美咲ヶ丘地区地区計画	25	野辺地区計画
3	名切地区計画	26	福ノ浦地区計画
4	前原東地区地区計画	No.	企業・研究所・教育施設等立地推進地区名
No.	市街化調整区域内地区計画名	1	高田地区
1	泊カツラギ地区地区計画	2	浦志地区
2	板持岩宮地区地区計画	3	前原地区
3	前原インターチェンジ南地区地区計画	4	前原北地区
4	福吉駅南地区計画	5	荻浦・神在地区
5	北新地区地区計画	6	加布里地区
6	松隈田ノ浦地区計画	7	二丈松末地区
7	津和崎才町地区計画	8	二丈福吉A地区
8	小金丸新川地区計画	9	二丈福吉B地区
9	桜井上沖田地区計画	10	二丈深江地区
10	シーサイドピラ地区計画	11	志摩テクノパーク地区
11	桜井大口地区計画	12	前原北部地区
12	ビーチピラ地区計画	13	前原I C地区
13	スコーレヒル地区計画	14	前原I C西地区
14	小富士地区計画	15	前原西部・二丈武・二丈松国地区
15	小富士道目木西地区計画	16	特定工場（工場立地法）
16	小富士道目木東地区計画	17	特定工場（工場立地法）
17	志摩ラウベンコロニー地区計画	18	特定工場（工場立地法）
18	岐志岩野地区計画	19	特定工場（工場立地法）
19	芥屋地区計画	20	特定工場（工場立地法）
20	松隈行合地区計画	21	特定工場（工場立地法）
21	松隈地区計画	22	特定工場（工場立地法）
22	板持蔵ノ前地区	23	サイエンスビレッジ

出典：過年度資料、糸島市総括図、庁内資料

参考資料4 土地利用転換マトリックス

(単位：ha)

区分	基準年次 令和元年	農用地			森林		原野	水面・河川・水路			道路			宅地			その他	増減	目標年次 令和12年					
		計	田	畑	採草 放牧地	計		国有林	民有林	計	水面	河川	水路	計	一般 道路	農道				林道	計	住宅地	工業 用地	その他の 宅地
農用地	4,254					-0.3		-0.3		-0.4	-0.4			-5.5	-5.5			-45.9	-20.5	-21.6	-3.8	-5.0	-57.2	4,197
田	3,500					-0.0		-0.0		-0.3	-0.3			-3.6	-3.6			-25.7	-15.0	-10.7		-3.9	-33.5	3,466
畑	754					-0.3		-0.3		-0.2	-0.2			-1.9	-1.9			-20.2	-5.5	-10.9	-3.8	-1.1	-23.7	730
採草放牧地	0																							0
森林	9,796	0.3	0.0	0.3				0.0	-0.2	-0.2				-0.4	-0.4			-24.1	-2.0	-21.0	-1.1	-0.5	-24.8	9,771
国有林	1,090																							1,090
民有林	8,706	0.3	0.0	0.3				0.0	-0.2	-0.2				-0.4	-0.4			-24.1	-2.0	-21.0	-1.1	-0.5	-24.8	8,681
原野	30	0.0				-0.0		-0.0	-0.0	-0.0				-0.0	-0.0			-4.1	-1.2	-2.0	-0.9	-0.0	-4.3	26
水面・河川・水路	641	0.4	0.3	0.2		0.2		0.2						-0.1	-0.1			-0.2	-0.2		-0.0	-0.3		641
水面	106	0.4	0.3	0.2		0.2		0.2						-0.1	-0.1			-0.2	-0.2		-0.0	-0.3		106
河川	317																							317
水路	218																							218
道路	1,272	5.5	3.6	1.9		0.4		0.4	0.0	0.1	0.1							-2.6	-0.9	-1.6	-0.1	-0.4	3.1	1,275
一般道路	1,005	5.5	3.6	1.9		0.4		0.4	0.0	0.1	0.1							-2.6	-0.9	-1.6	-0.1	-0.4	3.1	1,008
農道	136																							136
林道	131																							131
宅地	2,022	45.9	25.7	20.2		24.1		24.1	4.1	0.2	0.2			2.6	2.6			-1.3	-2.5	3.8	0.9	77.8	2,100	
住宅地	1,366	20.5	15.0	5.5		2.0		2.0	1.2	0.2	0.2			0.9	0.9			1.3		-1.8	3.1	0.1	26.2	1,392
工業用地	41	21.6	10.7	10.9		21.0		21.0	2.0	0.0	0.0			1.6	1.6			2.5	1.8		0.7	0.9	49.7	91
その他の宅地	615	3.8		3.8		1.1		1.1	0.9	0.0	0.0			0.1	0.1			-3.8	-3.1	-0.7		-0.1	1.9	617
その他	3,555	5.0	3.9	1.1		0.5		0.5	0.0	0.3	0.3			0.4	0.4			-0.9	-0.1	-0.9	0.1		5.3	3,560
合計	21,570	57.2	33.5	23.7		24.8		24.8	4.3	0.0	0.0			-3.1	-3.1			-77.8	-26.2	-49.7	-1.9	-5.3		21,570

※図上計測による面積

出典：福岡県土地利用動向調査、庁内資料

作成方法：土地利用の転換が行われる事業区域の施行前（現況）と施工後（計画）の土地利用面積を図上計測により算出し、転換面積を集計した。

前回国土利用計画の土地利用面積は、都市計画基礎調査に基づく実数値で算出していましたが、都市計画基礎調査の統計区分の変更などの影響を防ぐため、福岡県土地利用動向調査の統計数値に統一します。  
 前回数値では、農用地「畑」に耕作放棄地を参入していたことで、農用地面積が統計数値と大きく乖離していました。また、河川や林道などにおいても面積の乖離が見られますが、これらの数値は林道幅員の違いや河川区域と河川水面の面積の違いによる乖離が考えられます。このような都市計画基礎調査の作成方法による乖離をなくすため、統計数値を使用することとしました。

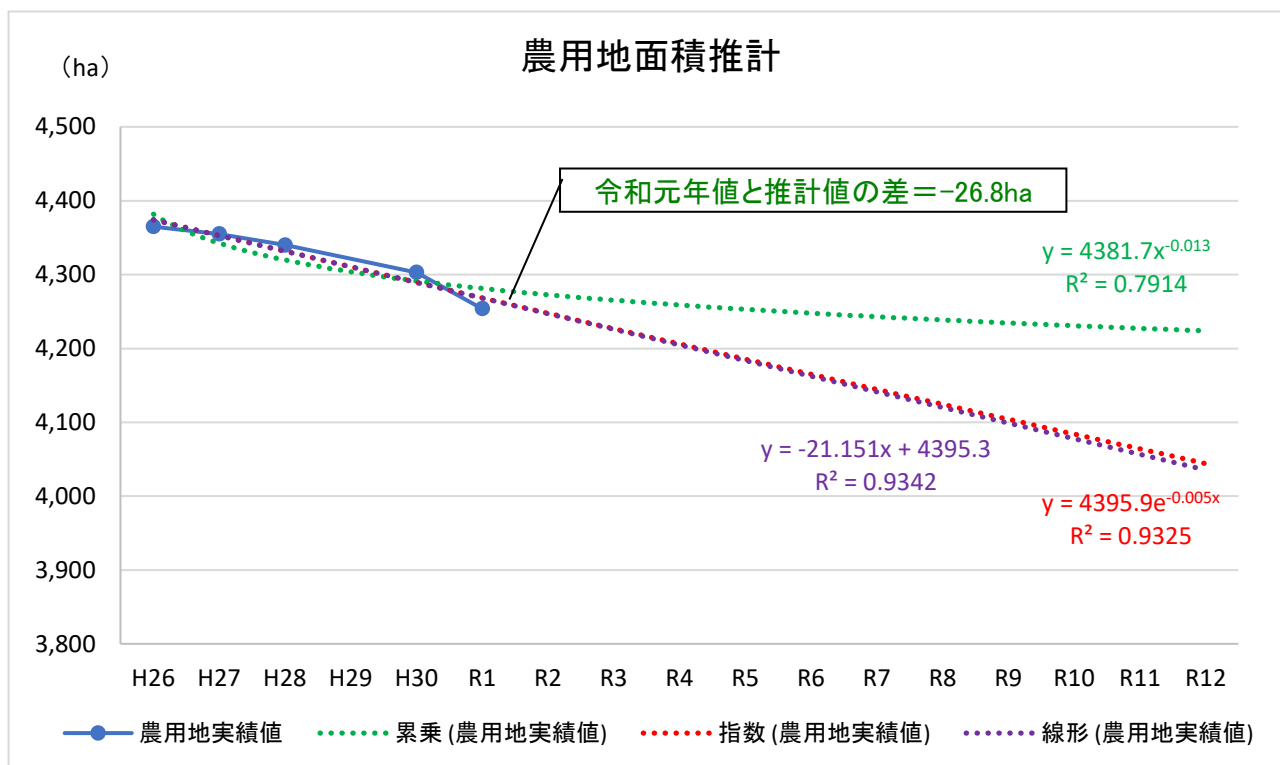
## 参考資料5 利用区分ごとの推計面積

### ○農用地の推計

平成 26 年から令和元年の実績値に基づき、緩やかな減少傾向を示す数式（累乗近似）により令和 11 年の推計値を算定した。

区分	農用地面積				市面積に占める農用地の割合	備考
	田 (ha)	畑 (ha)	採草放牧地 (ha)	計 (ha)		
平成26年	3,560	805	－	4,365	20.2%	
平成27年	3,560	795	－	4,355	20.2%	
平成28年	3,550	790	－	4,340	20.1%	
平成29年	－	－	－	－	－	
平成30年	3,530	773	－	4,303	19.9%	
令和元年	3,500	754	－	4,254	19.7%	
：	：	：	－	：	：	※過年度推移に基づく推計値（累乗）補正なし
令和7年	3,490	752	－	4,242	19.7%	
：	：	：	－	：	：	※田、畑の割合は令和元年割合を使用
令和12年	3,475	749	－	4,223	19.6%	

※資料：土地利用動向調査（平成26年～令和元年実績値）

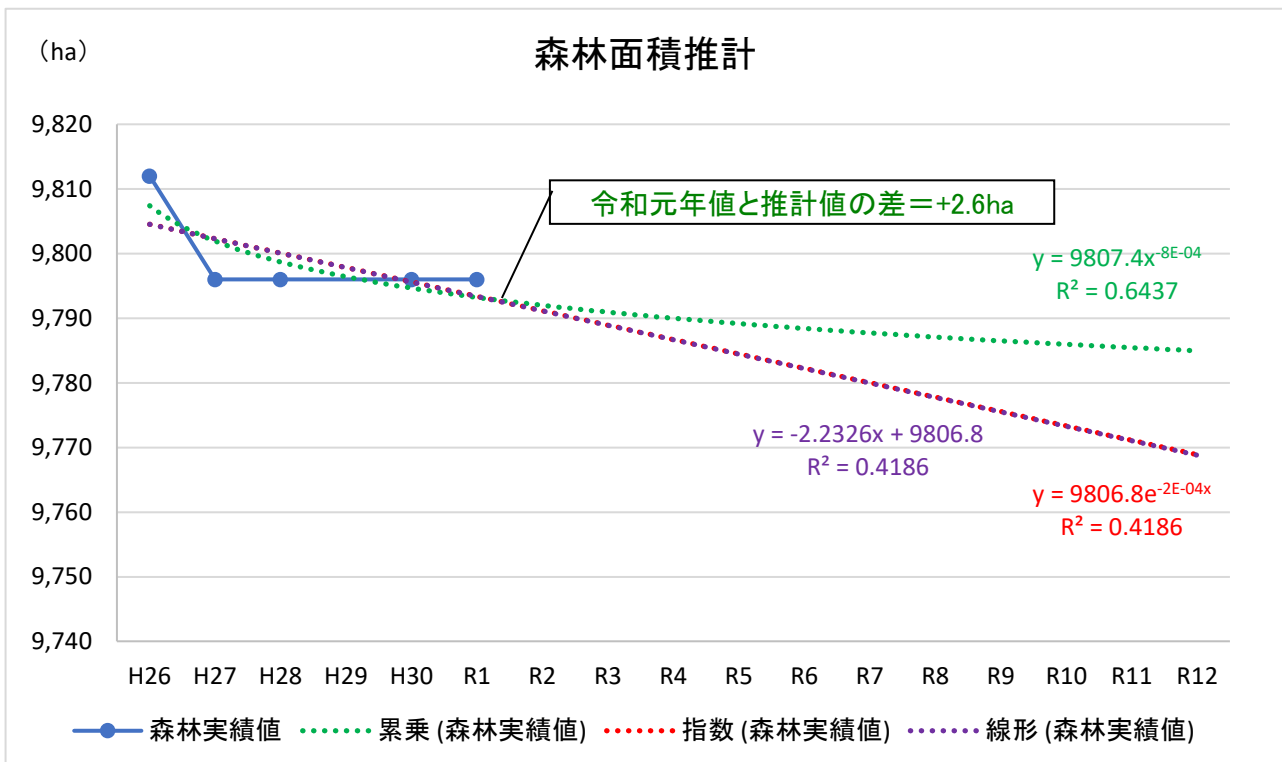


## ○森林の推計

平成 26 年から令和元年の実績値に基づき、緩やかな減少傾向を示す数式（累乗近似）により令和 11 年の推計値を算定した。

区分	森林面積			市面積に占める森林の割合	備 考
	国有林 (ha)	民有林 (ha)	計 (ha)		
平成26年	1,090	8,722	9,812	45.4%	
平成27年	1,090	8,706	9,796	45.4%	
平成28年	1,090	8,706	9,796	45.4%	
平成29年	—	—	—	—	
平成30年	1,090	8,706	9,796	45.4%	
令和元年	1,090	8,706	9,796	45.4%	
:	:	:	:	:	※過年度推移に基づく推計値（累乗）補正なし
令和7年	1,090	8,698	9,788	45.4%	
:	:	:	:	:	※国有林は平成26年以降、増減がないため将来も変動しないとした
令和12年	1,090	8,695	9,785	45.4%	

※資料：土地利用動向調査（平成26年～令和元年実績値）

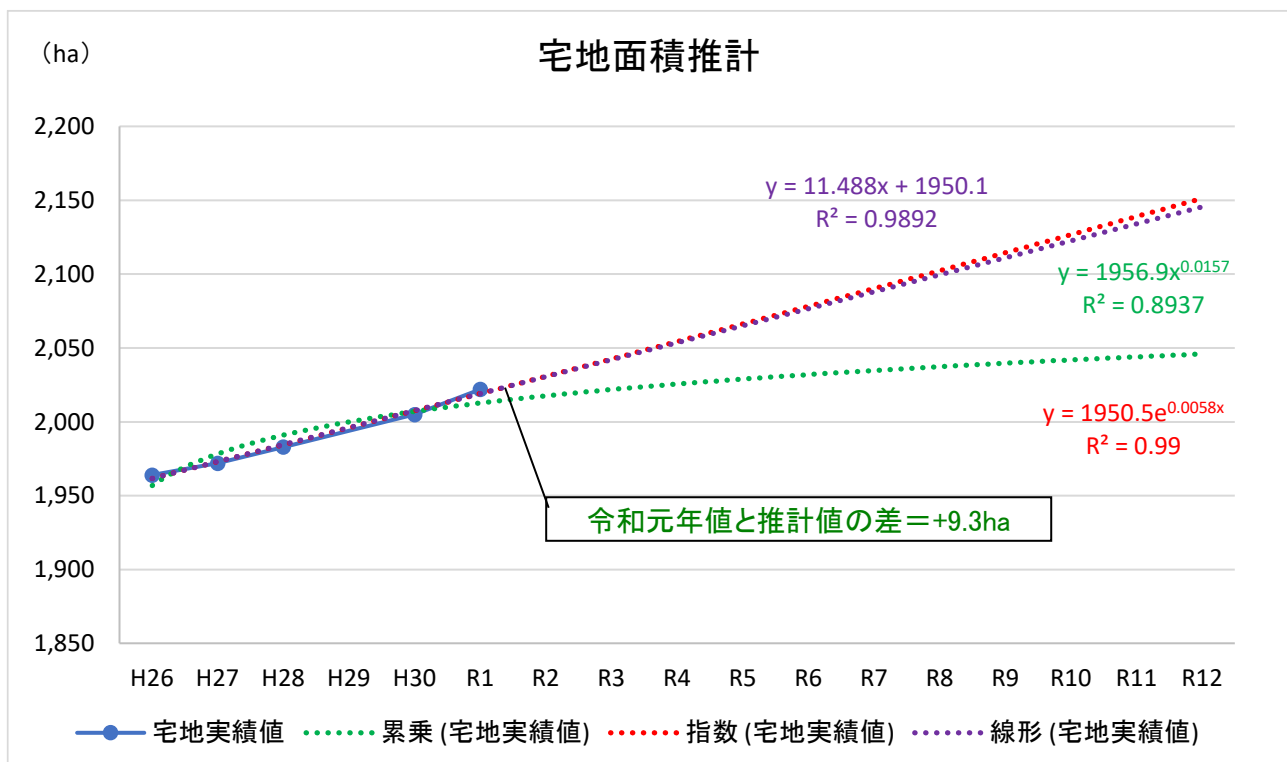


## ○宅地の推計

平成26年から令和元年の実績値に基づき、緩やかな増加傾向を示す数式（累乗近似）により令和11年の推計値を算定した。

区分	宅地面積				市面積に占める宅地の割合	備考
	住宅地 (ha)	工業地 (ha)	その他の宅地 (ha)	計 (ha)		
平成26年	1,325	24	615	1,964	9.1%	
平成27年	1,332	25	615	1,972	9.1%	
平成28年	1,339	40	604	1,983	9.2%	
平成29年						
平成30年	1,356	41	609	2,005	9.3%	
令和元年	1,366	41	615	2,022	9.4%	
：						※過年度推移に基づく推計値（累乗）補正なし
令和7年	1,375	41	619	2,035	9.4%	
：						※住宅地、工業地、その他の宅地の割合は令和元年割合を使用
令和12年	1,382	41	622	2,046	9.5%	

※資料：土地利用動向調査（平成26年～令和元年実績値）





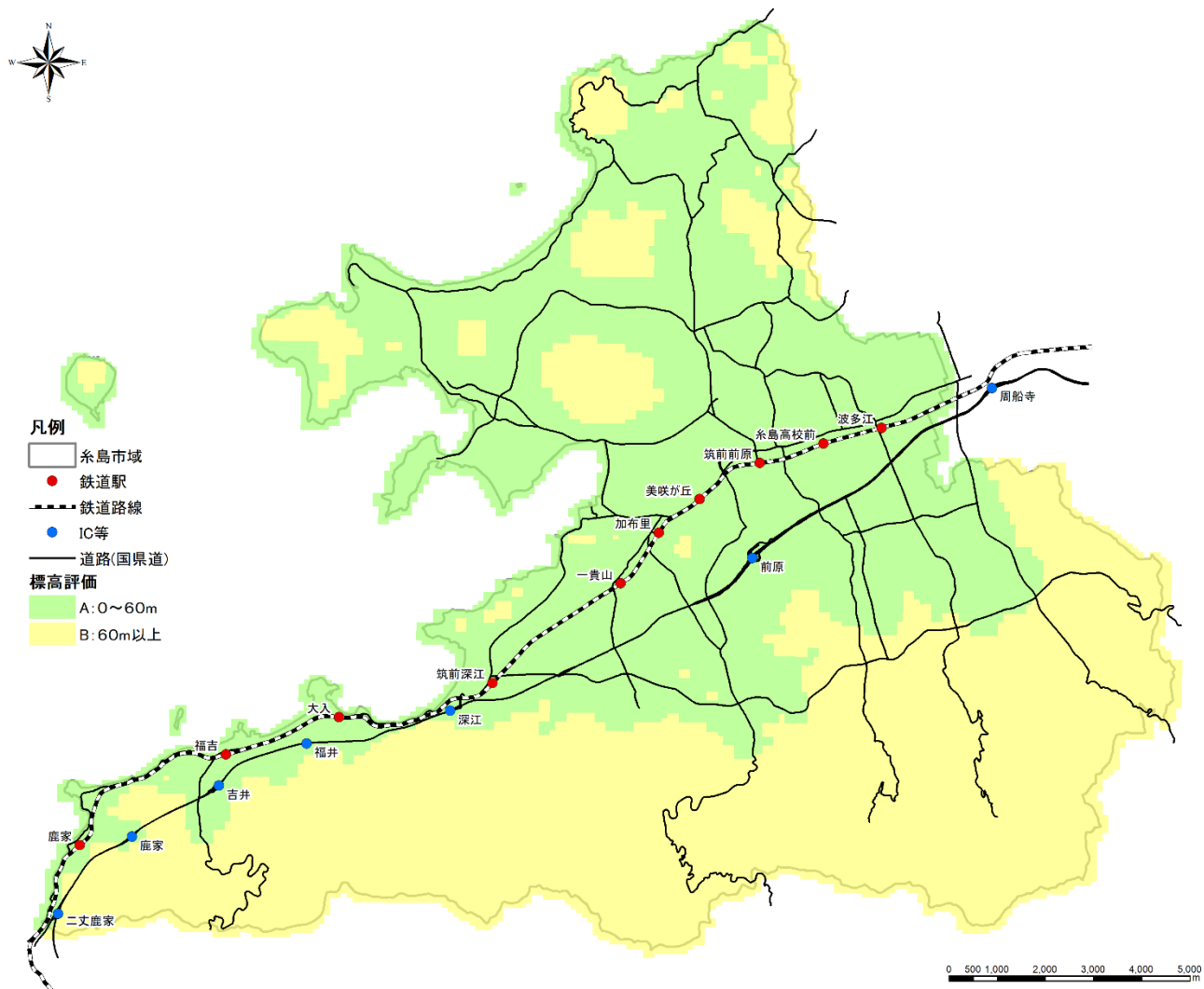
## 参考資料6 土地利用にかかる分級評価

### ○農用地適正評価

#### 1. 農用地適正評価指標の設定

##### 1) 自然的条件

指標① 標高：60m未満、60m以上で区分

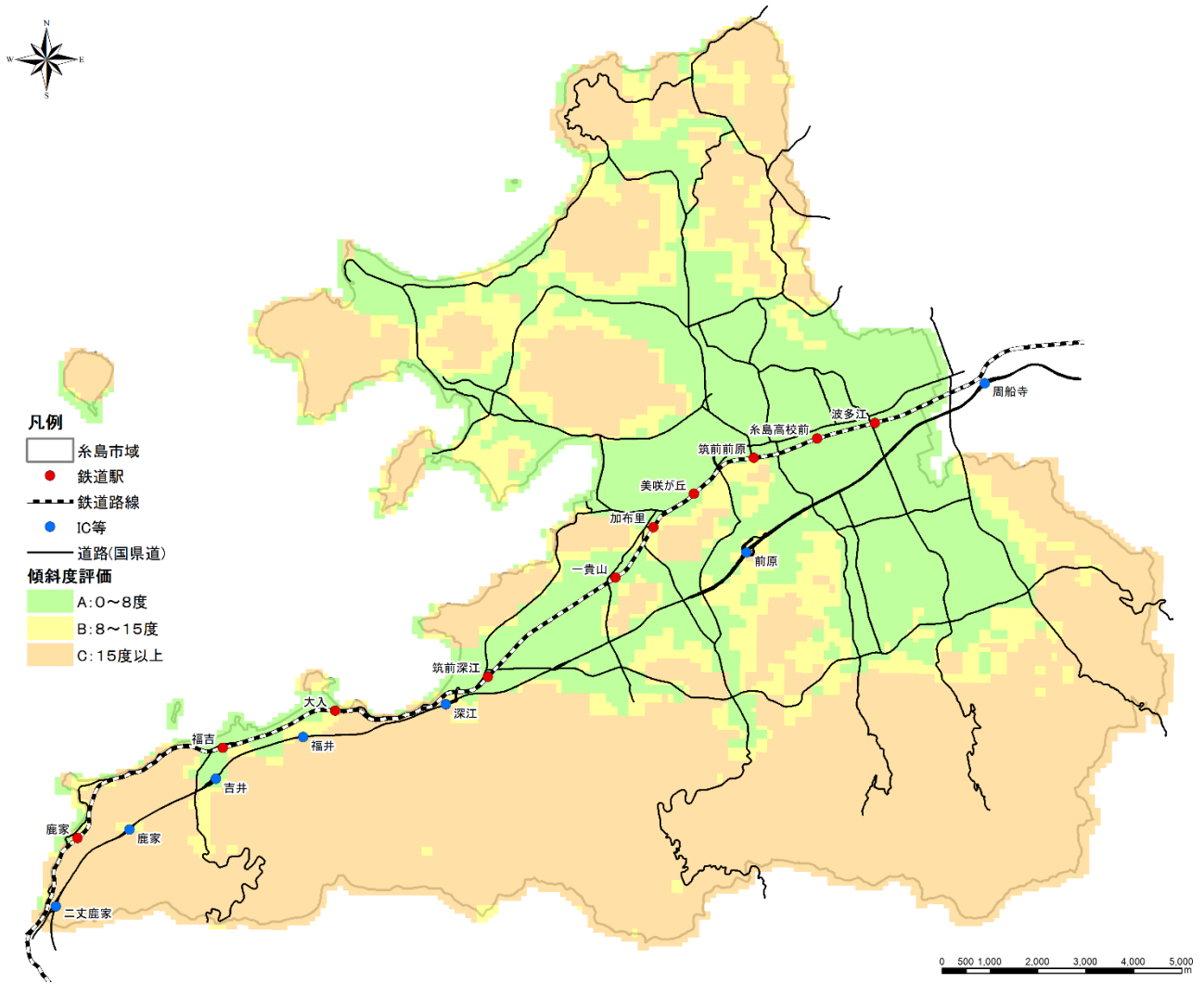


出典：国土数値情報/平成23年度/標高・傾斜度5次(250m)メッシュ

作成方法：250mメッシュを用いて加重平均により100mメッシュ毎の値を算出し、評価を行った。



指標② 傾斜度：8度未満、8～15度未満、15度以上

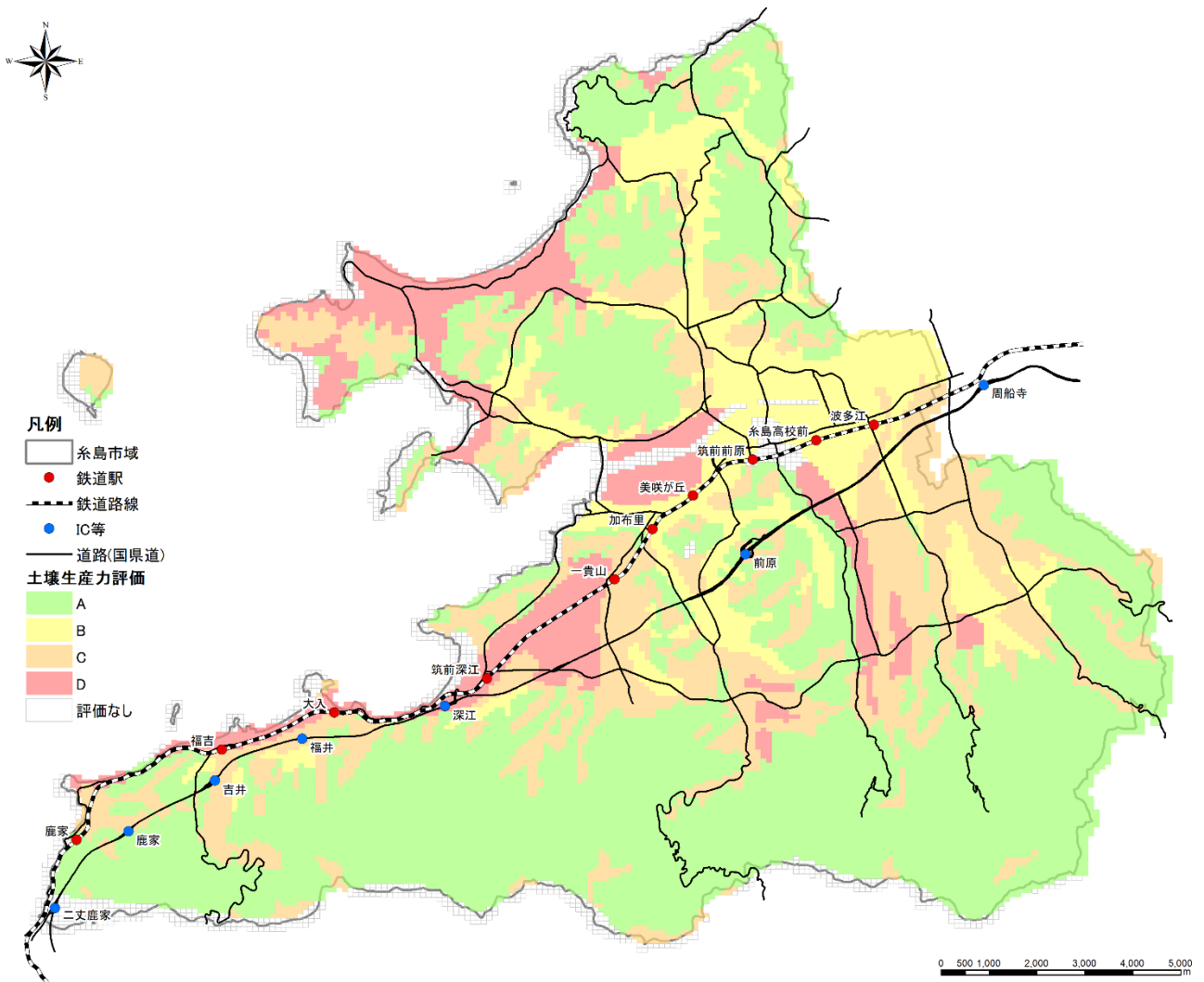


出典：国土数値情報/平成 23 年度/標高・傾斜度 5 次 (250m) メッシュ

作成方法：250m メッシュを用いて加重平均により 100m メッシュ毎の値を算出し、評価を行った。

指標③ 土壌生産力：

評価	③土壌生産力可能性
3-A	褐色森林土壌
3-B	厚層黒ボク土壌、黒ボク土壌、粗粒黒ボク土壌、多湿黒ボク土壌、淡色黒ボク土壌、灰色低地土壌、グライ土壌
3-C	粗粒淡色黒ボク土壌、乾性褐色森林土壌、粗粒褐色低地土壌、粗粒灰色低地土壌、低地泥炭土壌
3-D	火山抛出物未熟土壌、粗粒グライ土壌

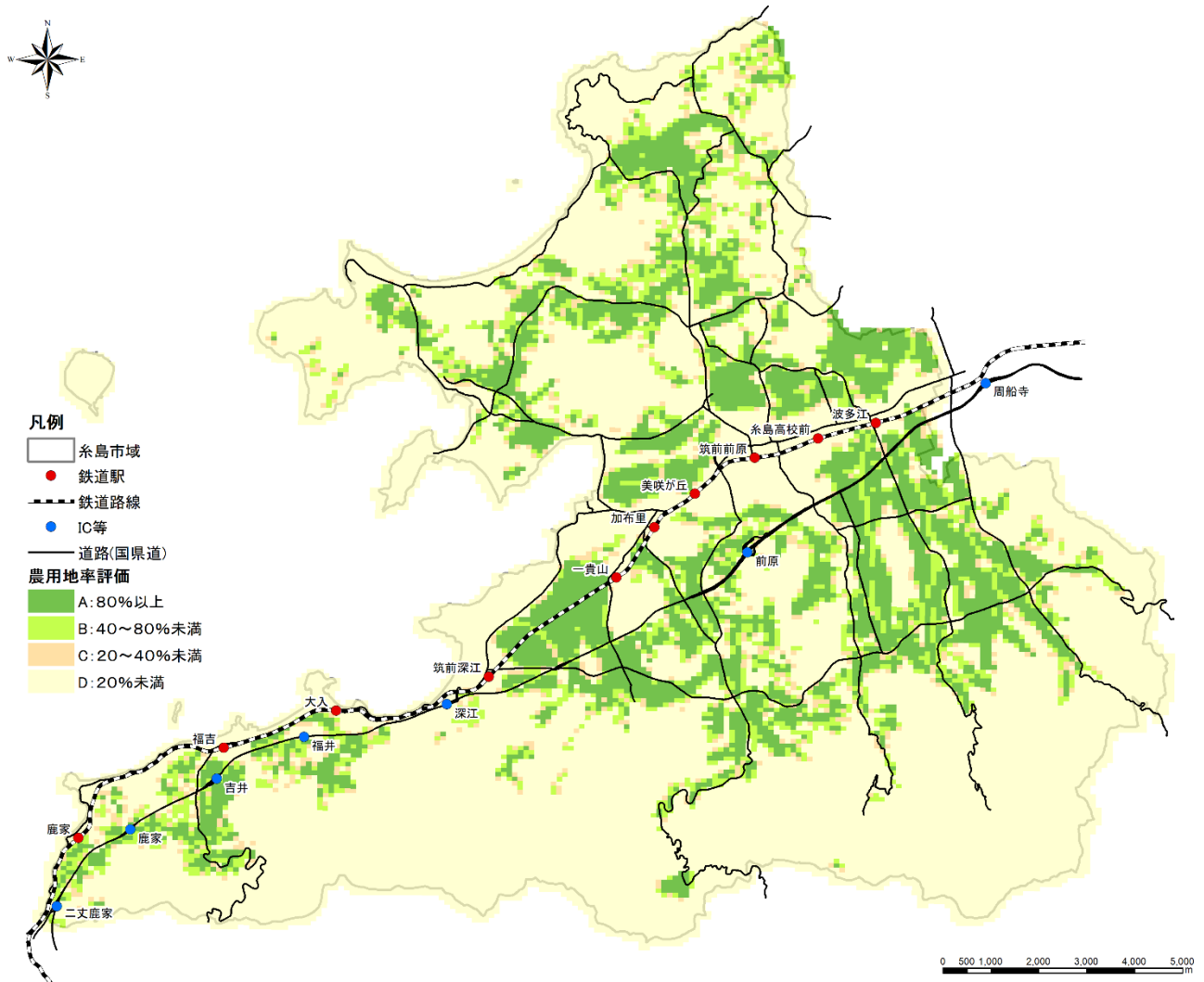


出典：国土数値情報/昭和52年度～平成20年度/土壌分類（Shape形式）  
 作成方法：土壌分類データを用いて100mメッシュの重心を含む箇所を抽出し、その属性に従って、A～Dの評価を行った

## 2) 生産的土地利用条件評価

指標④ 農用地率：

評価	④農用地率
4-A	80%以上
4-B	40%～80%未満
4-C	20%～40%未満
4-D	20%未満

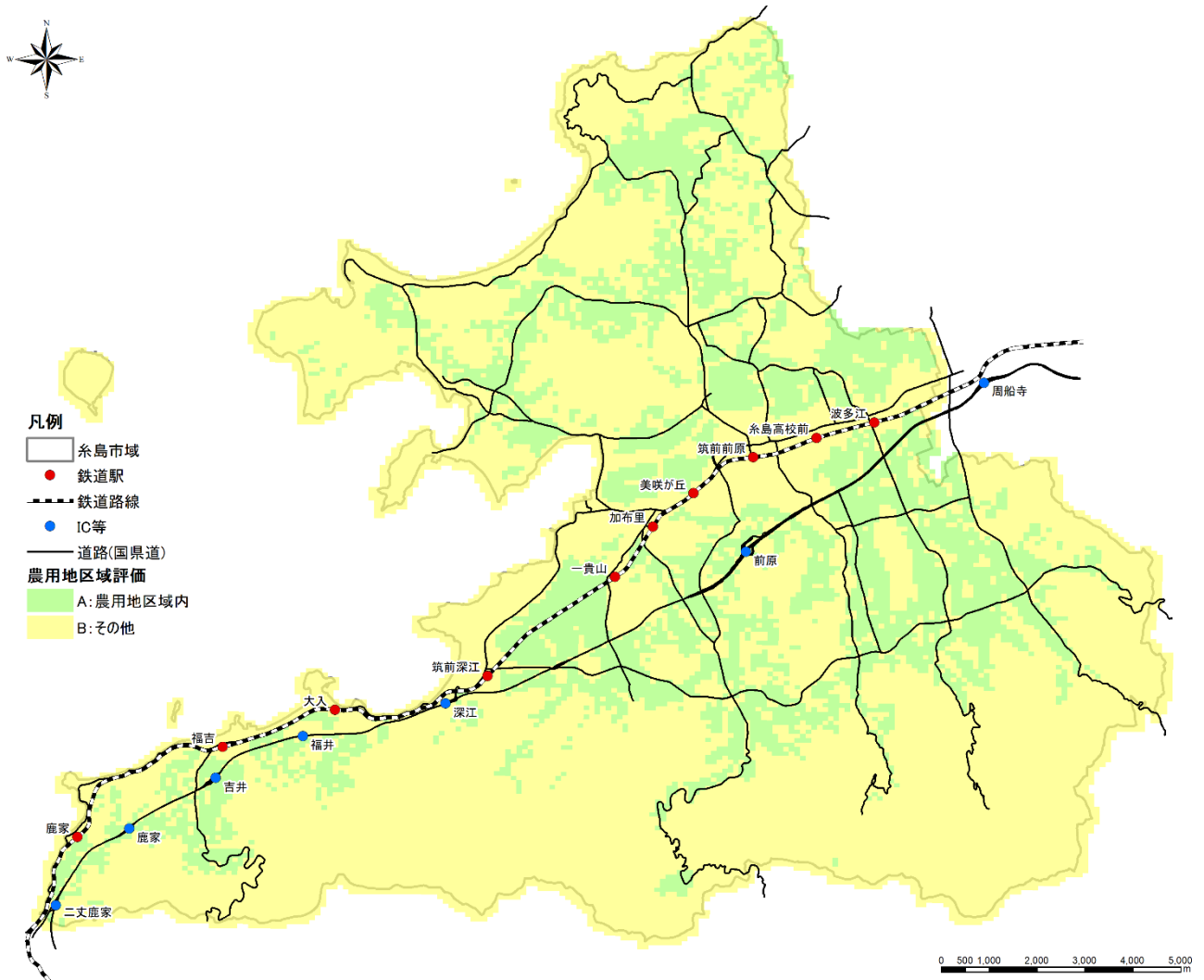


出典：国土数値情報/平成 27 年度/農業地域データ (Shape 形式)

作成方法：100mメッシュ内の農用地区域面積（図上計測）の割合を算出し、その値に従って、A～Dの評価を行った。

指標⑤ 農用地区域：

評価	⑤農用地区域
5-A	農用地区域内
5-B	その他



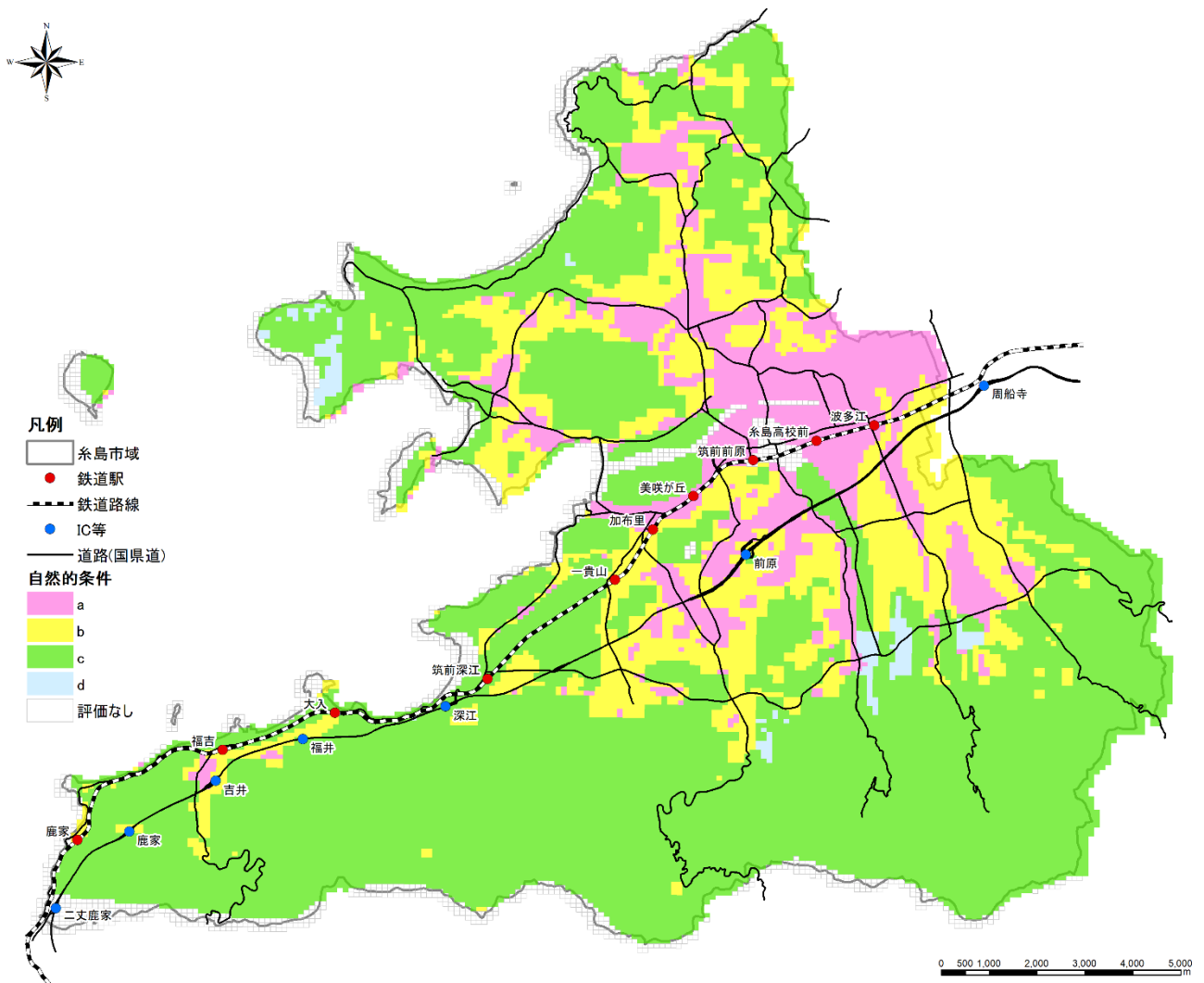
出典：国土数値情報/平成 27 年度/農業地域データ (Shape 形式)

作成方法：農業地域データを用いて、100mメッシュの重心を含む箇所を抽出し、評価を行った。

## 2. 農用地の条件評価

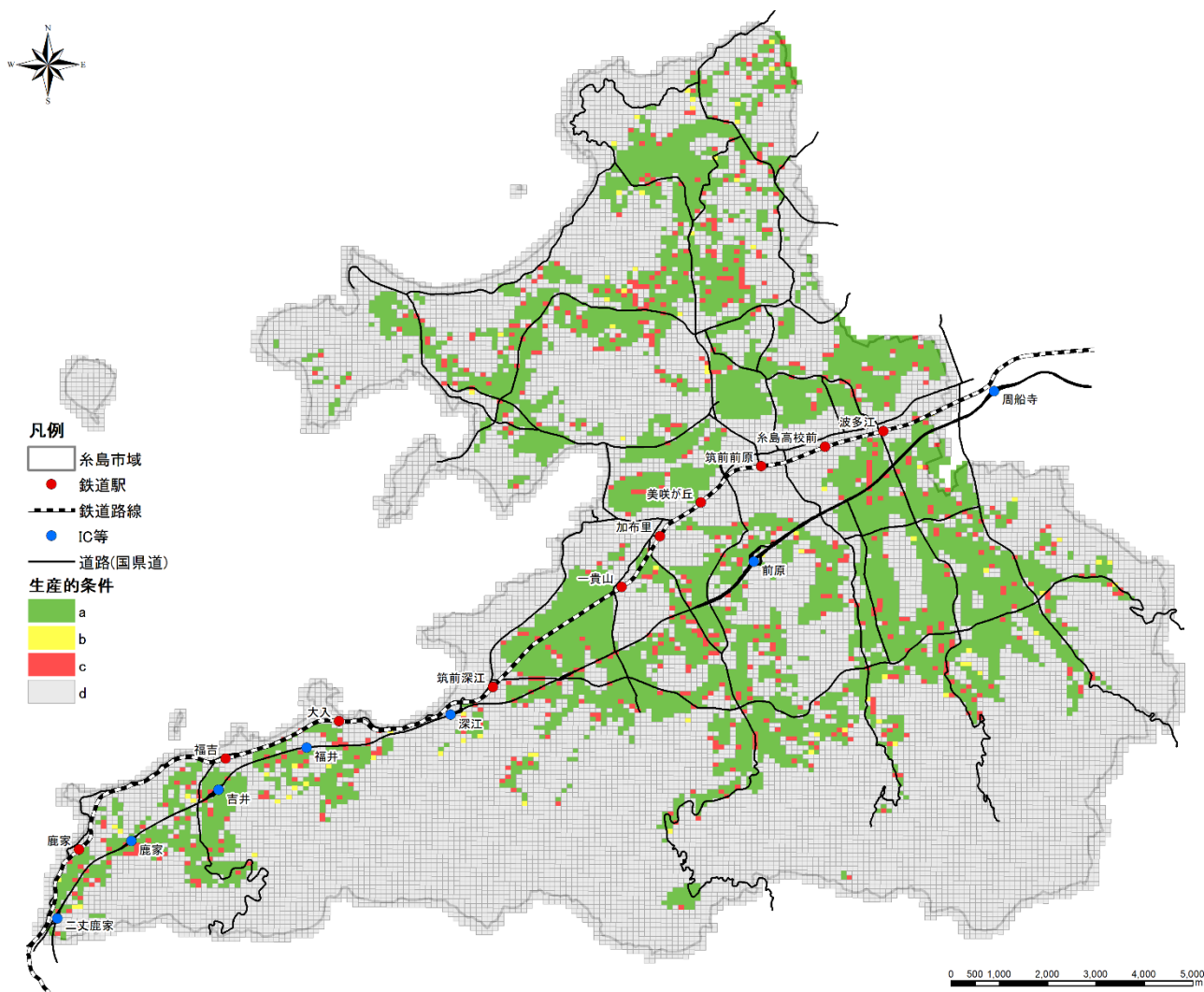
### 【自然的条件評価】

①標高	③土壤生産力	②傾斜度		
		8度未満	8～15度未満	15度以上
60m未満	3-A	自-a	自-b	自-c
	3-B	自-a	自-b	自-c
	3-C	自-b	自-b	自-c
	3-D	自-c	自-c	自-c
60m以上	3-A	自-a	自-b	自-c
	3-B	自-b	自-b	自-c
	3-C	自-c	自-c	自-c
	3-D	自-d	自-d	自-d



【生産的土地利用条件評価】

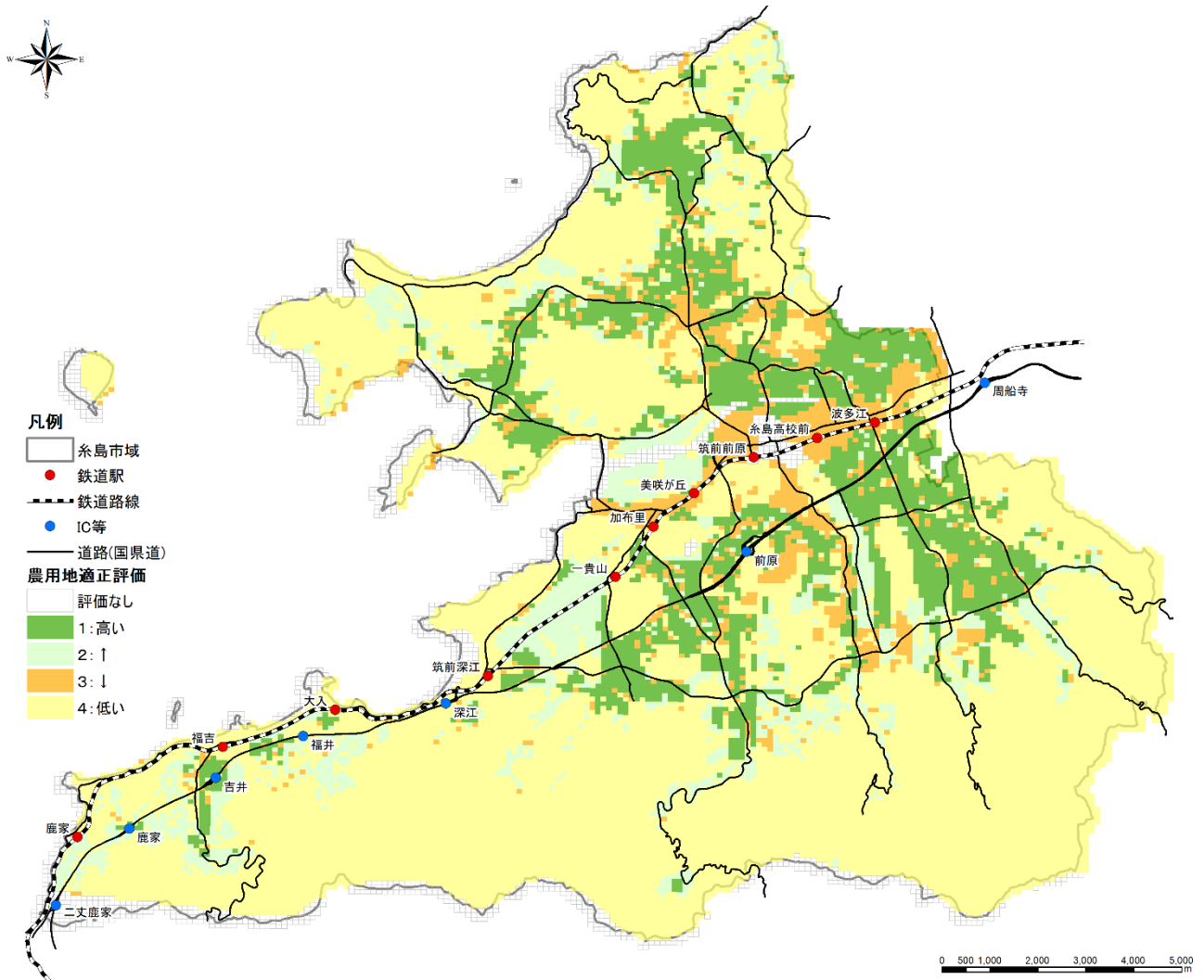
⑤農用地区域	④農用地率			
	4-A	4-B	4-C	4-D
5-A	産-a	産-a	産-b	産-c
5-B	産-b	産-c	産-d	産-d



### 3. 農用地適正評価の結果

自然的条件評価	生産的土地利用条件評価			
	産-a	産-b	産-c	産-d
自-a	1	1	2	3
自-b	1	2	3	4
自-c	2	3	4	4
自-d	3	3	4	4

農用地利用適正評価	適正
1	高
2	↑
3	↓
4	低

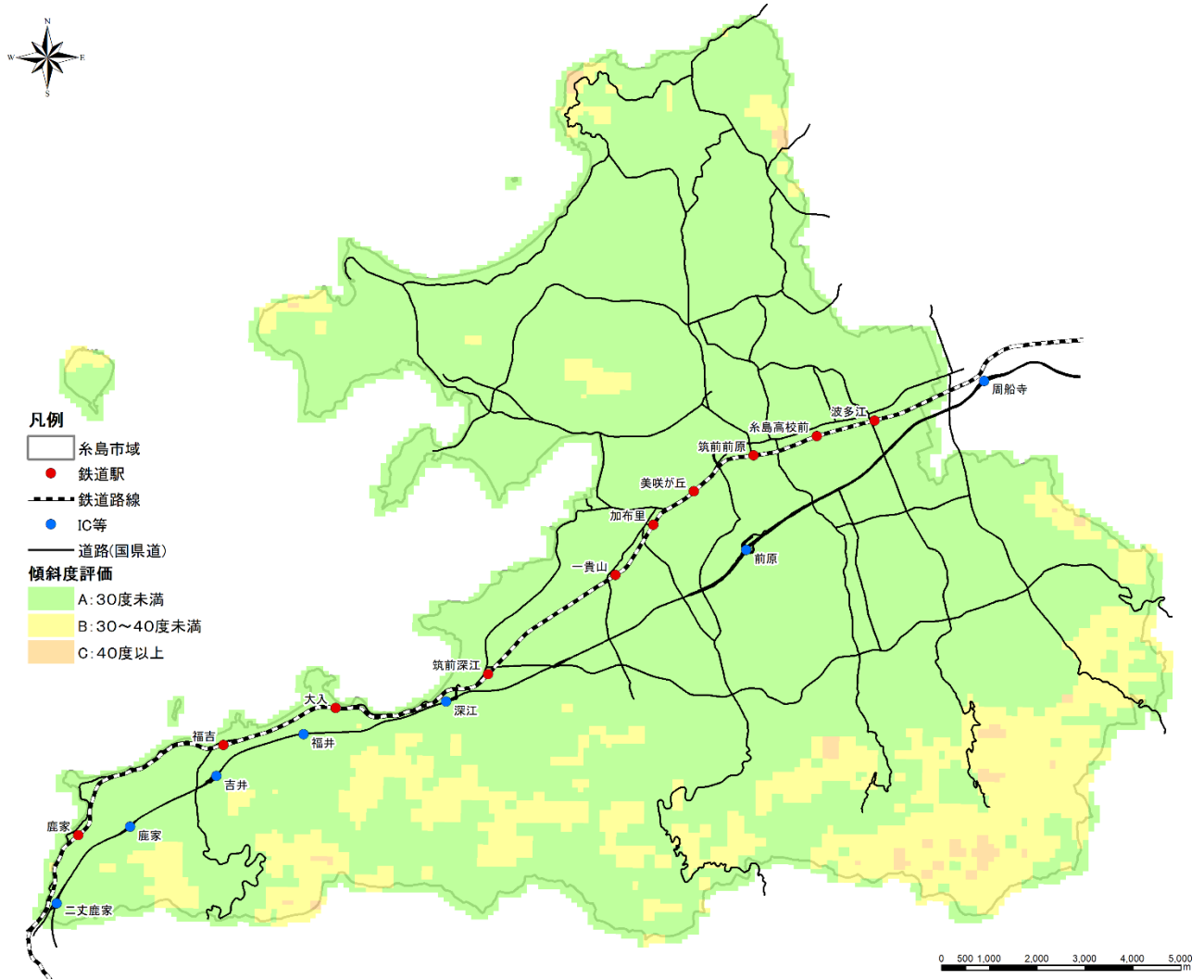


## ○森林適正評価

### 1. 森林適正評価指標の設定

#### 1) 自然的条件

指標① 傾斜度：30度未満、30～40度未満、40度以上



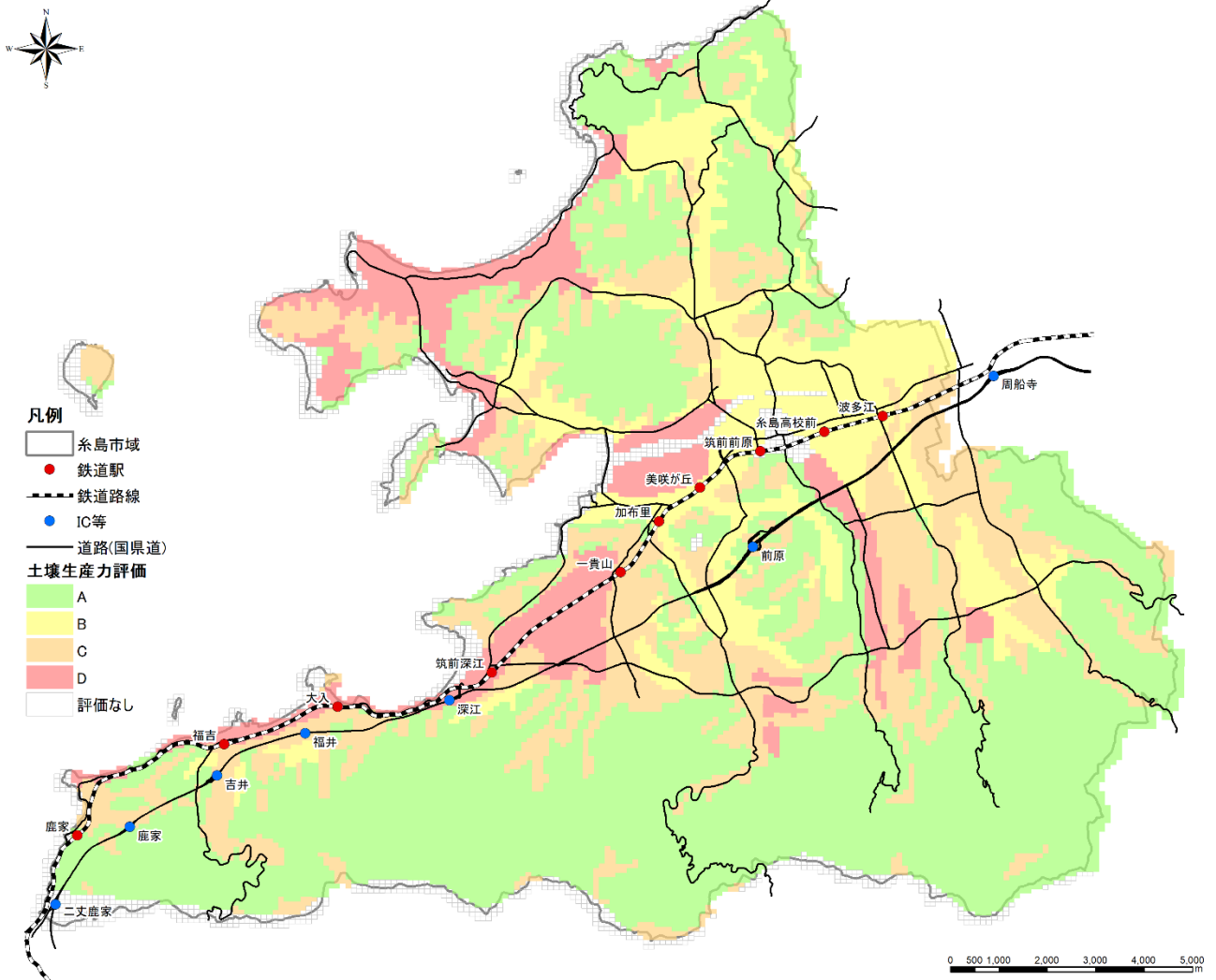
出典：国土数値情報/平成23年度/標高・傾斜度5次(250m)メッシュ

作成方法：250mメッシュを用いて加重平均により100mメッシュ毎の値を算出し、評価を行った。



指標② 土壌生産力：

評価	②土壌生産力可能性
2-A	褐色森林土壌
2-B	厚層黒ボク土壌、黒ボク土壌、粗粒黒ボク土壌、多湿黒ボク土壌、淡色黒ボク土壌、灰色低地土壌、グライ土壌
2-C	粗粒淡色黒ボク土壌、乾性褐色森林土壌、粗粒褐色低地土壌、粗粒灰色低地土壌、低地泥炭土壌
2-D	火山抛出物未熟土壌、粗粒グライ土壌



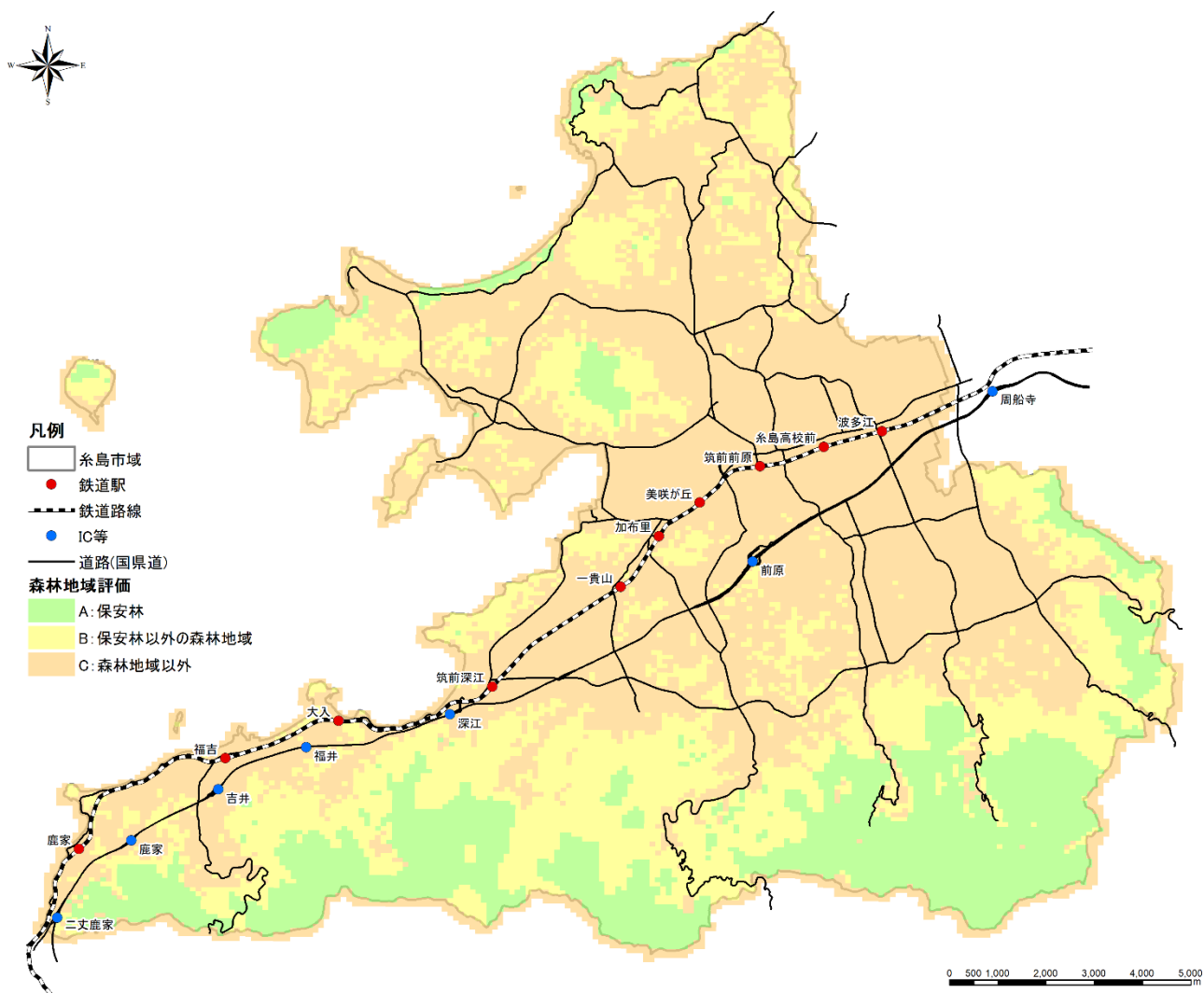
出典：国土数値情報/昭和52年度-平成20年度/土壌分類（Shape形式）

作成方法：土壌分類データを用いて100mメッシュの重心を含む箇所を抽出し、その属性に従って、A～Dの評価を行った。

## 2) 森林特性条件

指標③ 森林地域：

評価	③森林地域
3-A	保安林
3-B	保安林以外の森林地域
3-C	森林地域以外

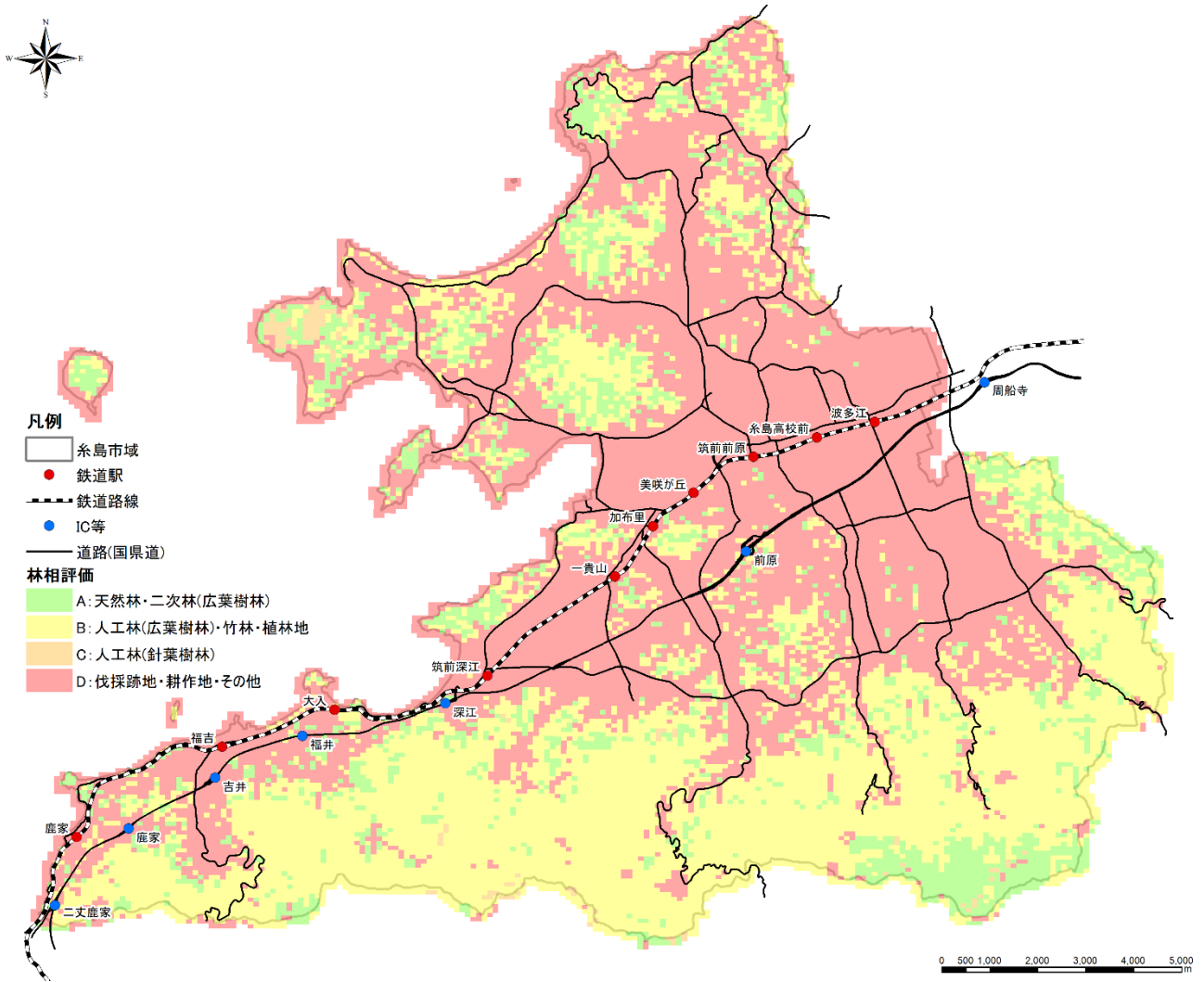


出典：国土数値情報/平成 27 年度/森林地域データ (Shape 形式)

作成方法：森林地域データを用いて 100m メッシュの重心を含む箇所を抽出し、その属性に従って、A～C の評価を行った。

指標④ 林相：

評価	④林相
4-A	天然林、二次林（広葉樹林）
4-B	人工林（広葉樹林）、竹林、植林地
4-C	人工林（針葉樹林）
4-D	伐採跡地、耕作地、その他



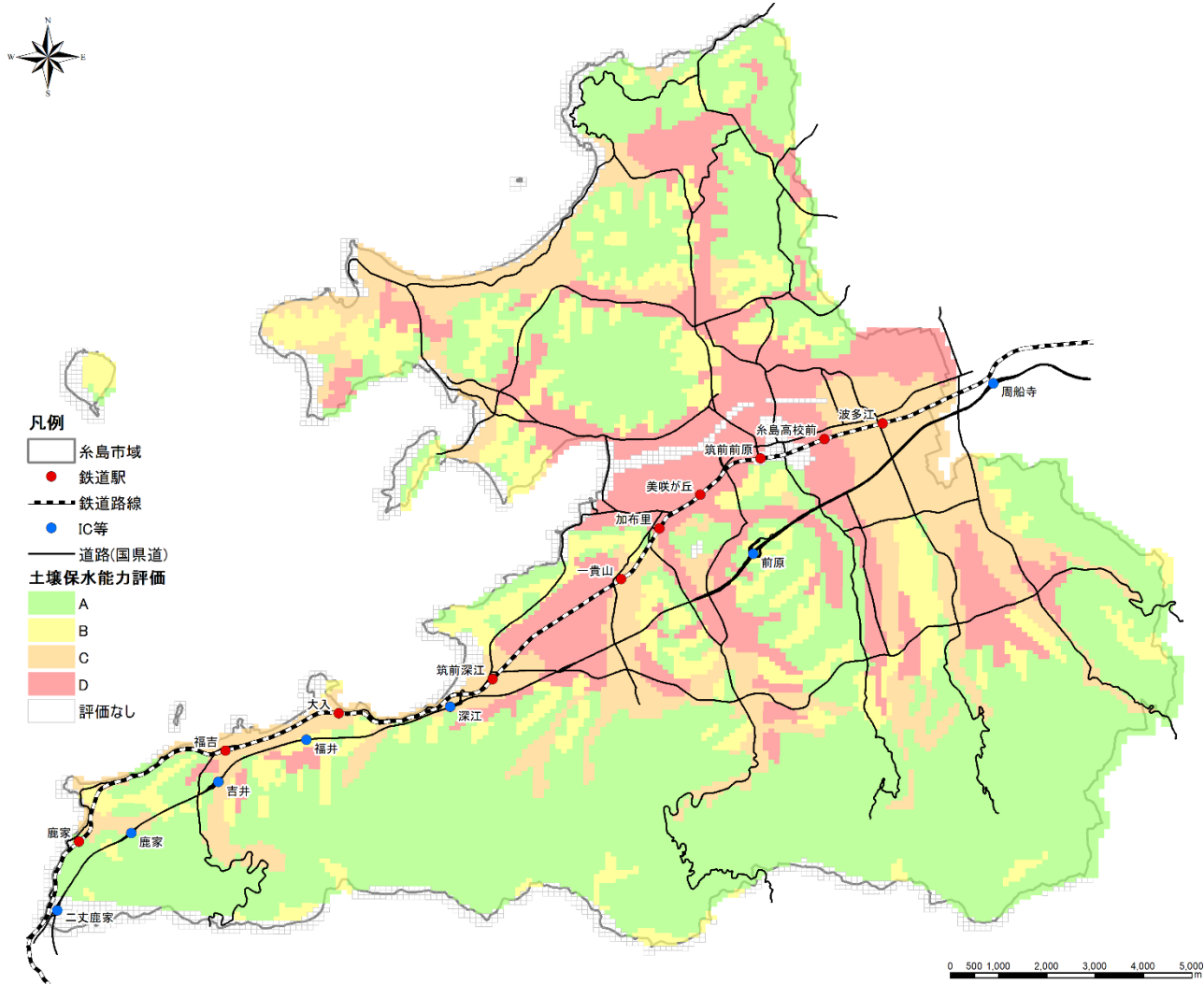
出典：環境省 自然環境局 生物多様性センター/第 6-7 回調査（平成 11 年度～）/植生図データ（1/25,000 縮尺）（Shape 形式）

作成方法：植生図データを用いて 100mメッシュの重心を含む箇所を抽出し、その属性に従って、A～Dの評価を行った。

### 3) 保全機能特性条件

指標⑤ 土壌保水能力：

評価	⑤土壌保水能力
5-A	褐色森林土
5-B	乾性褐色森林土
5-C	低地土、黒ボク土、未熟土、黒泥土
5-D	岩石地、市街地、水面



出典：国土数値情報/昭和 52 年度-平成 20 年度/土壌分類（Shape 形式）

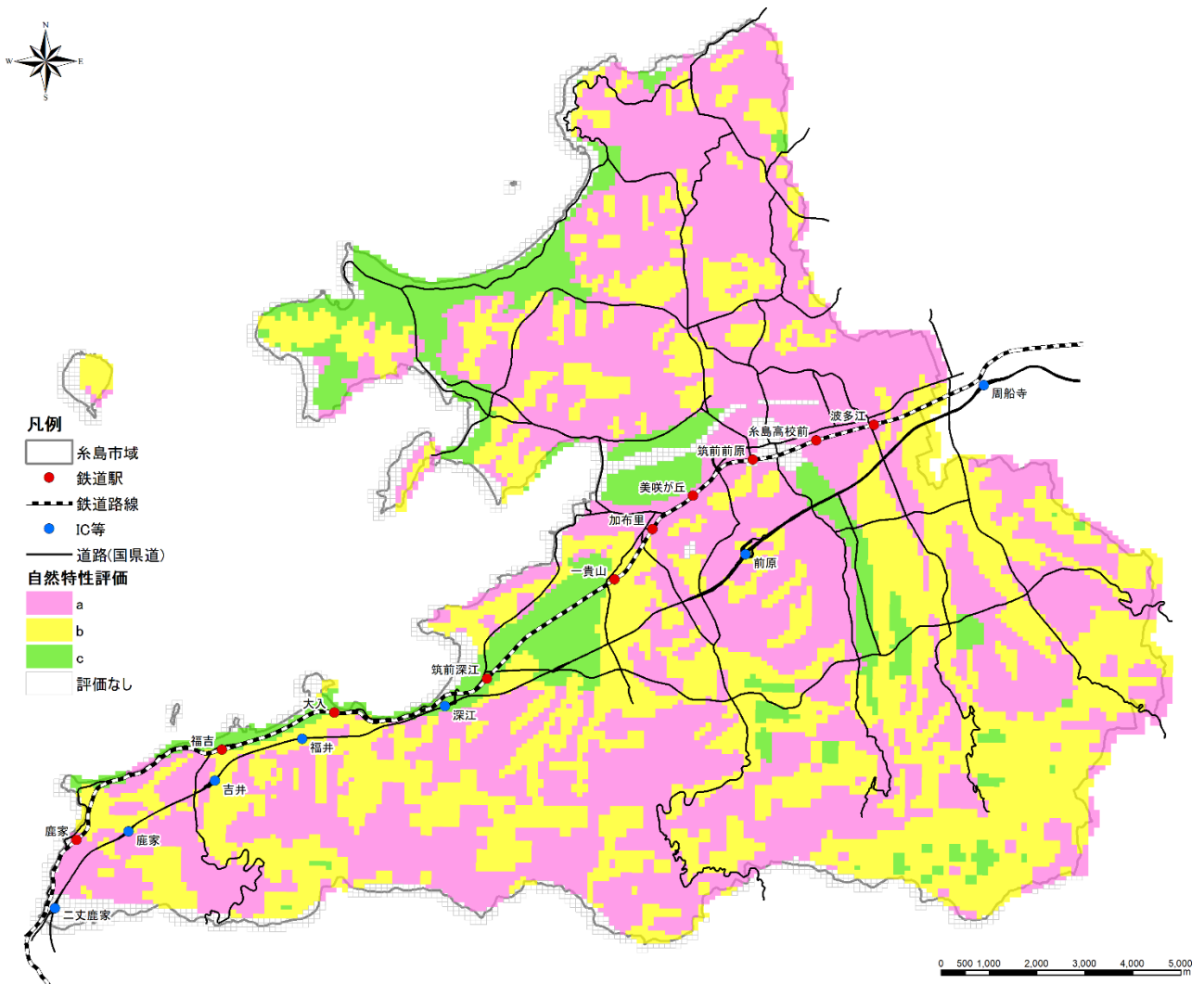
作成方法：土壌分類データを用いて、下図に再分類し、100mメッシュの重心を含む箇所を抽出し、その属性に従って、A～Dの評価を行った。

評価	属性1	属性2
A	褐色森林土	褐色森林土壌
	褐色森林土	褐色森林土壌（黄褐色系）
	褐色森林土	湿性褐色森林土壌
B	褐色森林土	乾性褐色森林土壌（黄褐色系）
	褐色森林土	乾性褐色森林土壌（赤褐色系）
C	灰色低地土	灰色低地土壌
	灰色低地土	細粒灰色低地土壌
	灰色低地土	粗粒灰色低地土壌
	未熟土	砂丘未熟土壌
	未熟土	残積性未熟土壌
D	グライ土	グライ土壌
	グライ土	細粒グライ土壌
	グライ土	粗粒グライ土壌
	赤黄色土	黄色土壌

## 2. 森林の条件評価

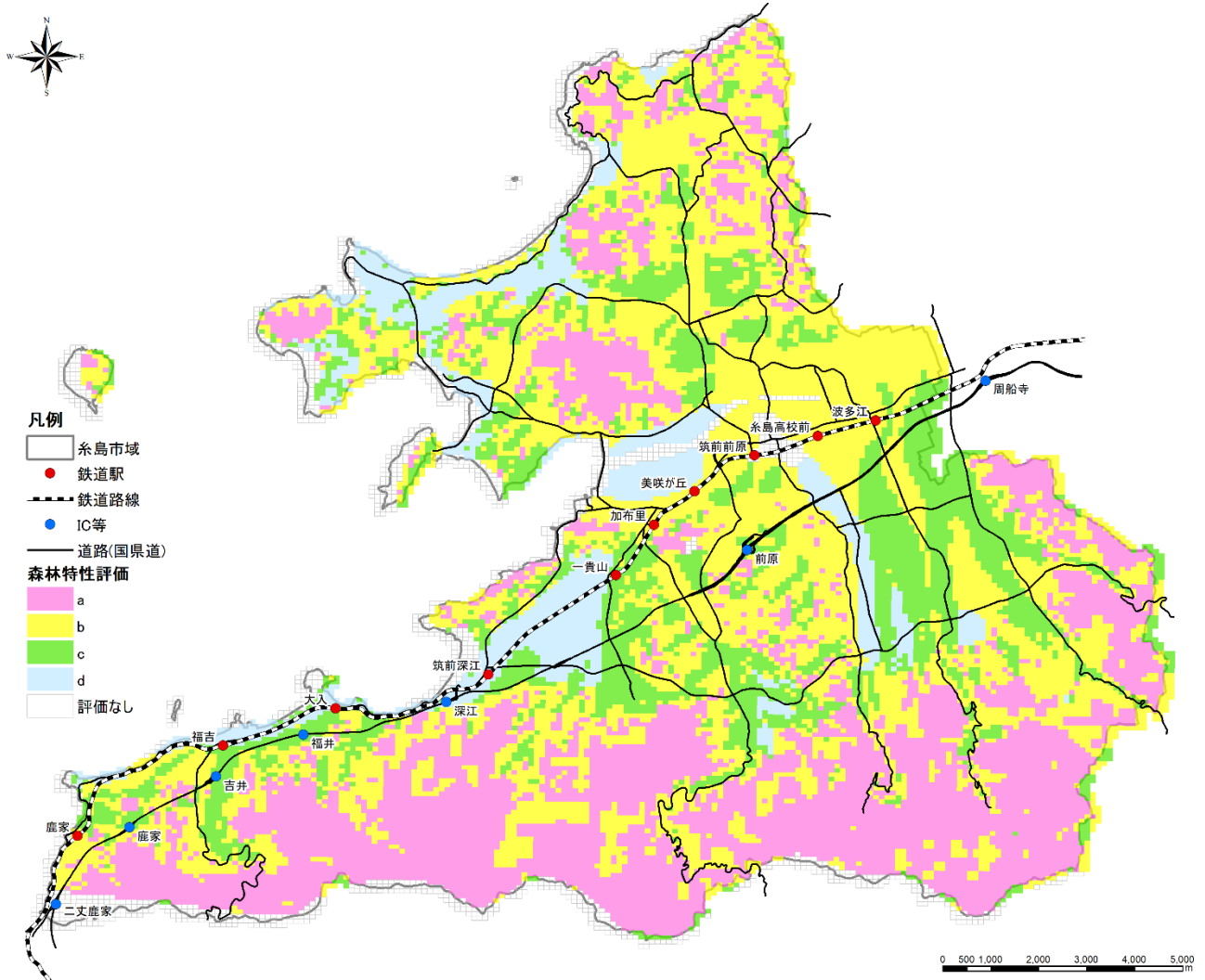
【 $\alpha$  : 自然特性評価】

②土壌生産力	①傾斜度		
	30 度未満	30～40 度未満	40 度以上
2-A	自-a	自-b	自-c
2-B	自-a	自-b	自-c
2-C	自-b	自-b	自-c
2-D	自-c	自-c	自-c



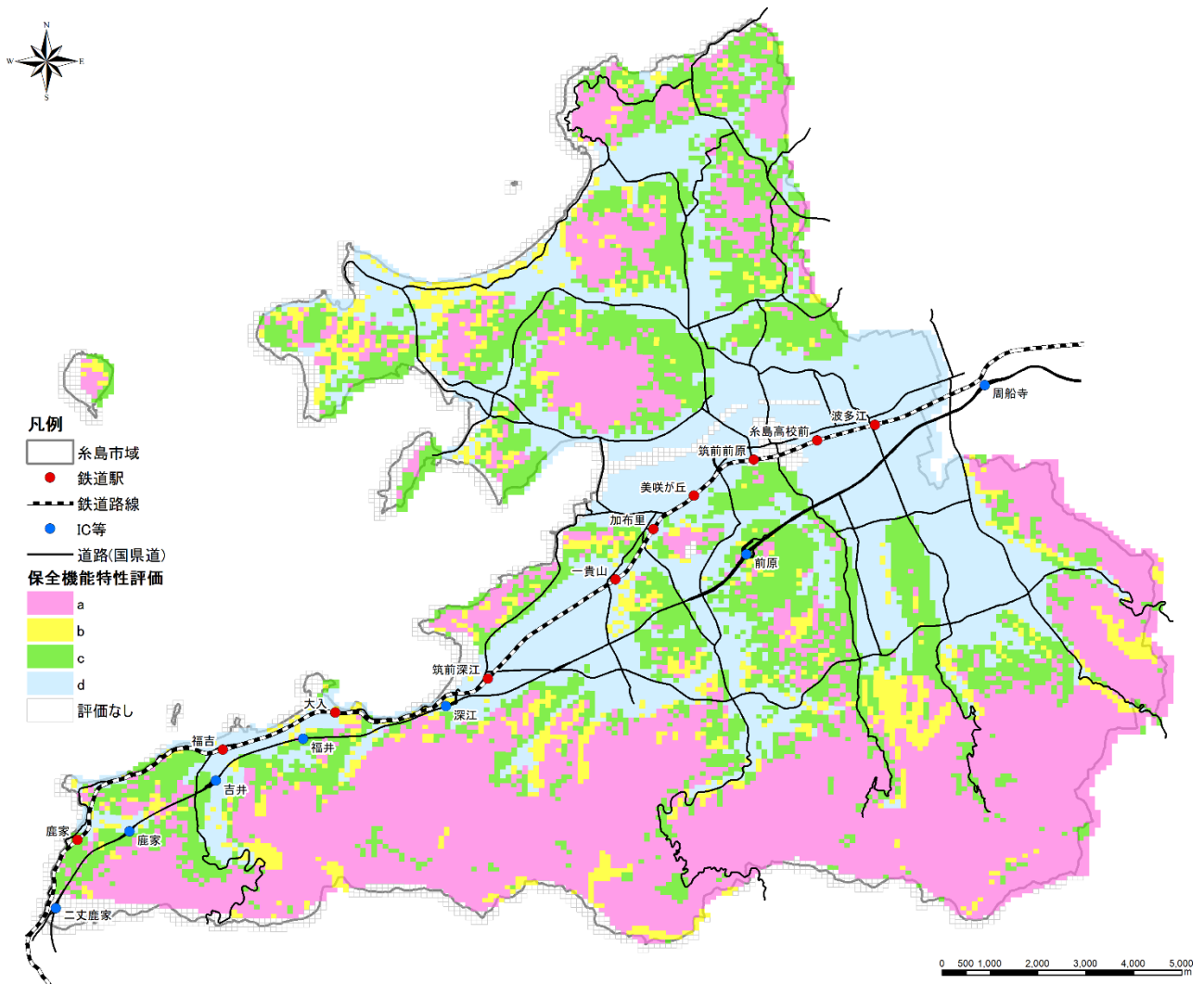
【β：森林特性評価】

③森林地域	α：自然特性評価			
	自-a	自-b	自-c	自-d
3-A	森-a	森-a	森-b	森-c
3-B	森-a	森-b	森-c	森-d
3-C	森-b	森-c	森-d	森-d



【γ：保全機能特性評価】

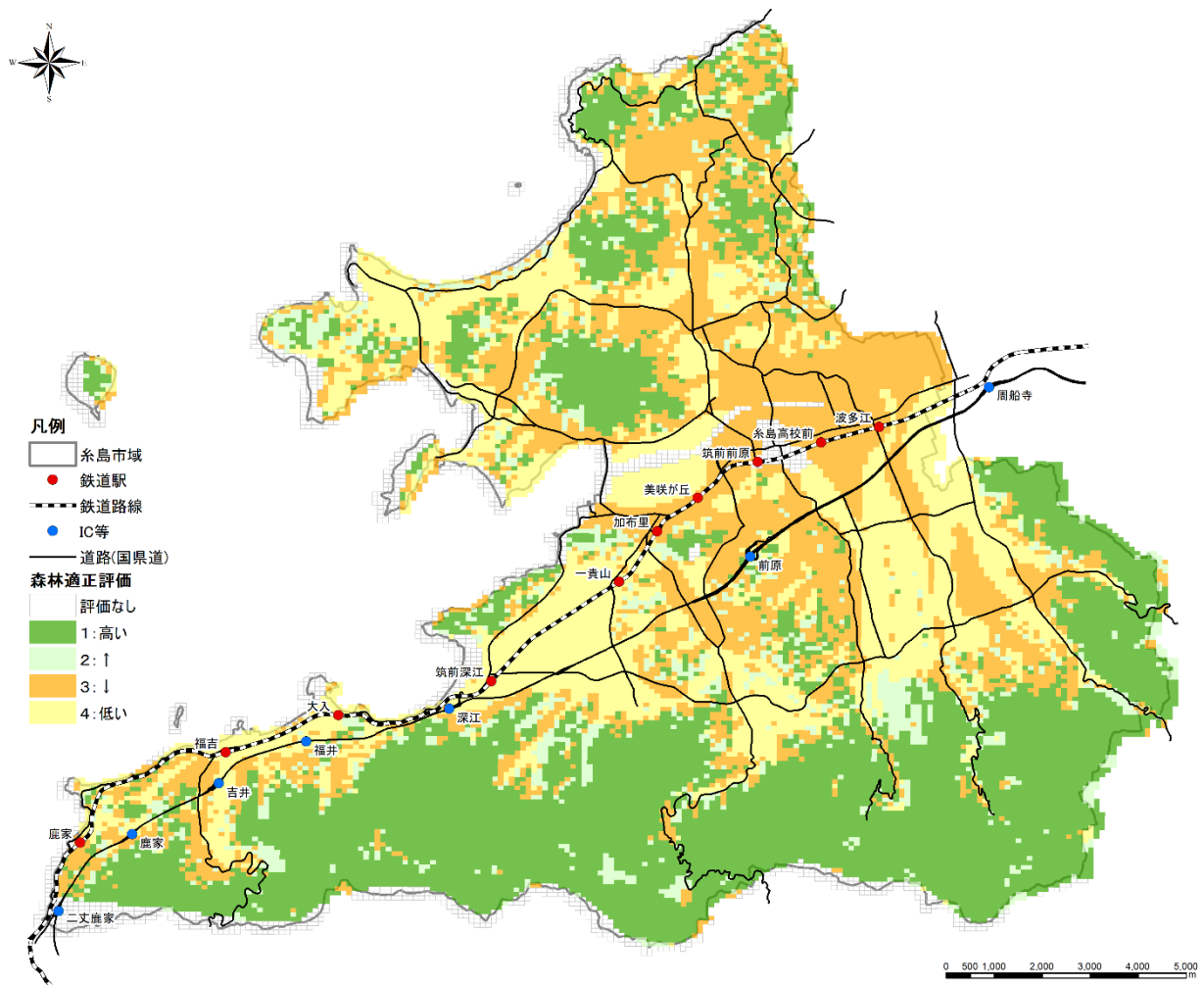
⑤土壤保水能力	④林相			
	4-A	4-B	4-C	4-D
5-A	保-a	保-a	保-b	保-c
5-B	保-a	保-b	保-c	保-c
5-C	保-b	保-b	保-c	保-d
5-D	保-c	保-c	保-d	保-d



### 3. 森林適正評価の結果

$\gamma$ : 保全機能 特性評価	$\beta$ : 森林特性評価			
	森- a	森- b	森- c	森- d
保- a	1	1	2	3
保- b	1	2	3	4
保- c	2	3	4	4
保- d	3	3	4	4

林地利用適正評価	適正
1	高
2	↑
3	↓
4	低

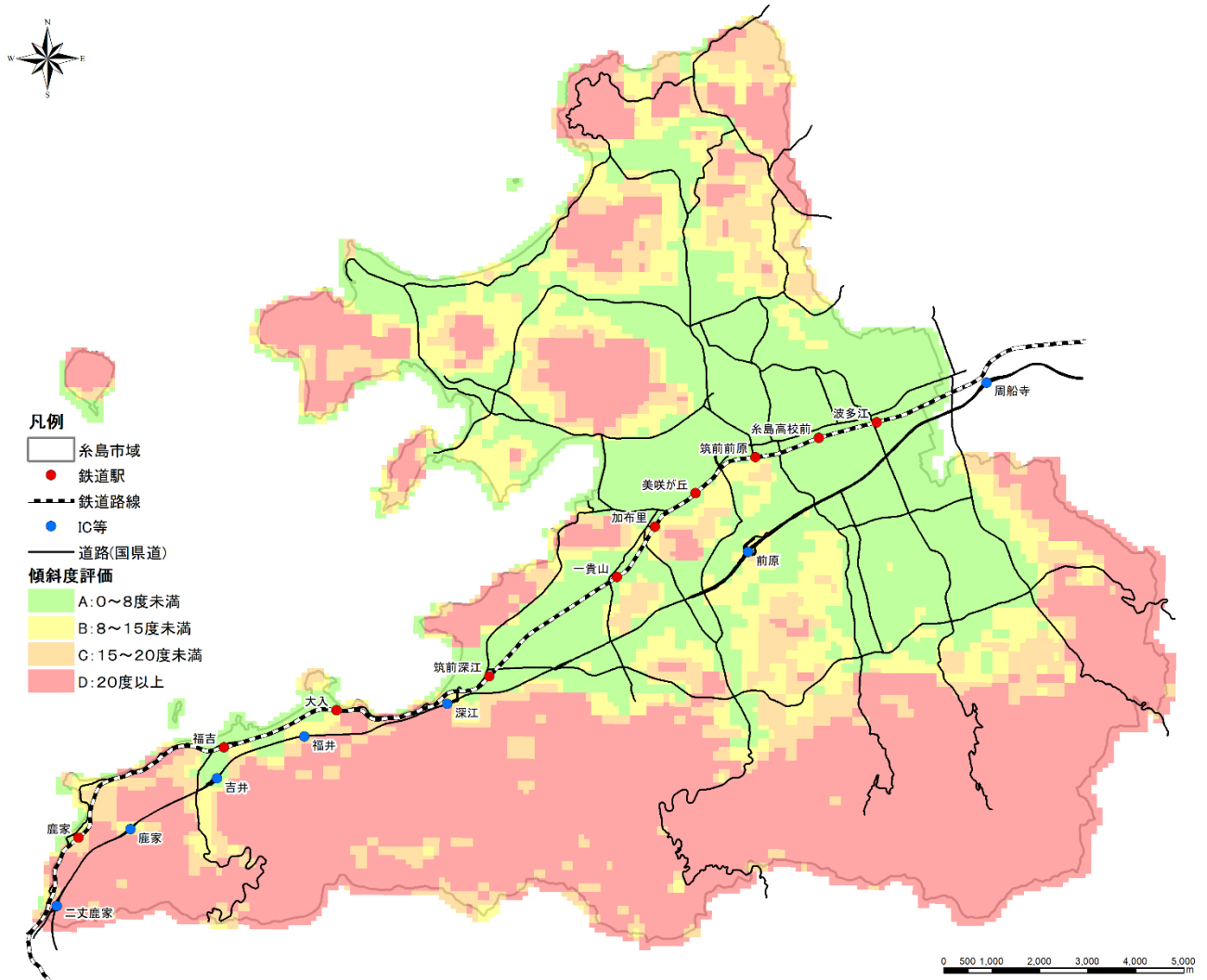




## ○都市的土地利用適正評価

### 1. 都市的土地利用適正評価指標の設定

指標① 傾斜度：8度未満、8～15度未満、15～20度未満、20度以上

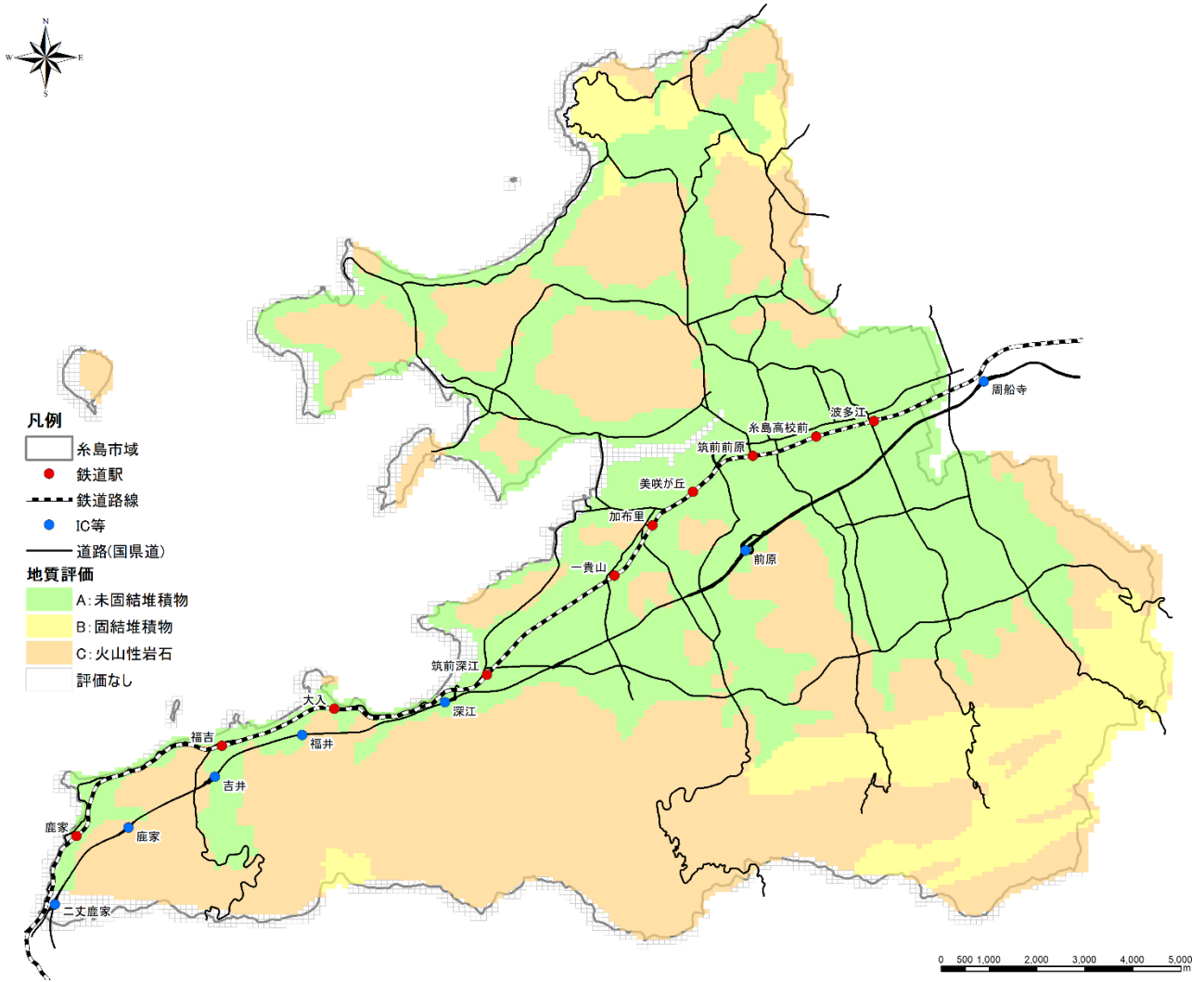


出典：国土数値情報/平成23年度/標高・傾斜度5次(250m)メッシュ

作成方法：250mメッシュを用いて加重平均により100mメッシュ毎の値を算出し、評価を行った。

指標② 地質：

評価	②地質
2-A	未固結堆積物
2-B	固結堆積物
2-C	火山性岩石



出典：国土数値情報/昭和52年度-平成20年度/表層地質（Shape形式）

作成方法：表層地質データを用いて100mメッシュの重心を含む箇所を抽出し、その属性に従って、A～Cの評価を行った。

指標③ 宅地率：

評価	③宅地率
3-A	80%以上
3-B	40%～80%未満
3-C	20%～40%未満
3-D	20%未満

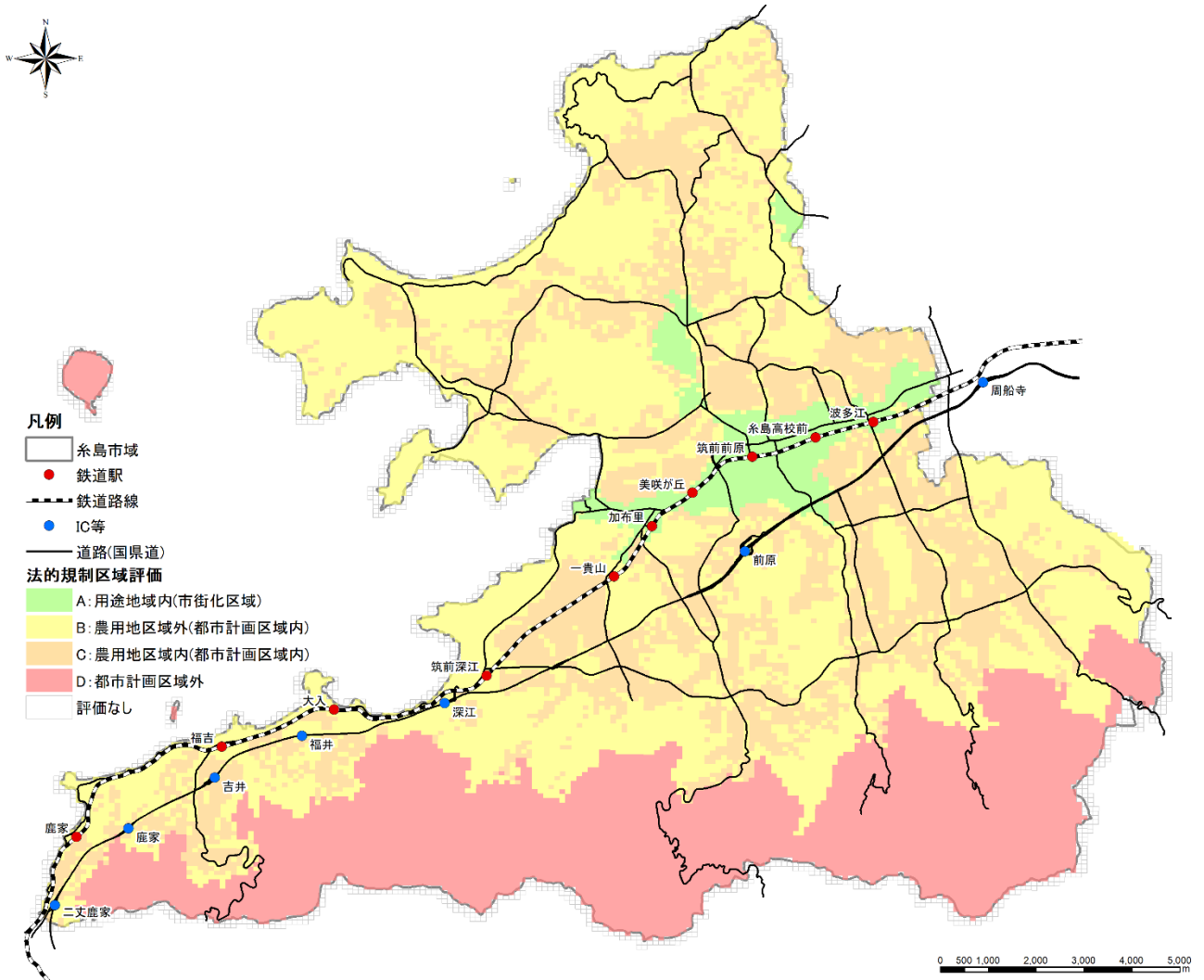


出典：都市計画基礎調査/平成 29 年度/土地利用現況データ（Shape 形式）

作成方法：100m メッシュ毎に土地利用現況の宅地（住宅・商業・工業用地(道路は含まない)）に該当する土地の面積の割合を算出し、A～D の評価を行った。

指標④ 法的規制区域：

評価	④法的規制区域
4-A	用途地域内(市街化区域)
4-B	農用地区域外(都市計画区域内)
4-C	農用地区域内(都市計画区域内)
4-D	都市計画区域外

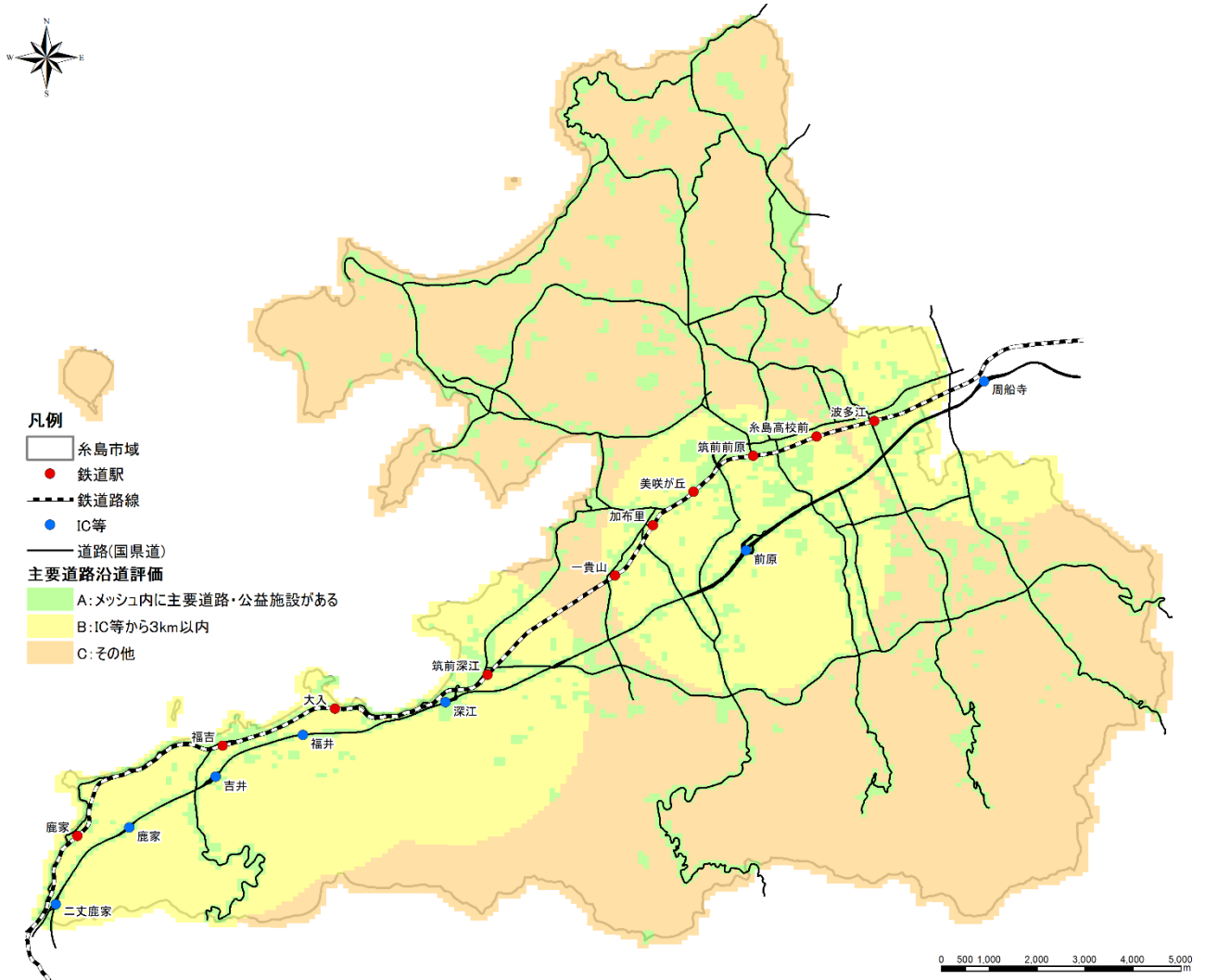


出典：都市計画図データ、糸島市総括図（平成30年11月作成）、国土数値情報/平成27年度/農業地域データ（Shape形式）

作成方法：糸島市総括図で都市計画区域界を確認。都市計画区域界と農用地区域が100mメッシュの重心を含む箇所を抽出し、その属性に従って、A～Dの評価を行った。

指標⑤ 主要道路沿道：

評価	⑤主要道路沿道
5-A	メッシュ内（100m範囲）に主要道路(国道・主要地方道・県道)がある。もしくは隣接するメッシュに行政施設、教育施設、病院などがある。
5-B	ICから3km以内
5-C	その他



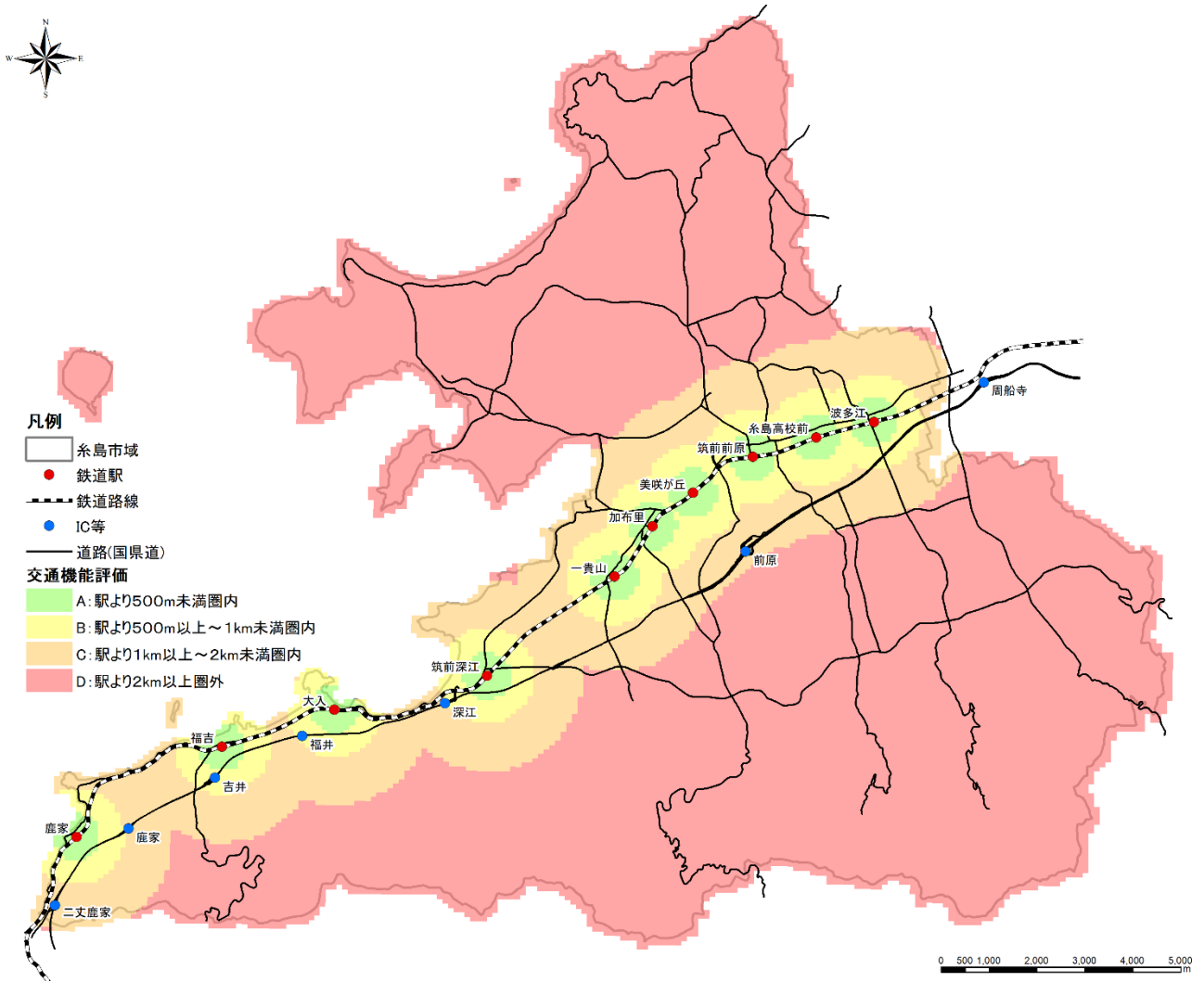
出典：都市計画基礎調査/平成 29 年度/土地利用現況データ（Shape 形式）

作成方法：現況に合わせて主要道路ポリゴンを作成し、交差するメッシュを抽出した。また、前回と同様に都市計画基礎調査の土地利用現況データの公益施設用地と交差するメッシュを抽出した。

IC から 3 km 以内は 100m メッシュの重心が含まれるかどうかで判定し、その属性に従って、A～C の評価を行った。

指標⑥ 交通機能：

評価	⑥交通機能
6-A	駅より 500m未満圏内
6-B	駅より 500m以上～1km 未満圏内
6-C	駅より 1km 以上～2km 未満圏内
6-D	駅より 2km 以上圏外



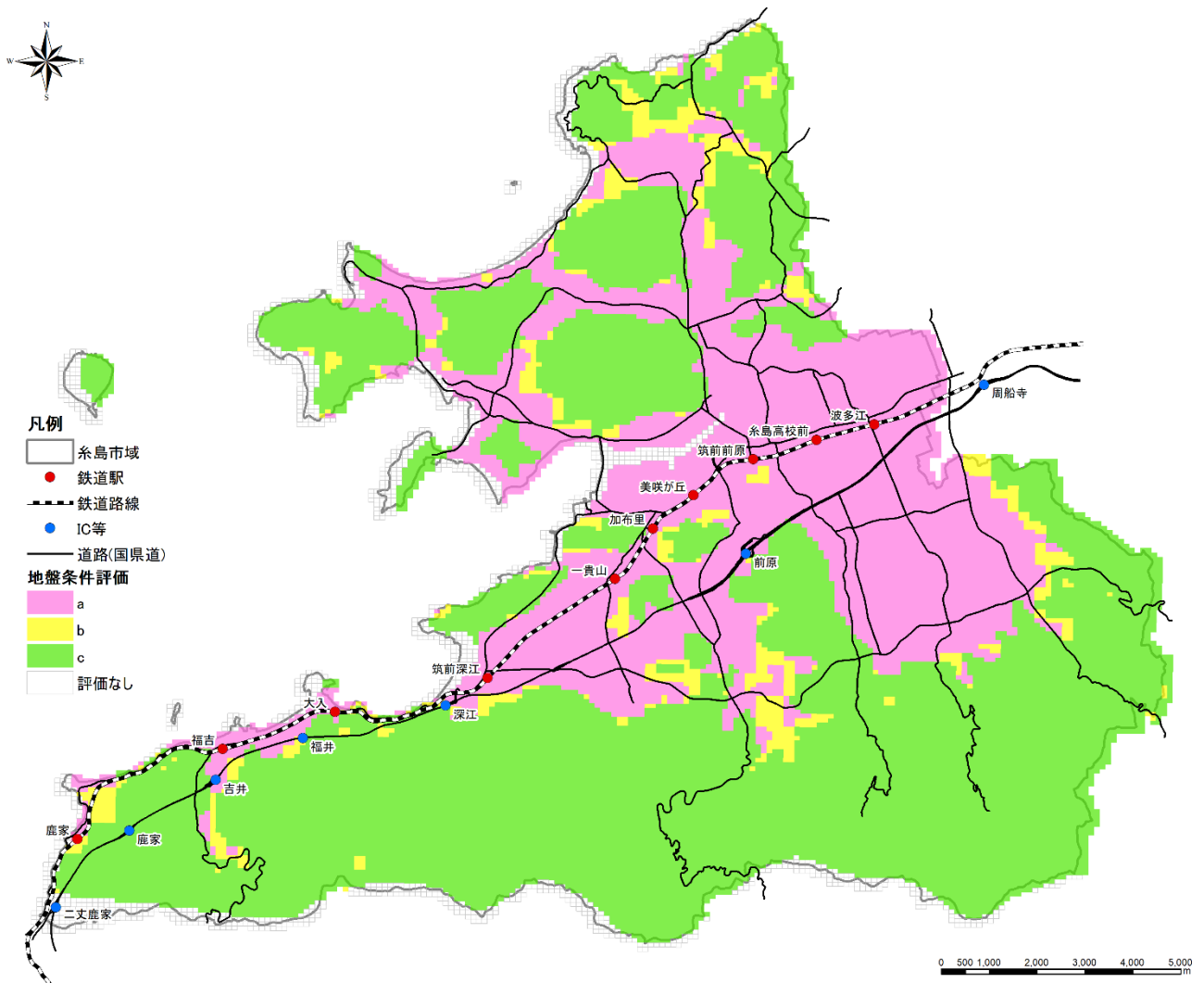
出典：国土数値情報/平成30年/鉄道データ (Shape形式)

作成方法：鉄道データから鉄道駅を抽出し、駅から500m、1km、2kmの圏域を作成し、圏域が100mメッシュの重心を含む箇所を抽出した。その属性に従って、A～Dの評価を行った。

## 2. 都市的土地利用の条件評価

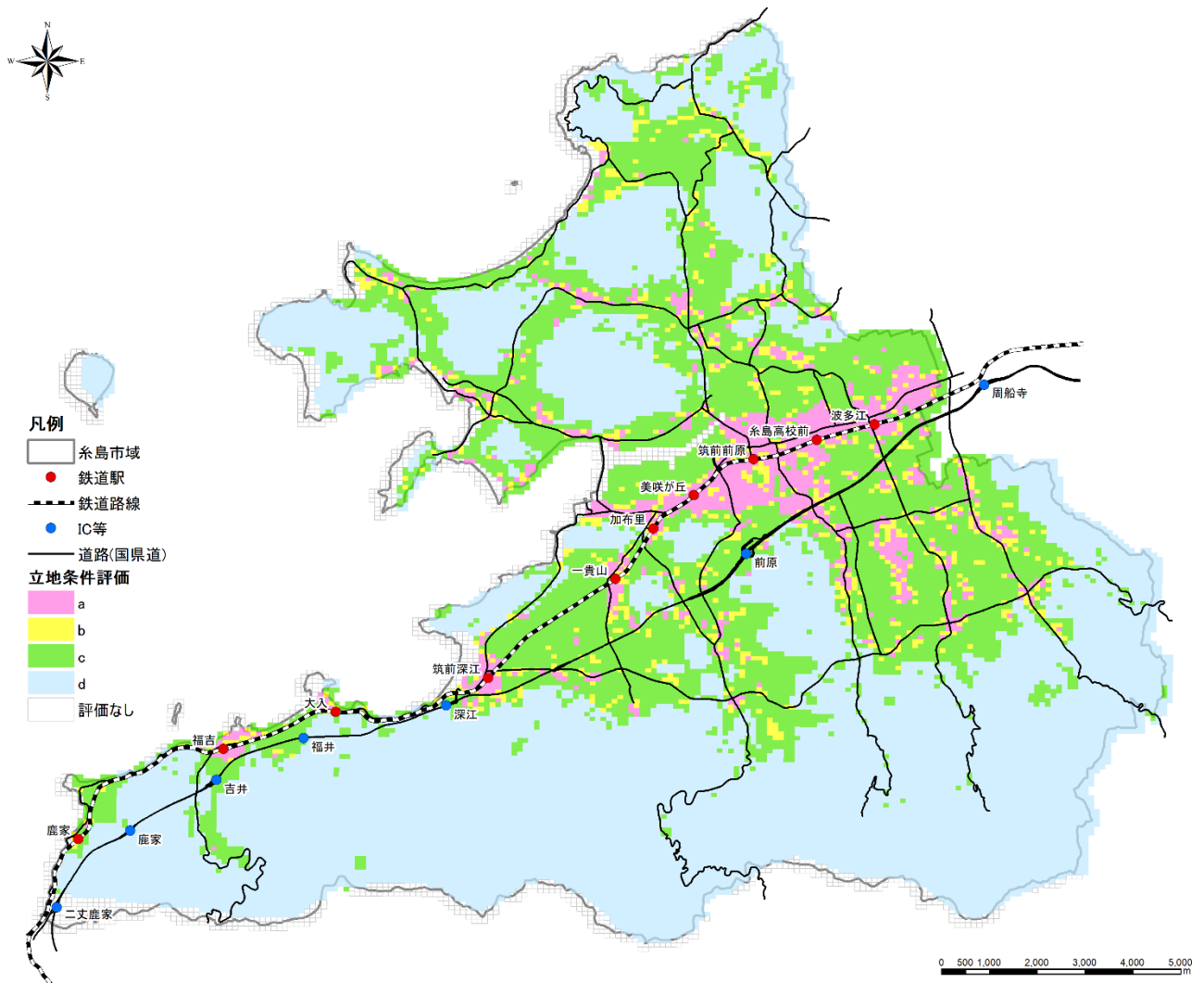
【α：地盤条件評価】

①傾斜度	②地質		
	2-A	2-B	2-C
8度未満	地-a	地-b	地-c
8～15度未満	地-a	地-b	地-c
15～20度未満	地-b	地-b	地-c
20度以上	地-c	地-c	地-c



【β：立地条件評価】

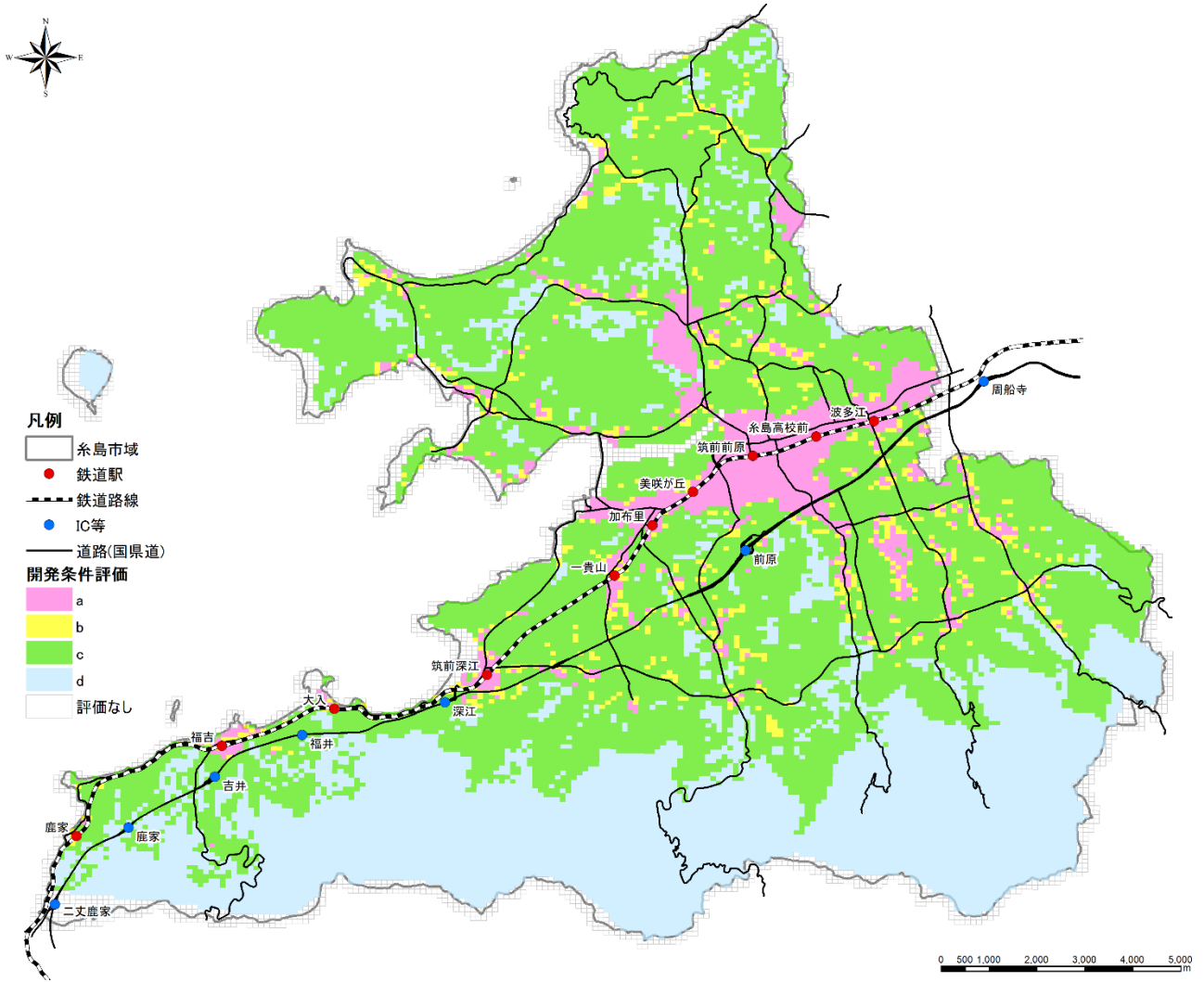
③宅地率	α：地盤条件		
	地-a	地-b	地-c
3-A	立-a	立-a	立-b
3-B	立-a	立-b	立-c
3-C	立-b	立-b	立-c
3-D	立-c	立-c	立-d





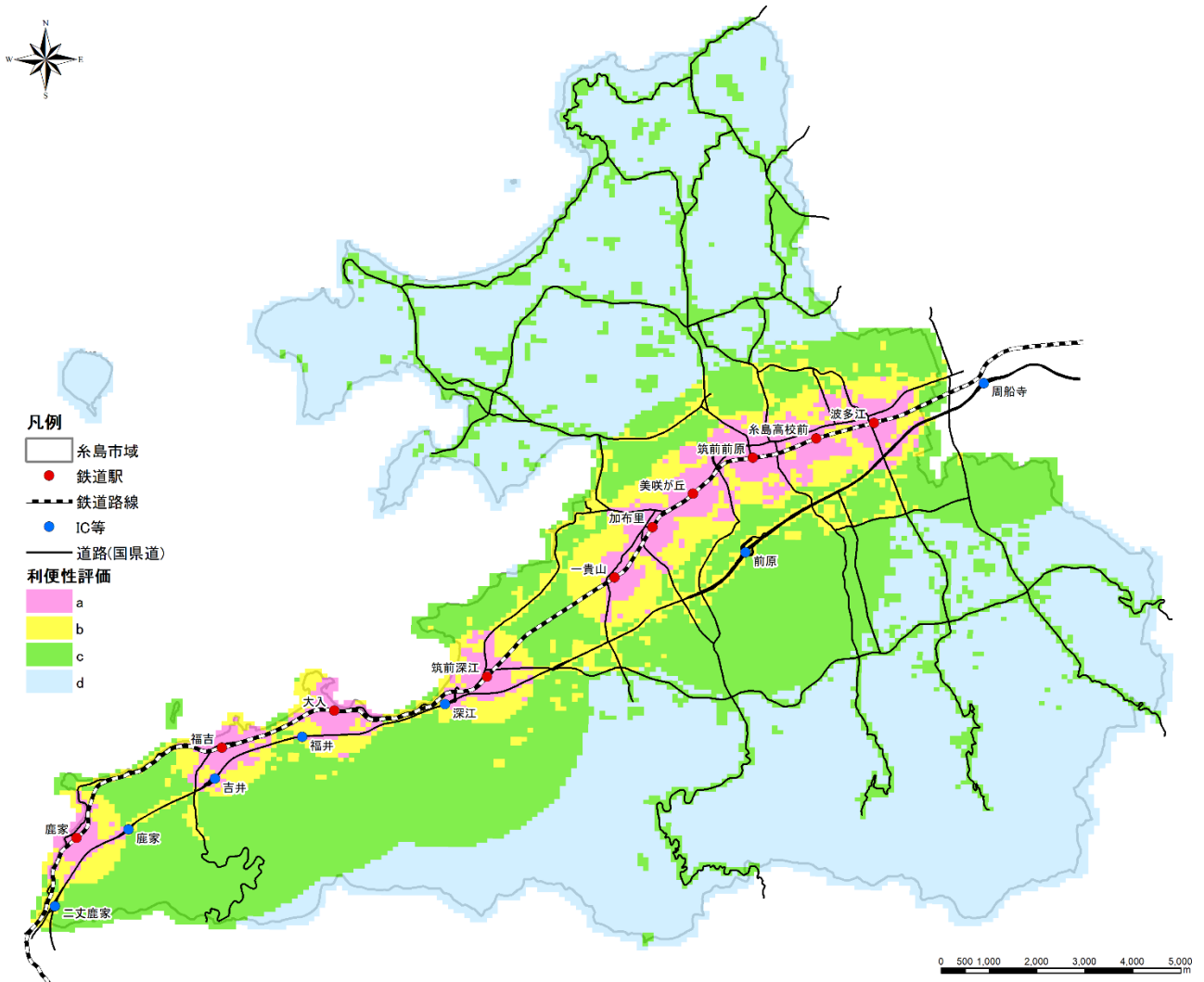
【 $\gamma$  : 開発条件評価】

④法的規制区域	$\beta$ : 立地条件評価			
	立-a	立-b	立-c	立-d
4-A	開-a	開-a	開-a	開-a
4-B	開-a	開-b	開-c	開-c
4-C	開-b	開-b	開-c	開-d
4-D	開-c	開-c	開-d	開-d



【ε：利便性】

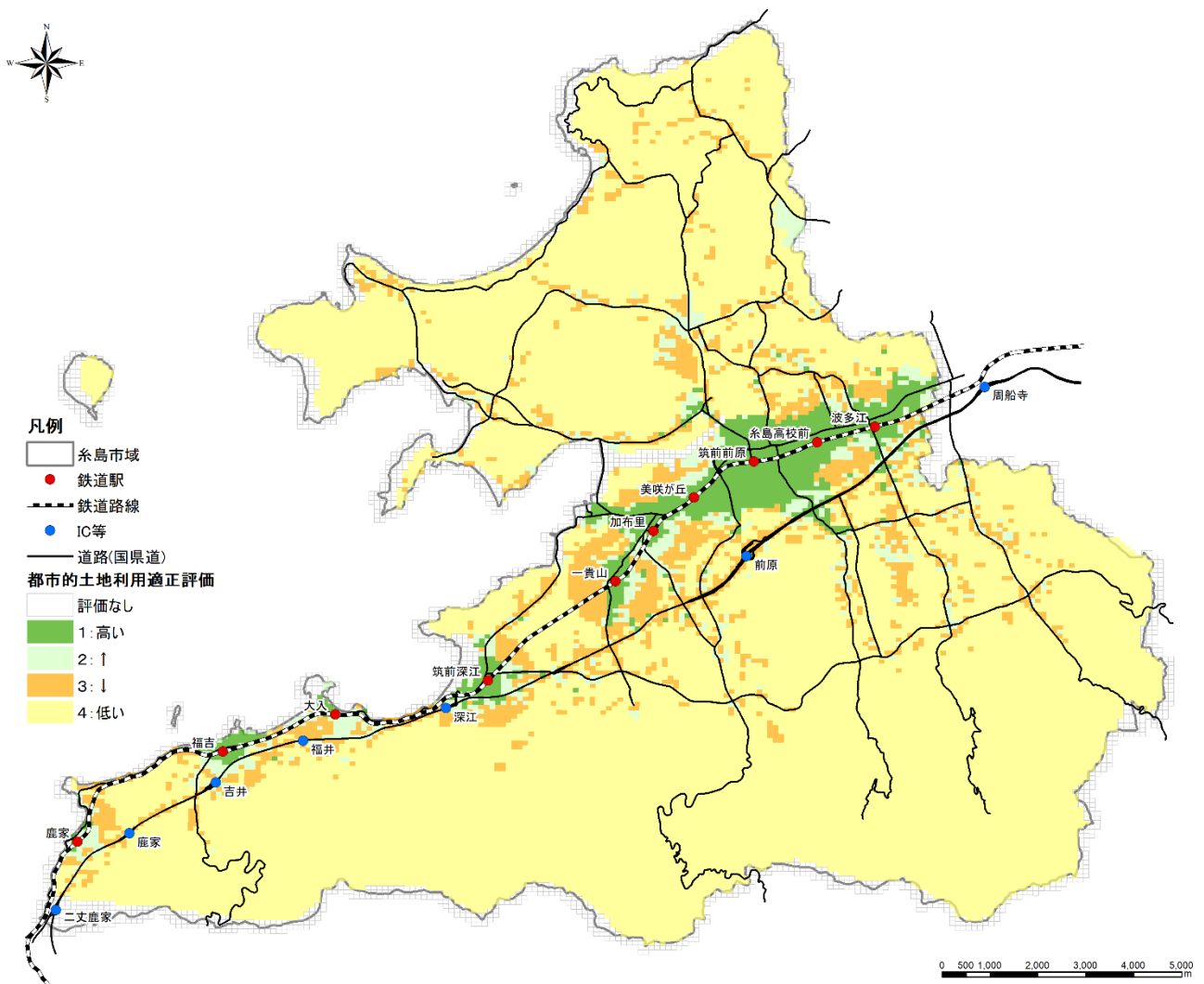
⑤主要道路沿道 と公共施設	⑥交通機能			
	6-A	6-B	6-C	6-D
5-A	利-a	利-a	利-b	利-c
5-B	利-a	利-b	利-c	利-c
5-C	利-b	利-b	利-c	利-d



### 3. 都市的土地利用適正評価の結果

ε : 利便性	γ : 開発条件			
	開-a	開-b	開-c	開-d
利-a	1	1	2	3
利-b	1	2	3	4
利-c	2	3	4	4
利-d	3	3	4	4

都市的土地利用適正評価	適正
1	高
2	↑
3	↓
4	低

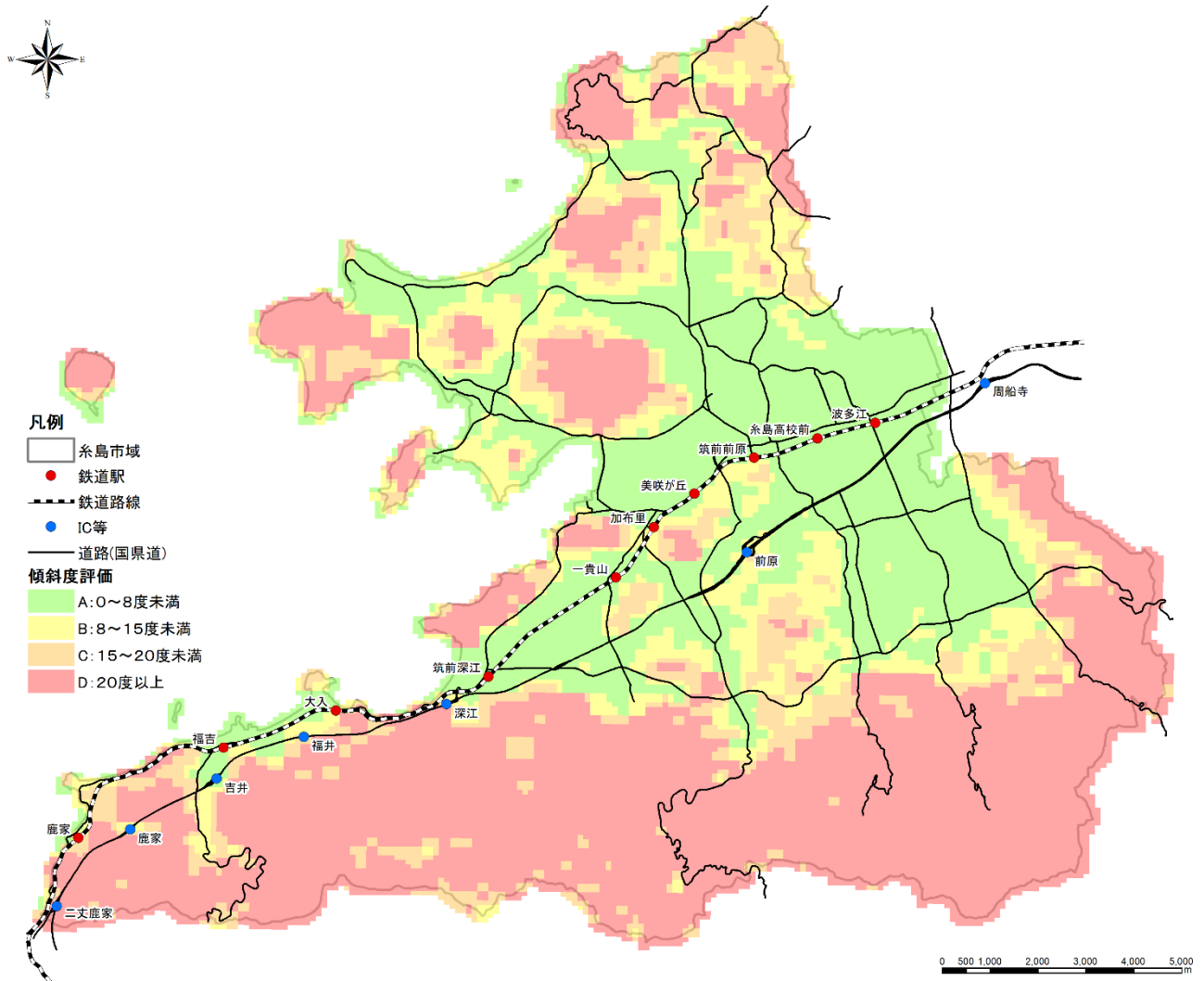


# ○産業立地適正評価

## 1. 産業立地適正評価指標の設定

### 1) 自然的条件

指標① 傾斜度：8度未満、8～15度未満、15～20度未満、20度以上

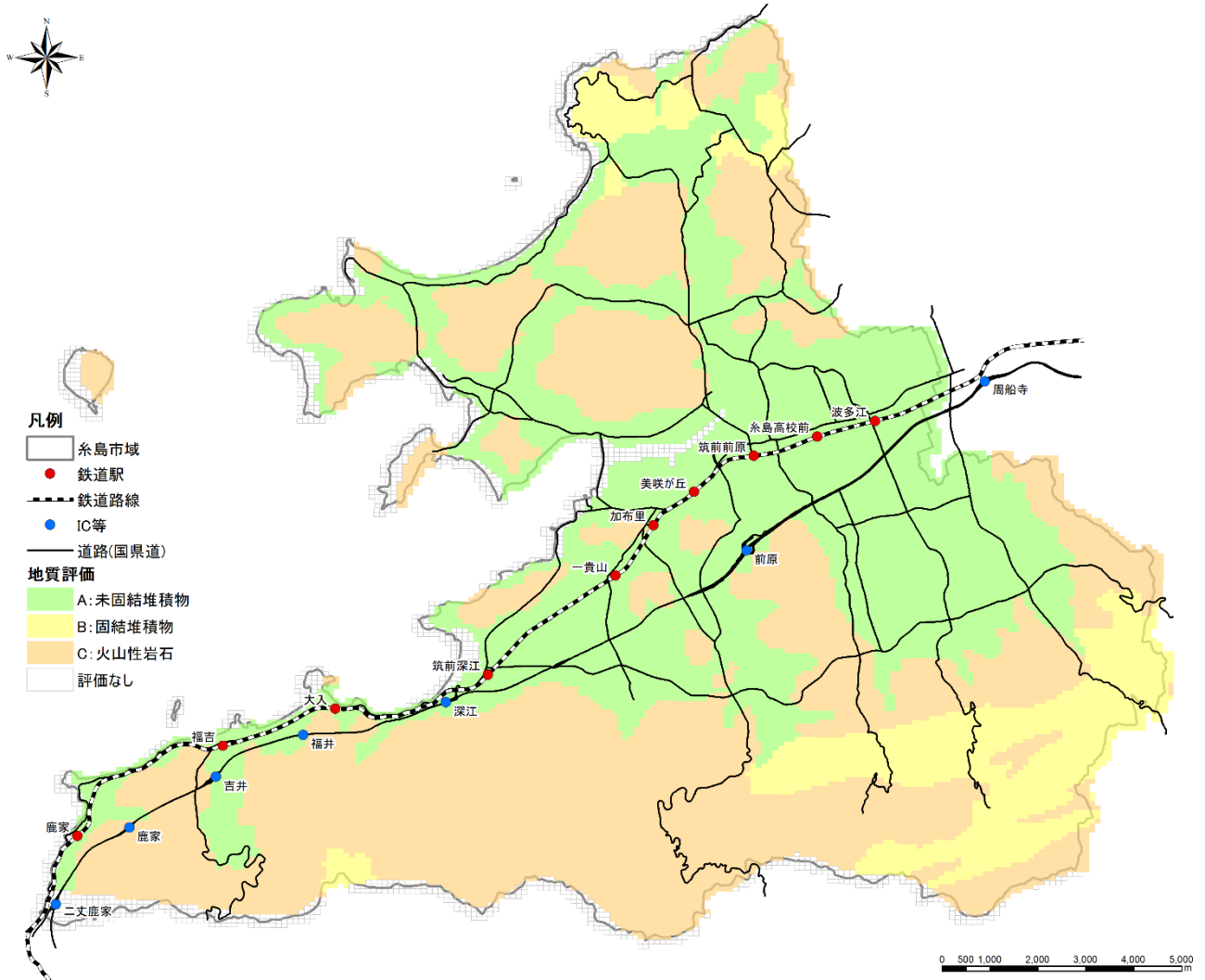


出典：国土数値情報/平成23年度/標高・傾斜度5次(250m)メッシュ

作成方法：250mメッシュを用いて加重平均により100mメッシュ毎の値を算出し、評価を行った。

指標② 地質：

評価	②地質
2-A	未固結堆積物
2-B	固結堆積物
2-C	火山性岩石



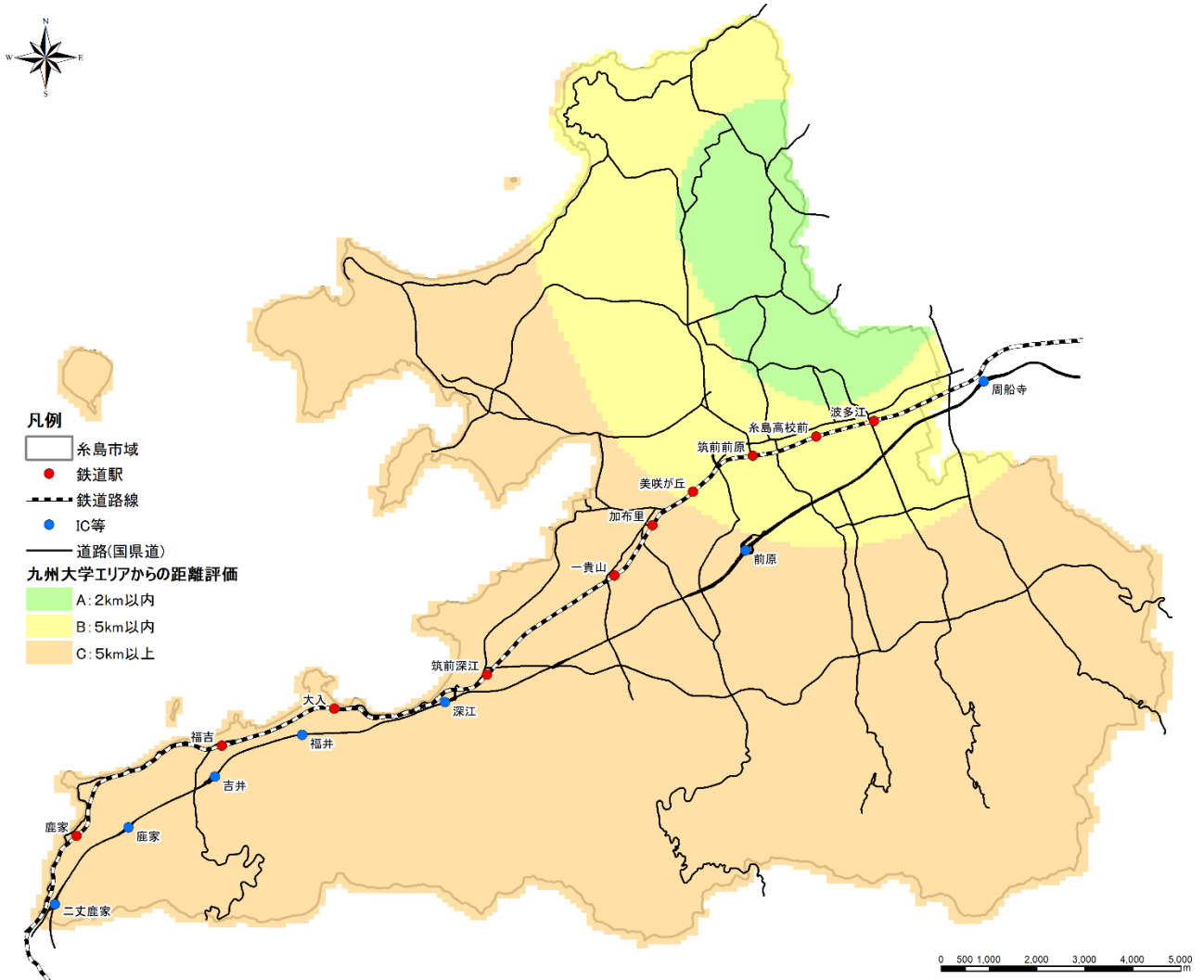
出典：国土数値情報/昭和 52 年度－平成 20 年度/表層地質（shape 形式）

作成方法：表層地質データを用いて、100mメッシュの重心が含まれる箇所を抽出し、その属性に従って、A～Cの評価を行った。

## 2) 社会的条件

指標③ 九州大学敷地からの距離：

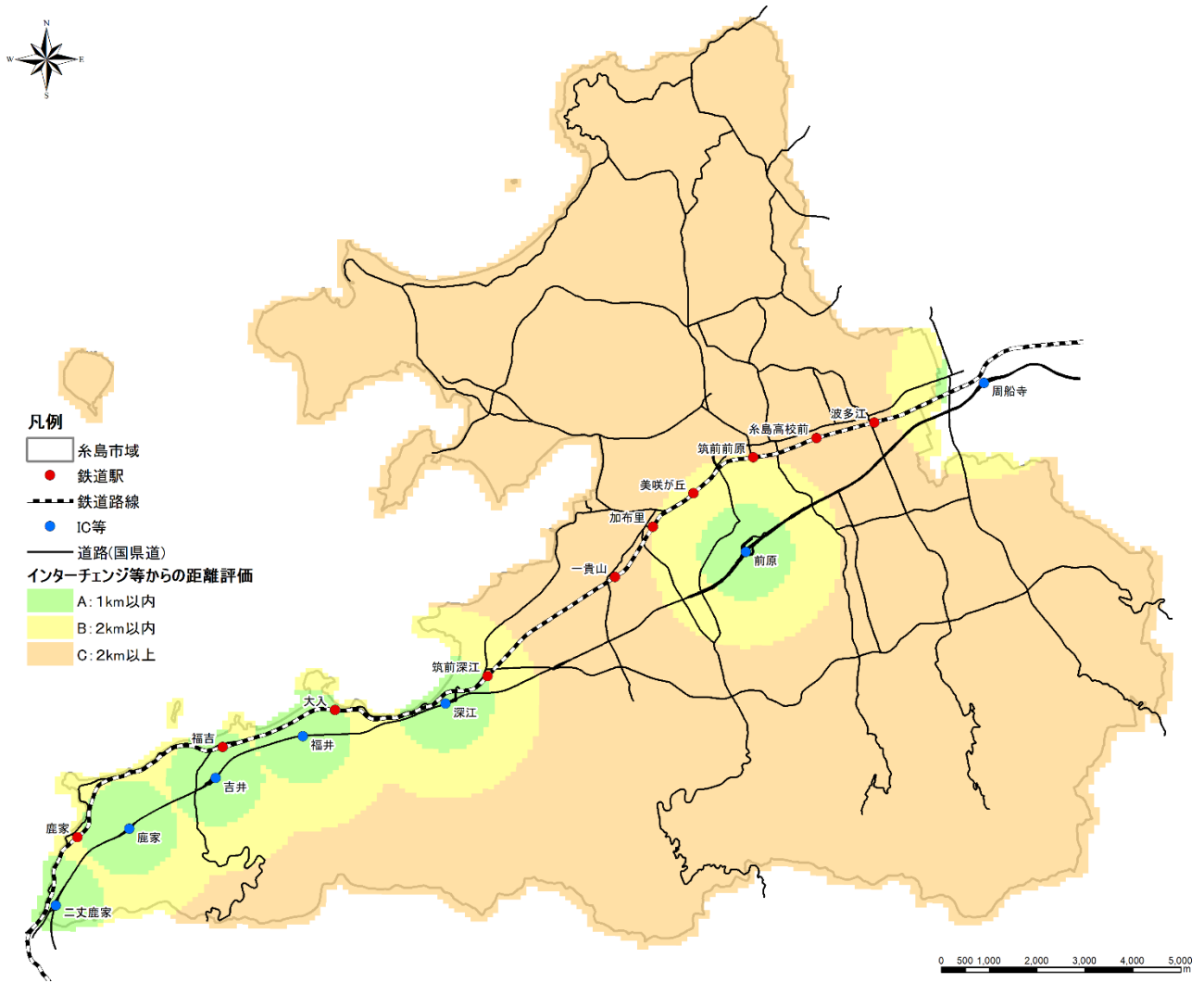
評価	③九州大学敷地からの距離
3-A	2km 以内
3-B	5km 以内
3-C	5km 以上



作成方法：九州大学エリアのポリゴンデータを作成し、2kmと5kmの圏域を作成した。圏域が100mメッシュの重心を含む箇所を抽出し、その属性に従って、A～Cの評価を行った。

指標④ インターチェンジなどからの距離：

評価	④インターチェンジなどからの距離
4-A	1km 以内
4-B	2km 以内
4-C	2km 以上



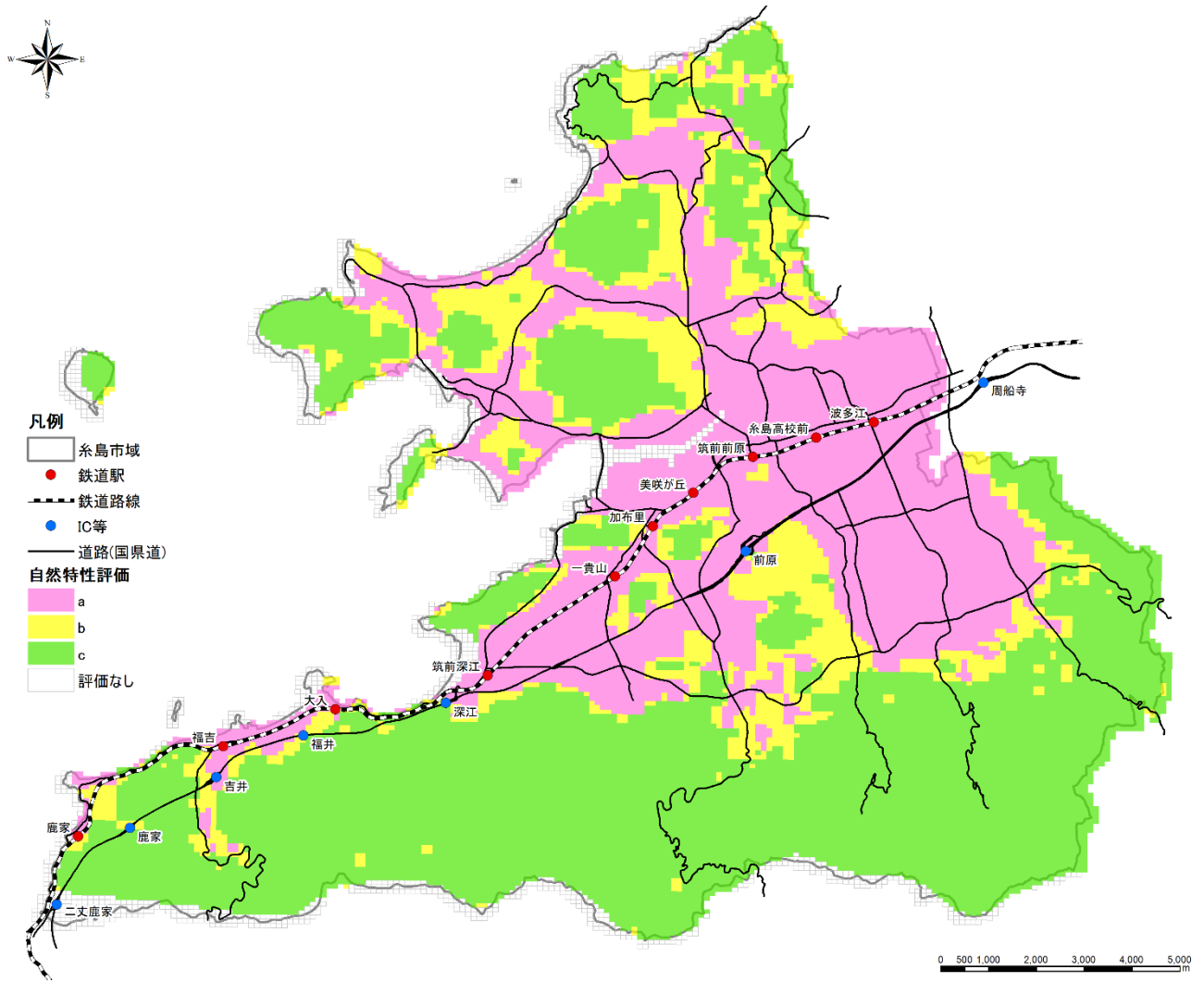
出典：国土数値情報/平成30年度/高速道路時系列データ（Shape形式）

作成方法：IC（ポイントデータ）から1kmと2kmの圏域を作成した。圏域が100mメッシュの重心を含む箇所を抽出し、その属性に従って、A～Cの評価を行った

## 2. 産業立地の条件評価

【α：自然特性評価】

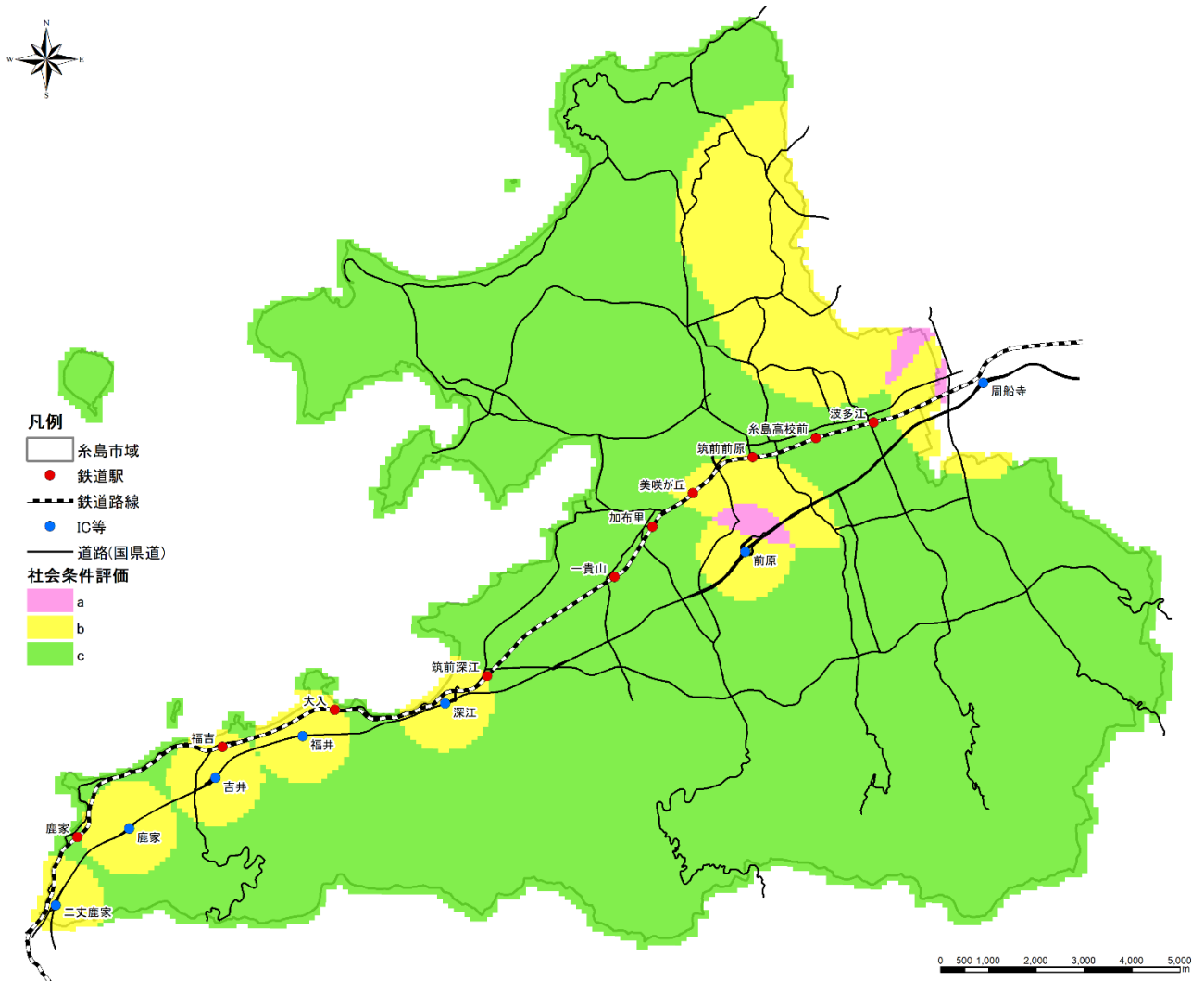
②地質	①傾斜度			
	8度未満	8～15度未満	15～20度未満	20度以上
2-A	自-a	自-a	自-b	自-c
2-B	自-a	自-b	自-b	自-c
2-C	自-b	自-b	自-c	自-c





【β：社会条件評価】

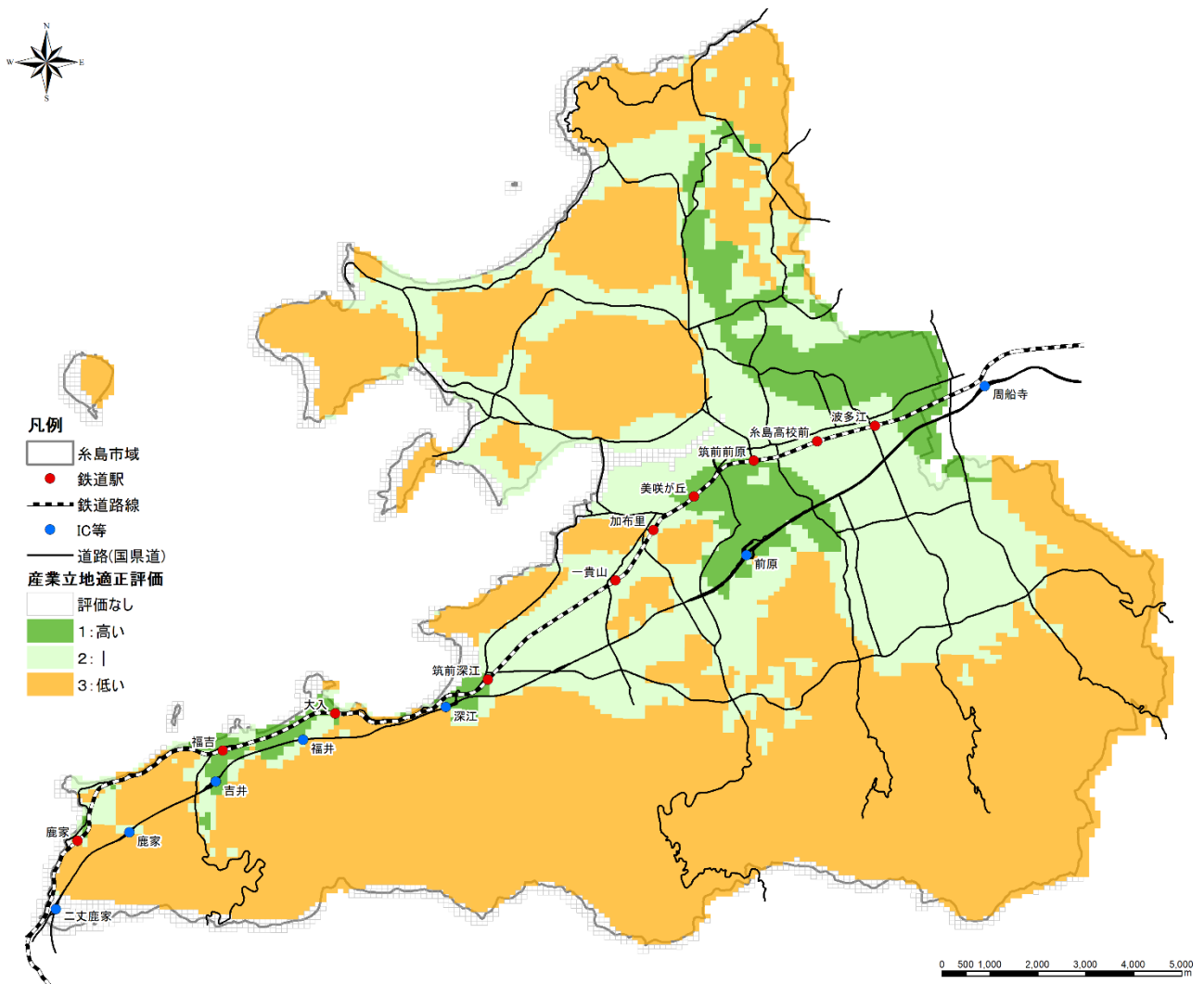
③九州大学敷地 からの距離	④インターチェンジからの距離		
	4-A	4-B	4-C
3-A	社-a	社-a	社-b
3-B	社-a	社-b	社-c
3-C	社-b	社-c	社-c



### 3. 産業立地適正評価の結果

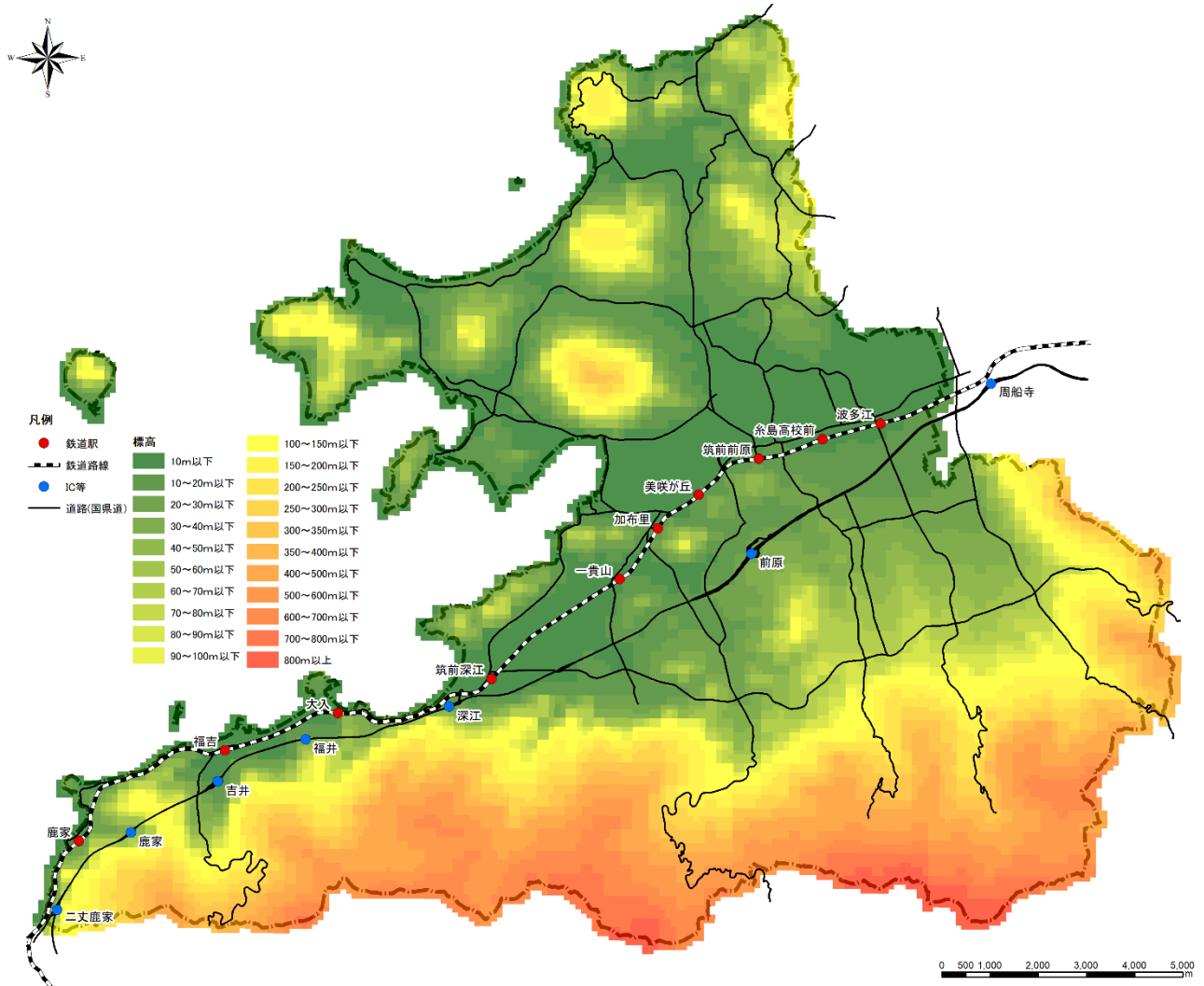
β : 社会条件評価	α : 自然特性評価		
	自-a	自-b	自-c
社-a	1	1	2
社-b	1	2	3
社-c	2	3	3

産業立地適正評価	適正
1	高
2	↓
3	低



# 参考資料7 土地利用参考図類

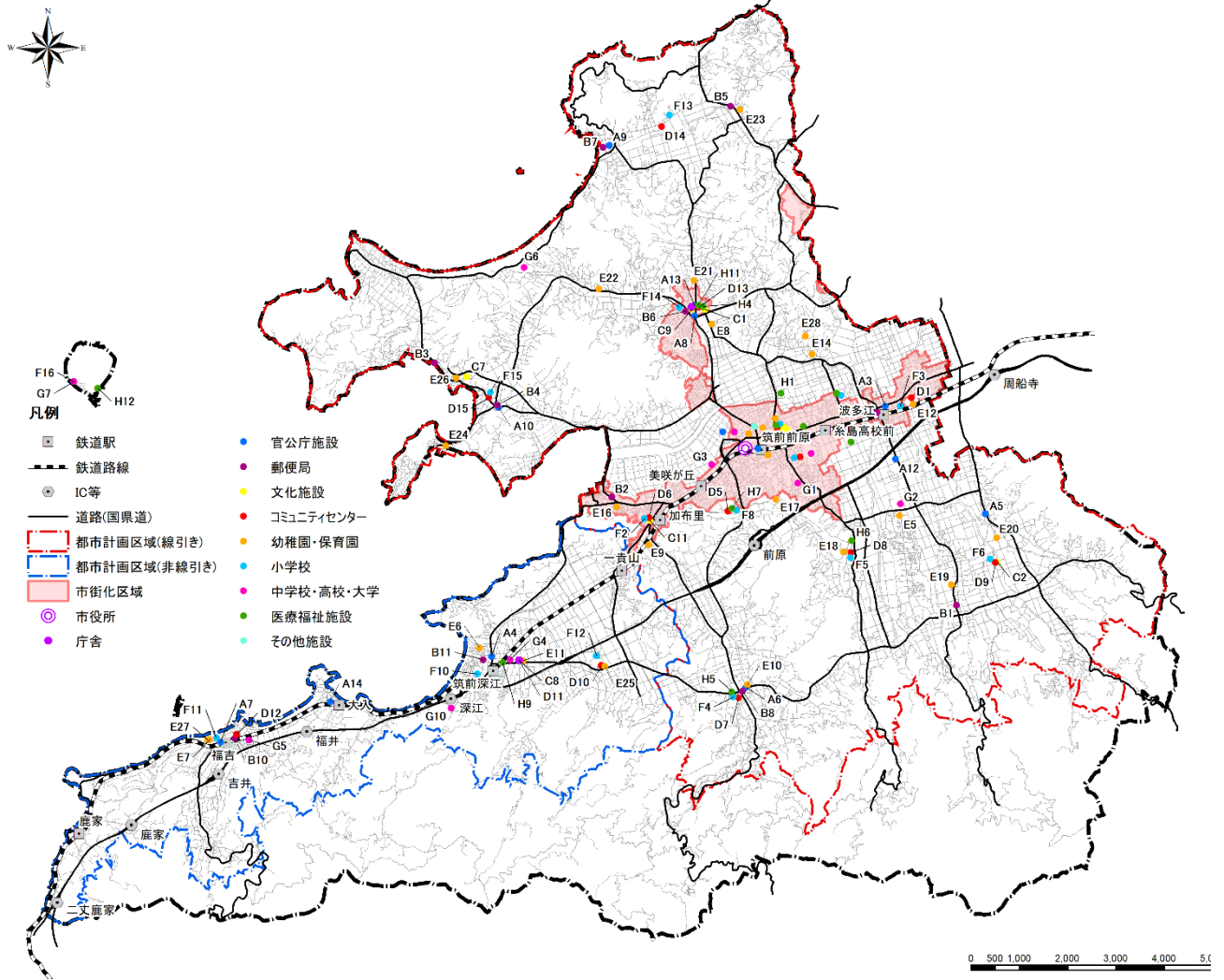
## 1. 標高図



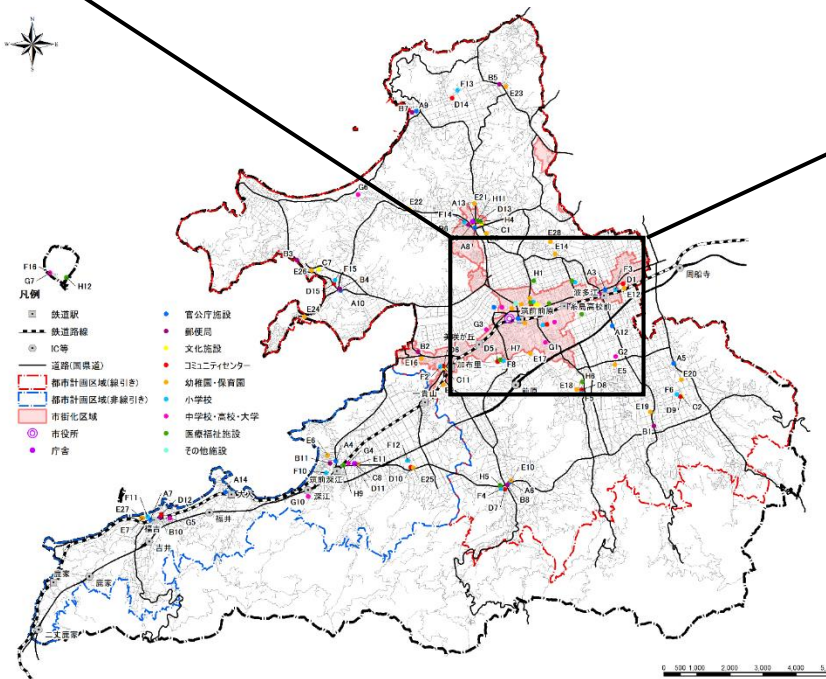
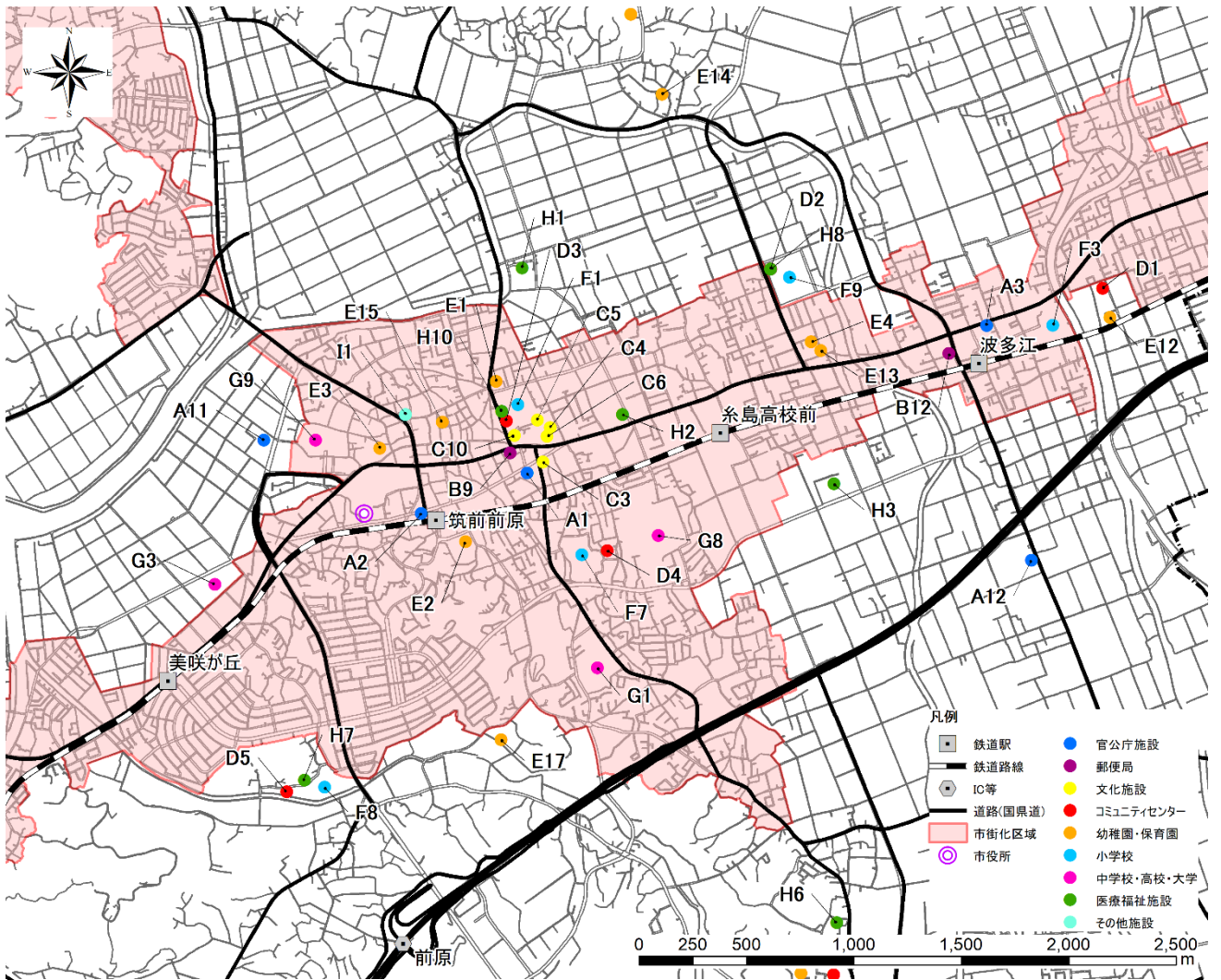
出典：国土数値情報/平成 23 年度/標高・傾斜度 5 次 (250m) メッシュ

作成方法：250m メッシュを用いて加重平均により 100m メッシュ毎の値を算出し、評価を行った。

## 2. 公共施設分布図



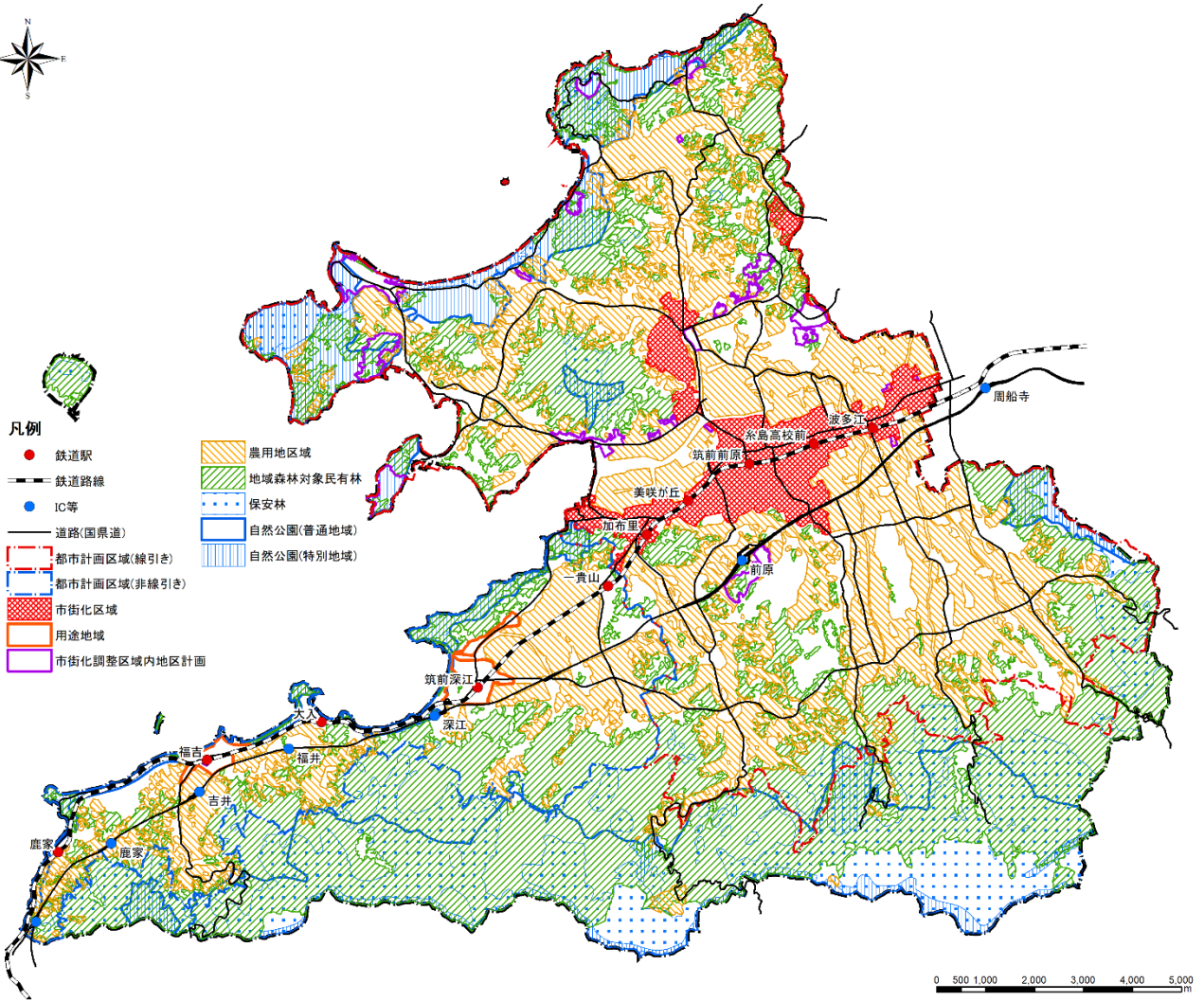
出典：糸島市HP





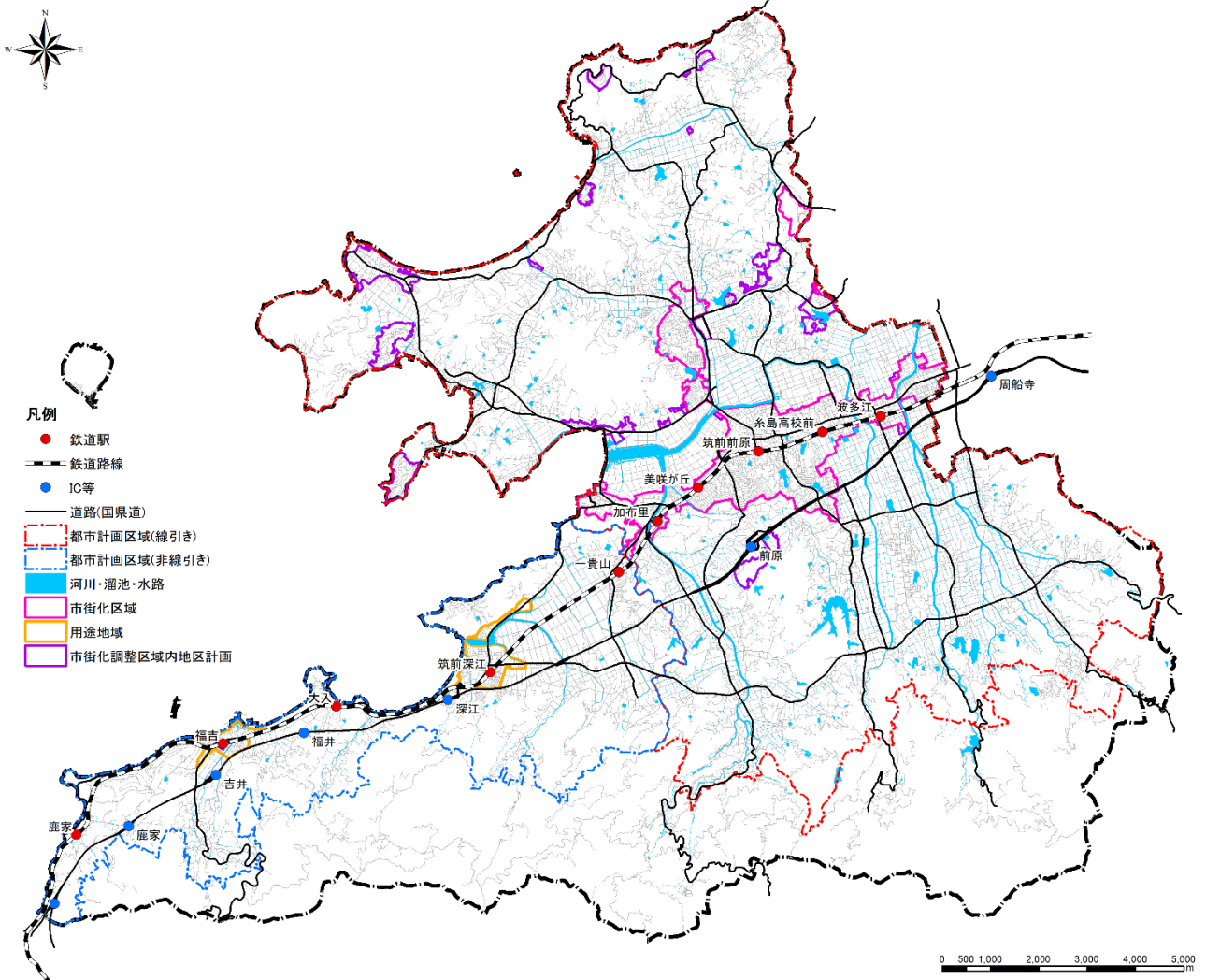
ID	分類	名称	ID	分類	名称	ID	分類	名称
A1	警察署	糸島警察署	D1	コミュニティセンタ	波多江コミュニティセンター	F1	小学校	前原小学校
A2	交番	前原駅前交番	D2	コミュニティセンタ	東風コミュニティセンター	F2	小学校	加布里小学校
A3	交番	波多江交番	D3	コミュニティセンタ	前原コミュニティセンター	F3	小学校	波多江小学校
A4	交番	二丈交番	D4	コミュニティセンタ	前原南コミュニティセンター	F4	小学校	長糸小学校
A5	駐在所	大門駐在所	D5	コミュニティセンタ	南風コミュニティセンター	F5	小学校	雷山小学校
A6	駐在所	長糸駐在所	D6	コミュニティセンタ	加布里コミュニティセンター	F6	小学校	怡土小学校
A7	駐在所	福吉駐在所	D7	コミュニティセンタ	長糸コミュニティセンター	F7	小学校	前原南小学校
A8	駐在所	可也駐在所	D8	コミュニティセンタ	雷山コミュニティセンター	F8	小学校	南風小学校
A9	駐在所	野北駐在所	D9	コミュニティセンタ	怡土コミュニティセンター	F9	小学校	東風小学校
A10	駐在所	引津駐在所	D10	コミュニティセンタ	一貴山コミュニティセンター	F10	小学校	深江小学校
A11	消防本部	糸島市消防本部	D11	コミュニティセンタ	深江コミュニティセンター	F11	小学校	福吉小学校
A12	出張所	消防署前原出張所	D12	コミュニティセンタ	福吉コミュニティセンター	F12	小学校	一貴山小学校
A13	出張所	消防署志摩出張所	D13	コミュニティセンタ	可也コミュニティセンター	F13	小学校	桜野小学校
A14	出張所	消防署二丈出張所	D14	コミュニティセンタ	桜野コミュニティセンター	F14	小学校	可也小学校
ID	分類	名称	D15	コミュニティセンタ	引津コミュニティセンター	F15	小学校	引津小学校
B1	郵便局	怡土郵便局	ID	分類	名称	F16	小学校	姫島小学校
B2	郵便局	加布里郵便局	E1	幼稚園	アソコ幼稚園	ID	分類	名称
B3	郵便局	芥屋郵便局	E2	幼稚園	笹山幼稚園	G1	中学校	前原中学校
B4	郵便局	小富士郵便局	E3	幼稚園	前原幼稚園	G2	中学校	前原東中学校
B5	郵便局	桜井郵便局	E4	幼稚園	瑠璃幼稚園	G3	中学校	前原西中学校
B6	郵便局	志摩郵便局	E5	幼稚園	そね幼稚園	G4	中学校	二丈中学校
B7	郵便局	野北郵便局	E6	幼稚園	二丈こべ幼稚園	G5	中学校	福吉中学校
B8	郵便局	長糸郵便局	E7	幼稚園	福吉幼稚園	G6	中学校	志摩中学校
B9	郵便局	前原郵便局	E8	幼稚園	可也幼稚園	G7	中学校	志摩中学校 姫島分校
B10	郵便局	福吉郵便局	E9	保育園	かみあり保育園	G8	高校	糸島高等学校
B11	郵便局	二丈郵便局	E10	保育園	長糸保育園	G9	高校	糸島農業高等学校
B12	郵便局	波多江郵便局	E11	保育園	深江保育園	G10	大学	西日本短期大学二丈キャンパス
ID	分類	名称	E12	保育園	白鳩保育園	ID	分類	名称
C1	文化施設	志摩歴史資料館	E13	保育園	うるう保育園	H1	医療	糸島市休日・夜間急患センター
C2	文化施設	伊都国歴史博物館	E14	保育園	泊保育所	H2	医療	糸島口腔保健センター
C3	文化施設	糸島市図書館本館	E15	保育園	りんでん保育園	H3	福祉	健康福祉センターあごら
C4	文化施設	伊都文化会館	E16	保育園	加布里保育園	H4	福祉	健康福祉センターふれあい
C5	文化施設	伊都文化会館多目的ルーム	E17	保育園	前原中央保育園	H5	福祉	長糸高齢者いこいの家
C6	文化施設	伊都郷土美術館	E18	保育園	雷山保育園	H6	福祉	雷山高齢者いこいの家
C7	文化施設	新町遺跡展示館	E19	保育園	いώρα保育園	H7	福祉	南風高齢者いこいの家
C8	文化施設	糸島市交流プラザ二丈館・糸島市図書館二丈館	E20	保育園	怡土中央台保育園	H8	福祉	東風高齢者いこいの家
C9	文化施設	糸島市交流プラザ志摩館・糸島市図書館志摩館	E21	保育園	青空保育園	H9	福祉	高齢者福祉施設二丈苑
C10	文化施設	糸島市人権センター	E22	保育園	金華保育園	H10	福祉	介護予防センターはつらつ館
C11	文化施設	男女共同参画センターラポール	E23	保育園	桜井保育園	H11	福祉	糸島市シニアプラザ
			E24	保育園	引津保育園	H12	福祉	姫島福祉センターはまゆう
			E25	保育園	一貴山保育園	ID	分類	名称
			E26	保育園	るんびに保育園	I1	その他施設	糸島市商工会
			E27	保育園	福吉保育園			

### 3. 法適用現況図



出典：国土数値情報

#### 4. 水面・河川・水路図

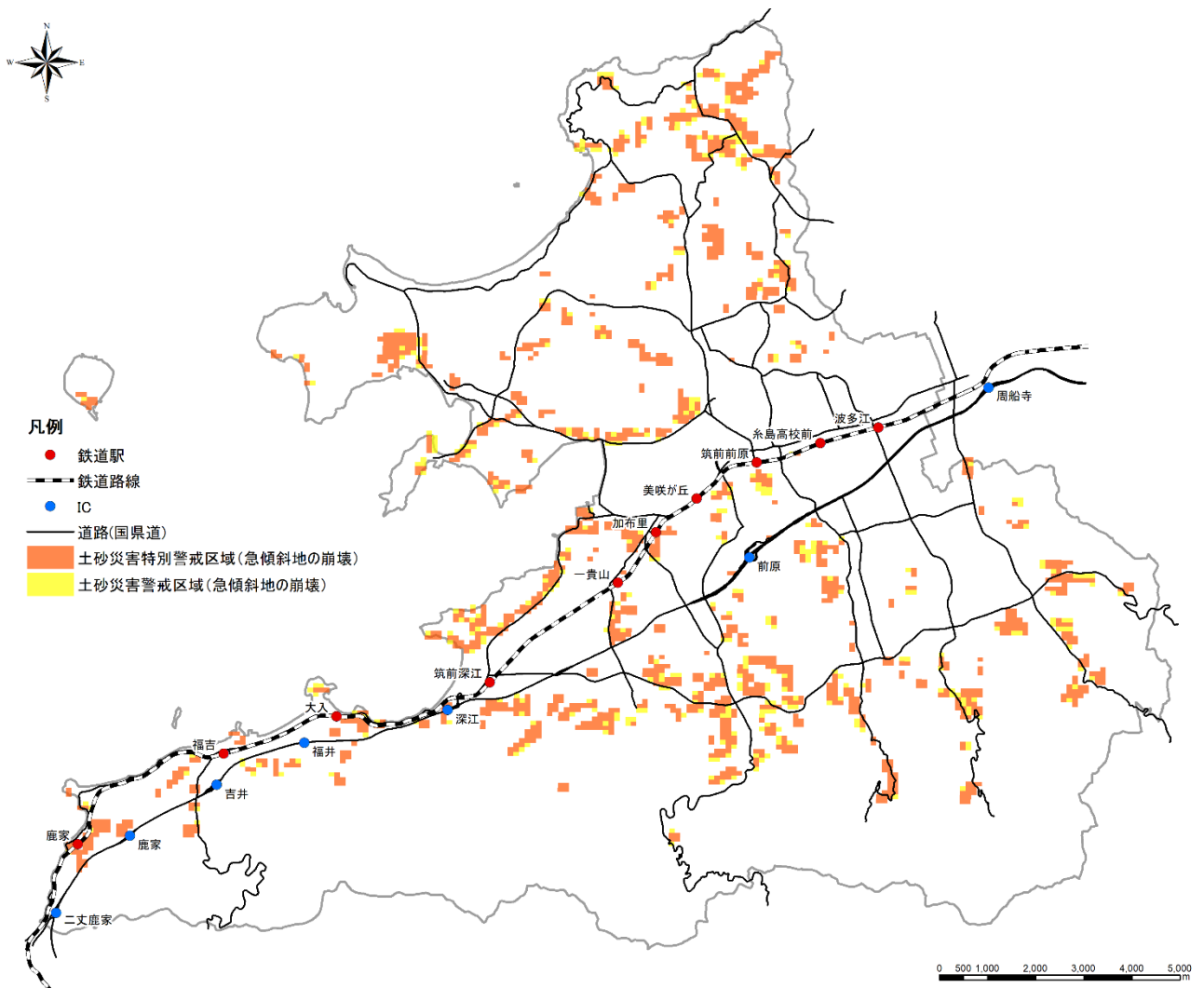


出典：H29 都市計画基礎調査



## 5. 災害エリア

### 1) 土砂災害警戒区域など

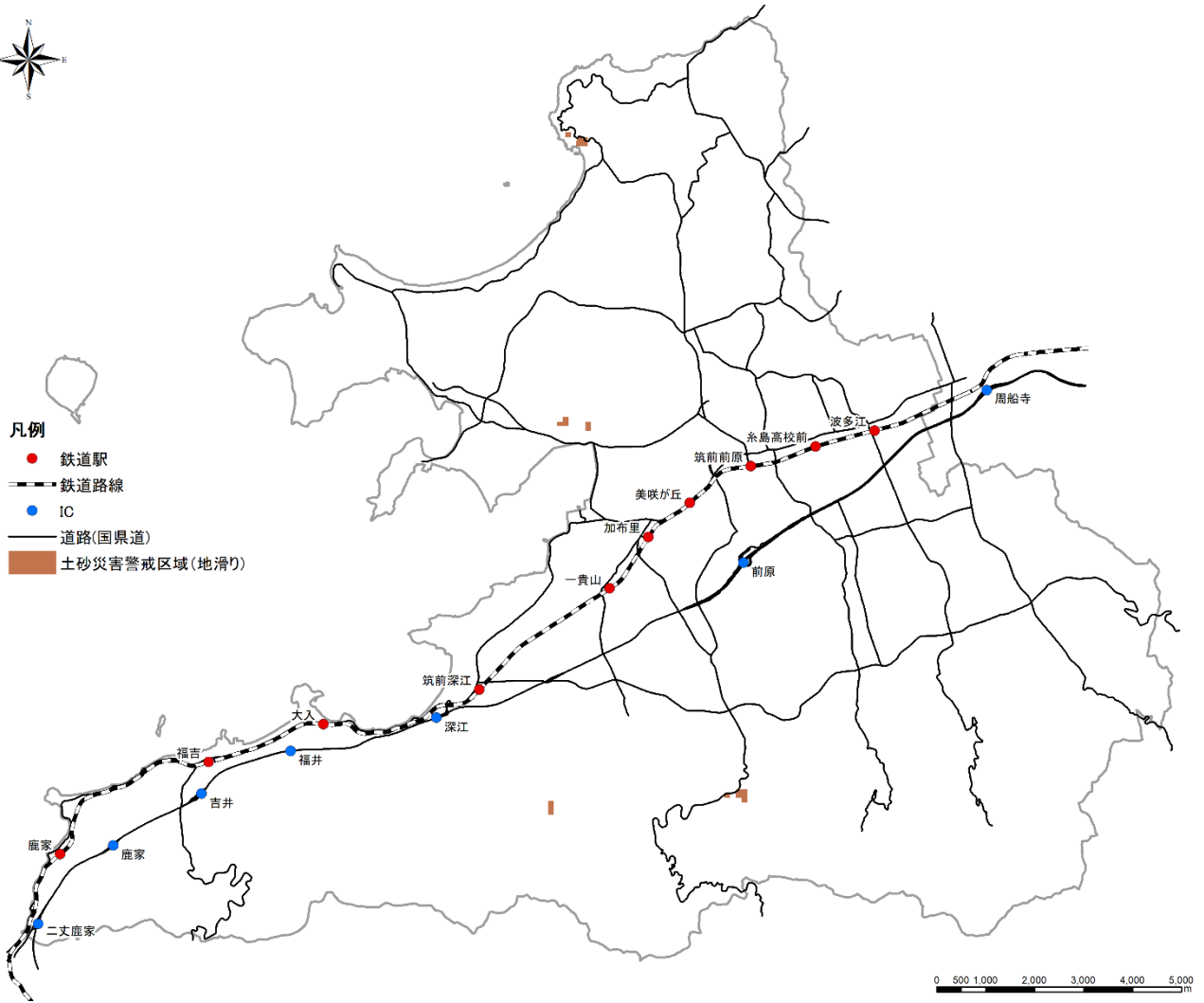


出典：庁内資料（土砂災害警戒区域など）



凡例

- 鉄道駅
- 鉄道路線
- IC
- 道路(国県道)
- 土砂災害警戒区域(地滑り)

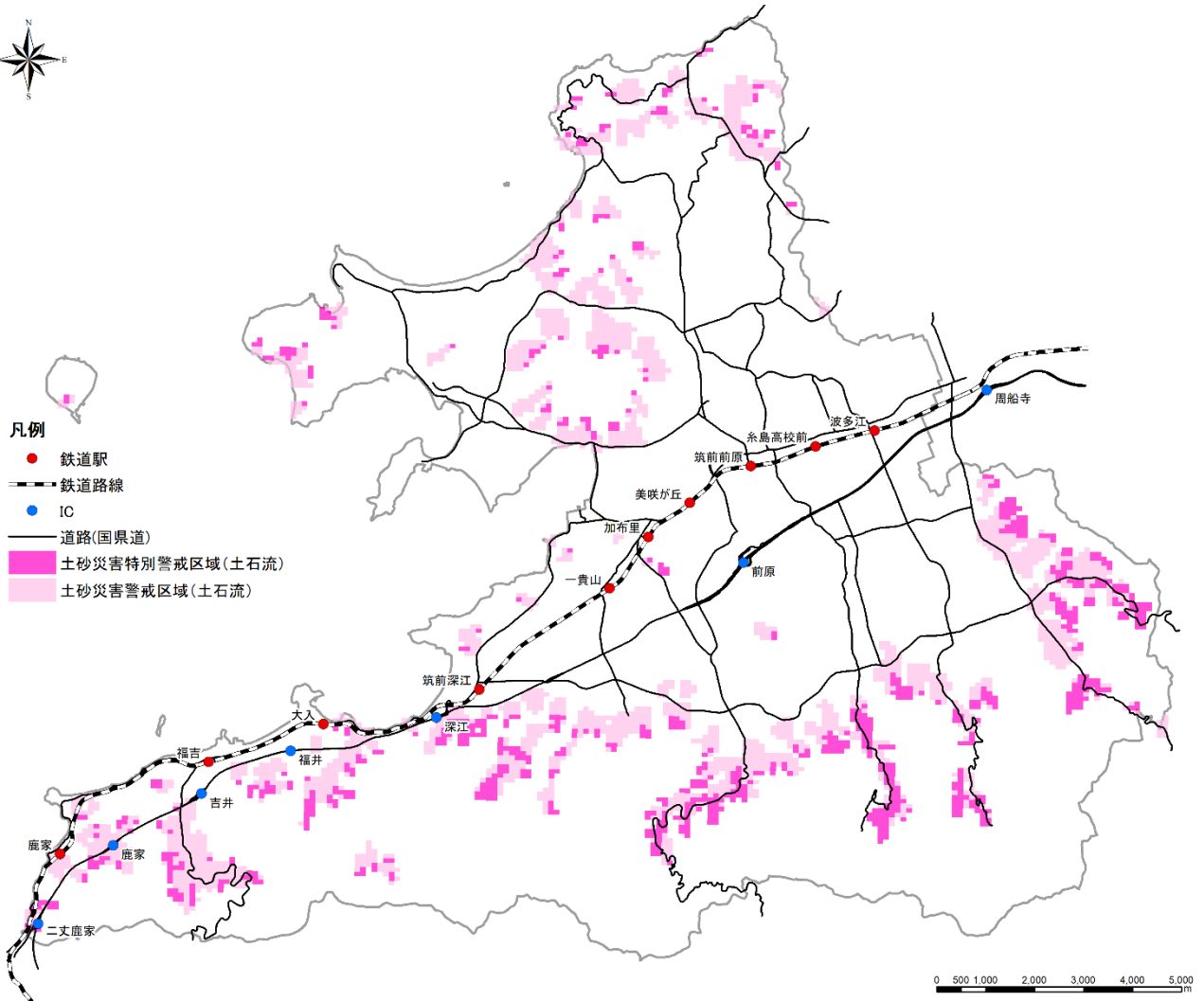


出典：庁内資料（土砂災害警戒区域など）



凡例

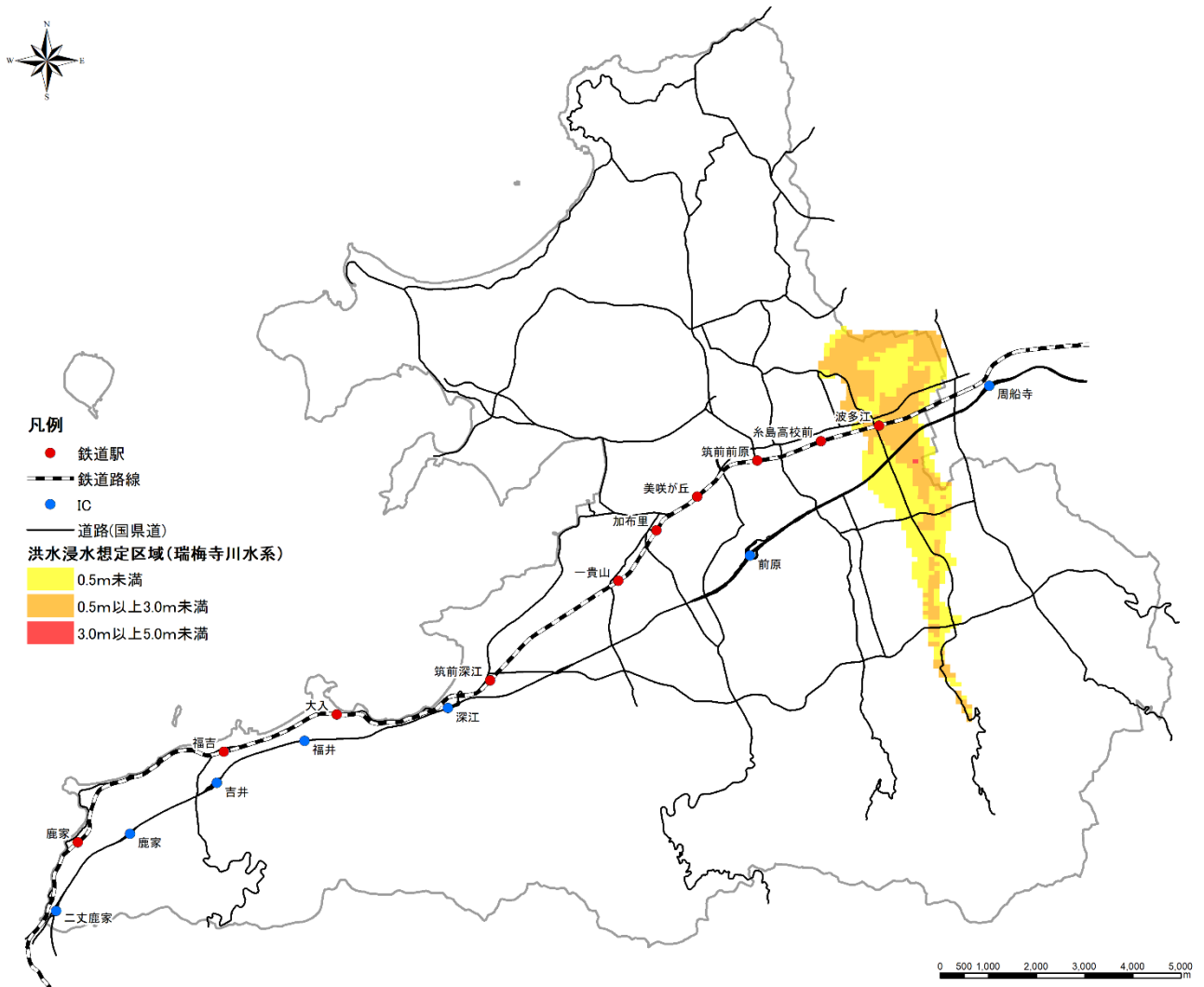
- 鉄道駅
- 鉄道路線
- IC
- 道路(国県道)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(土石流)



出典：庁内資料（土砂災害警戒区域など）

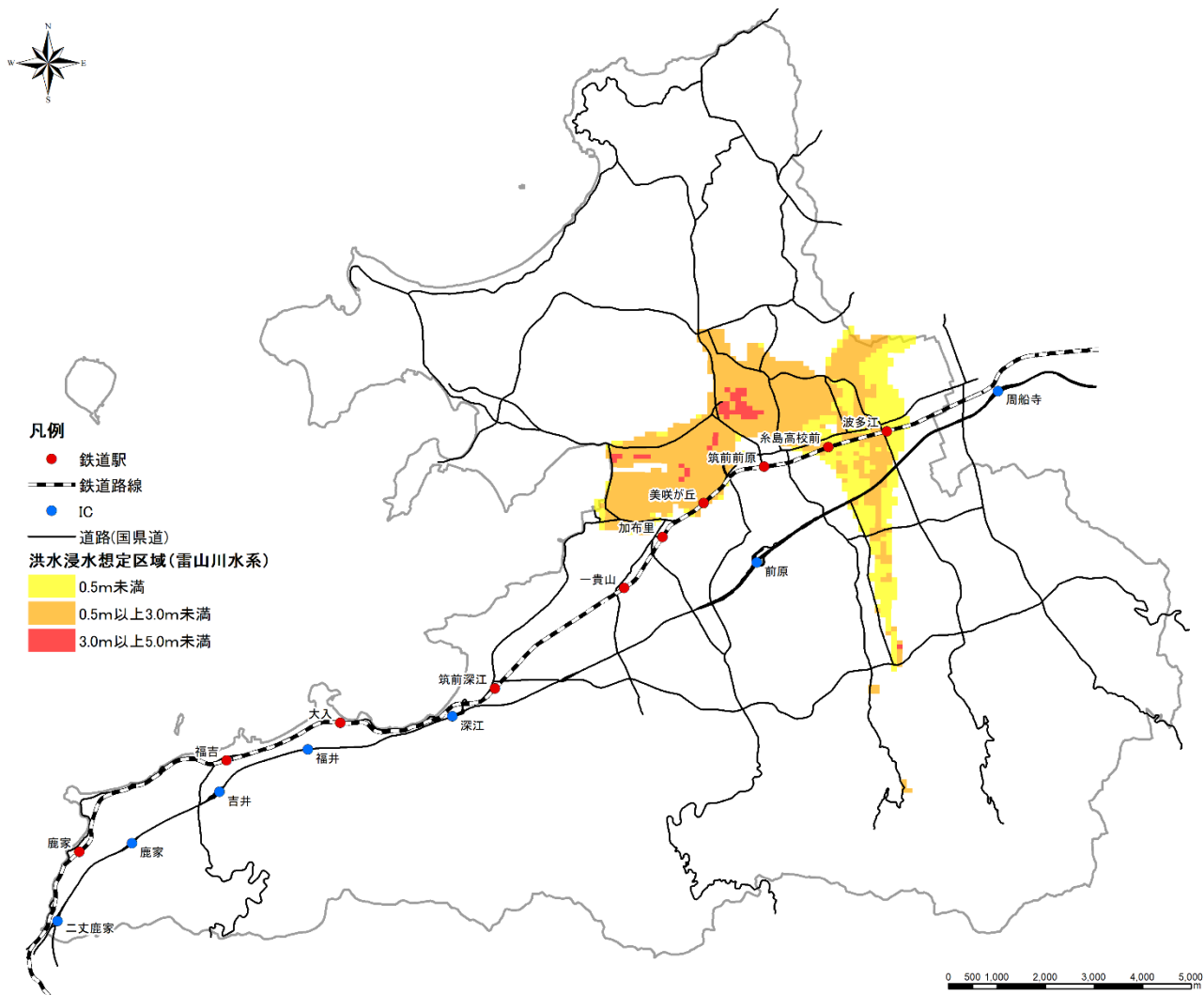
## 2) 洪水浸水想定区域

### (1) 瑞梅寺川水系



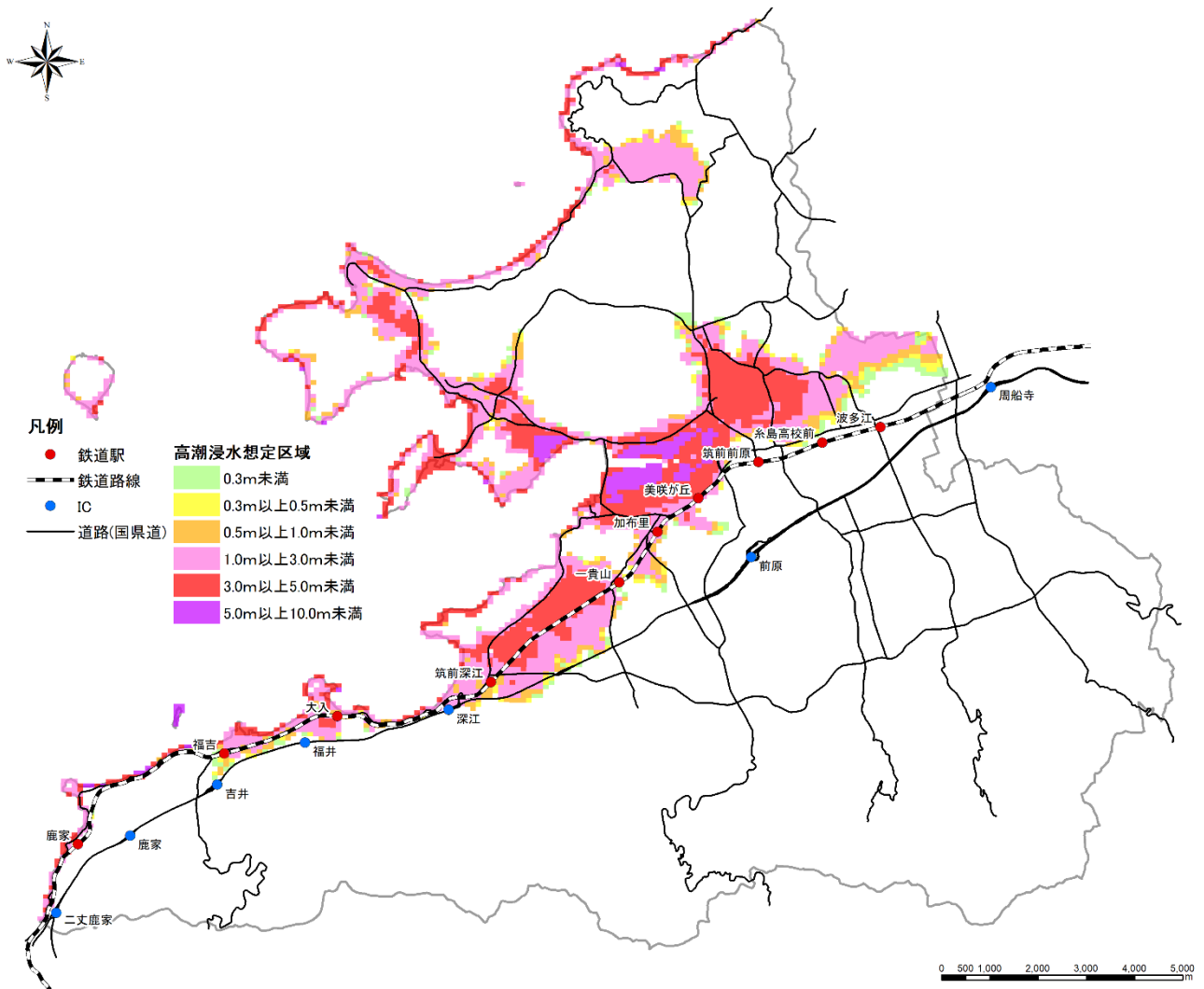
出典：庁内資料（洪水浸水想定区域）

## (2) 雷山川水系



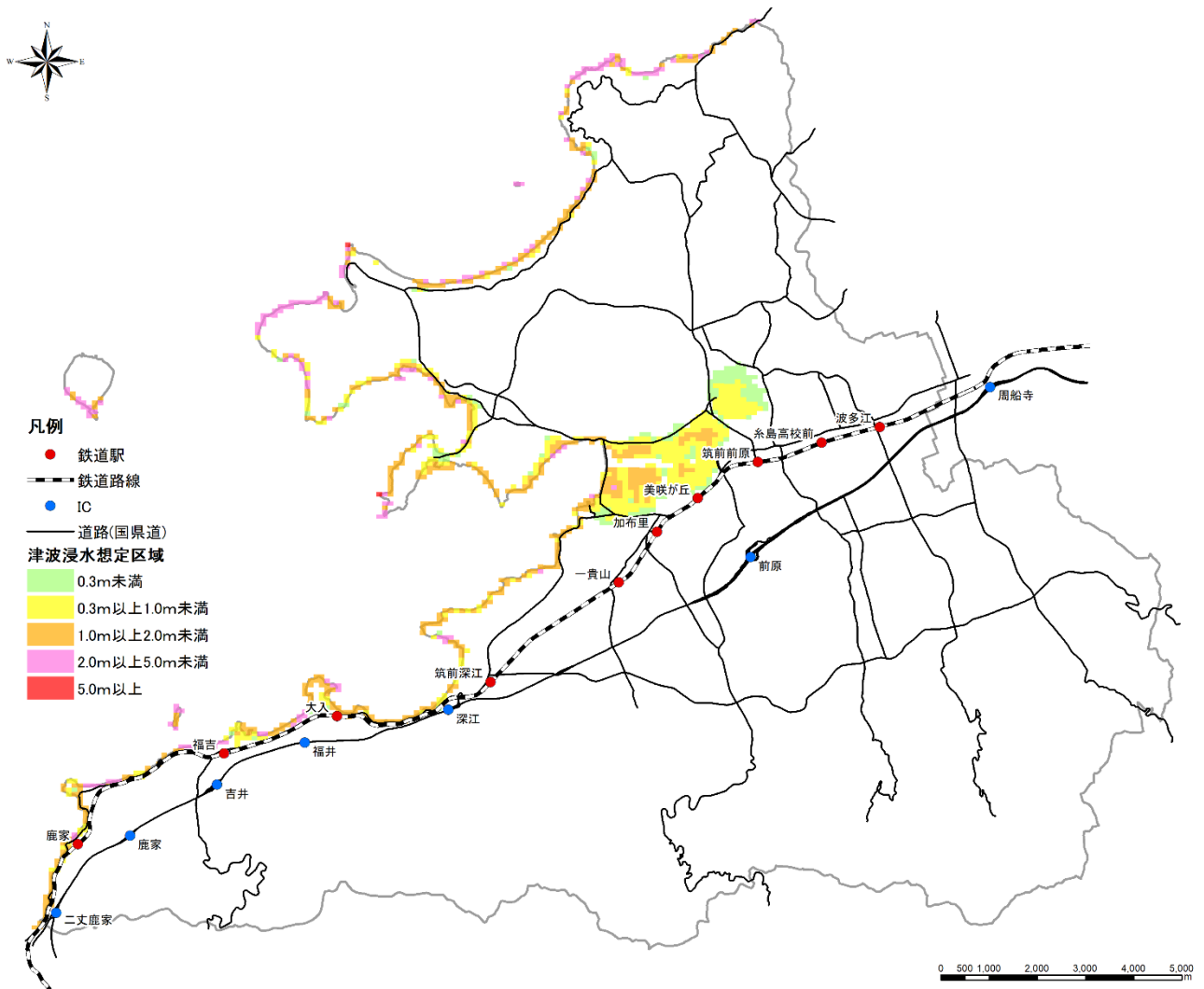
出典：庁内資料（洪水浸水想定区域）

### 3) 高潮浸水想定区域



出典：庁内資料（高潮浸水想定区域）

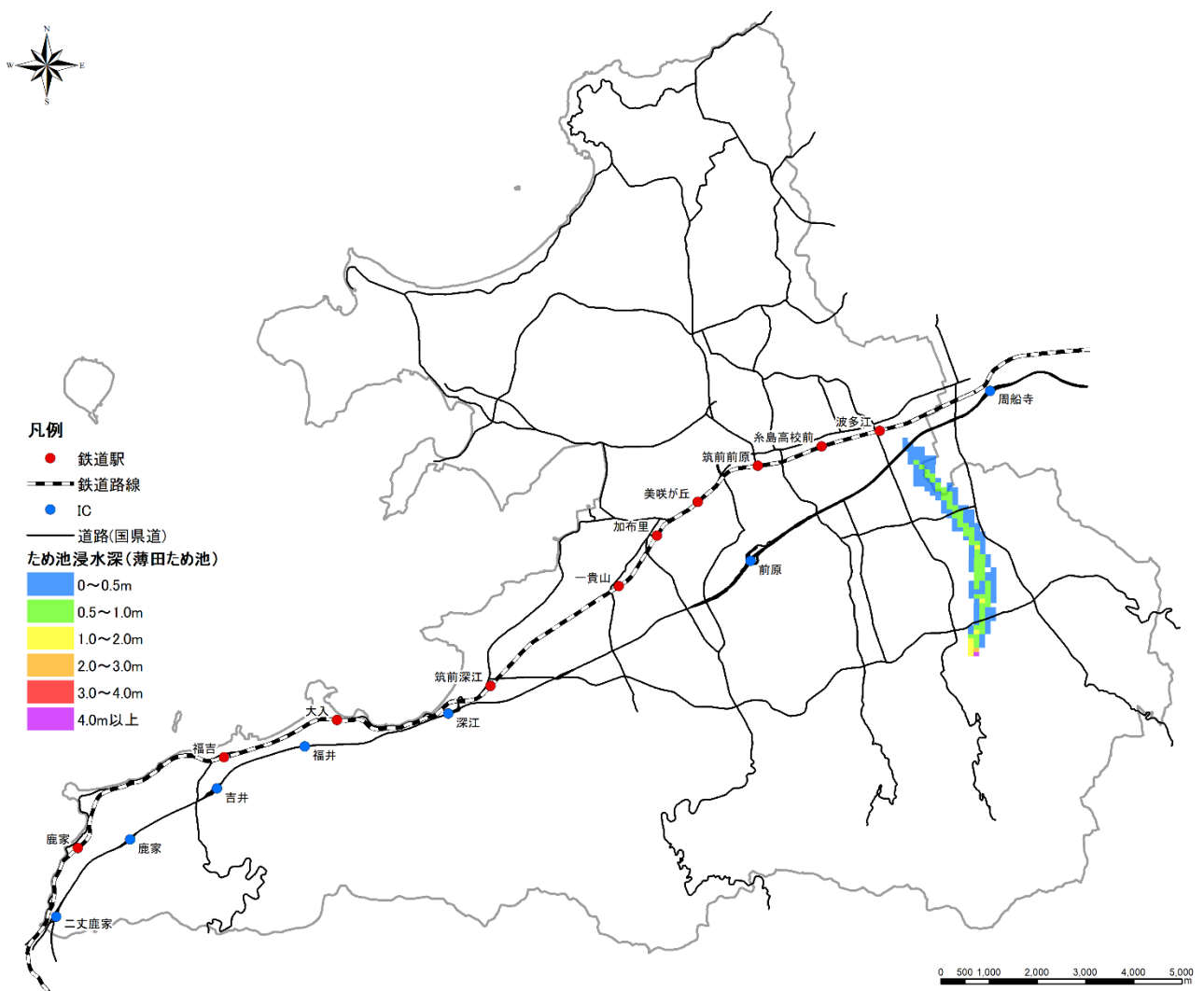
#### 4) 津波浸水想定区域



出典：庁内資料（津波浸水想定区域）

## 5) ため池浸水想定区域

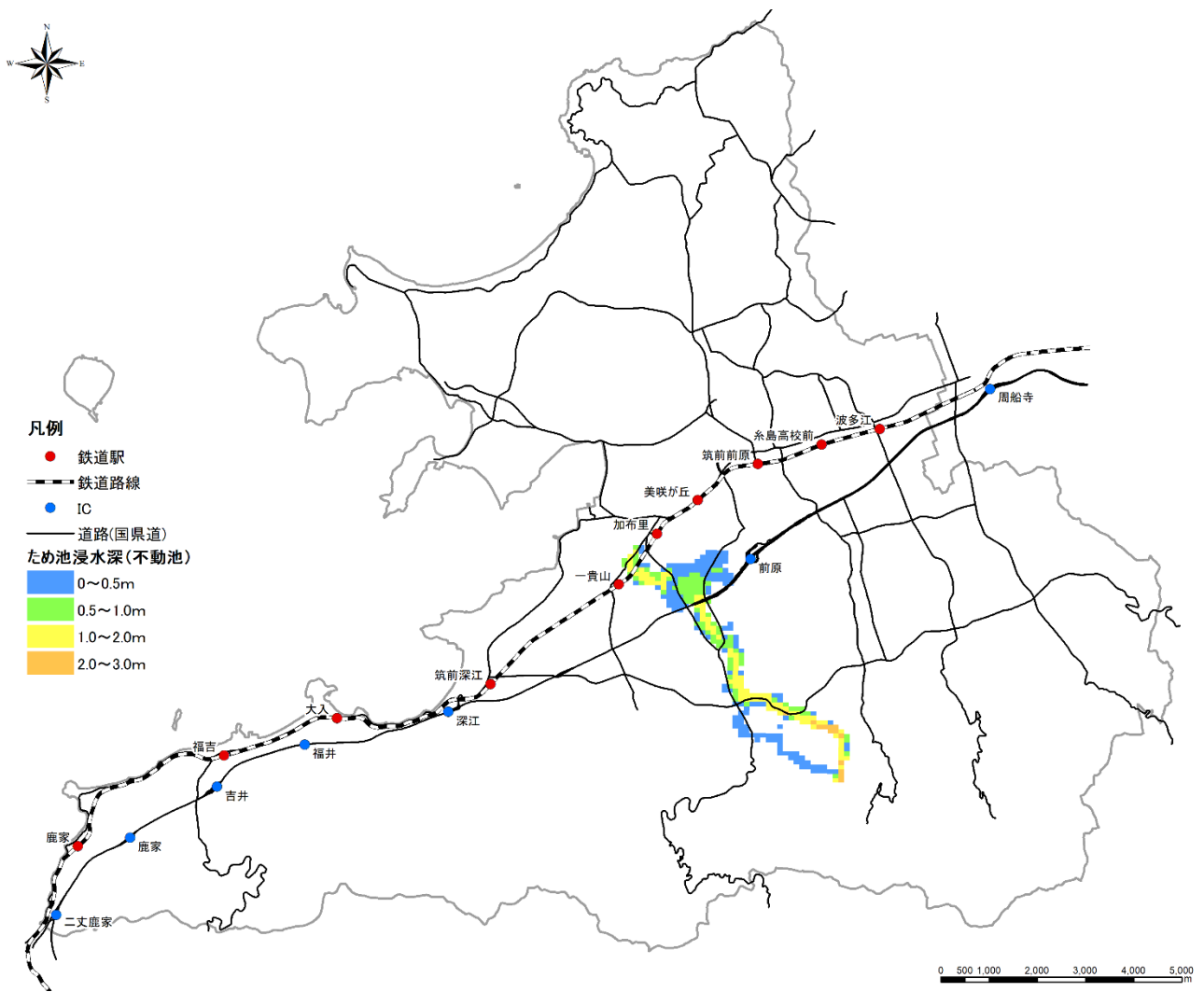
### (1) 薄田ため池



出典：庁内資料（ため池ハザードマップ）

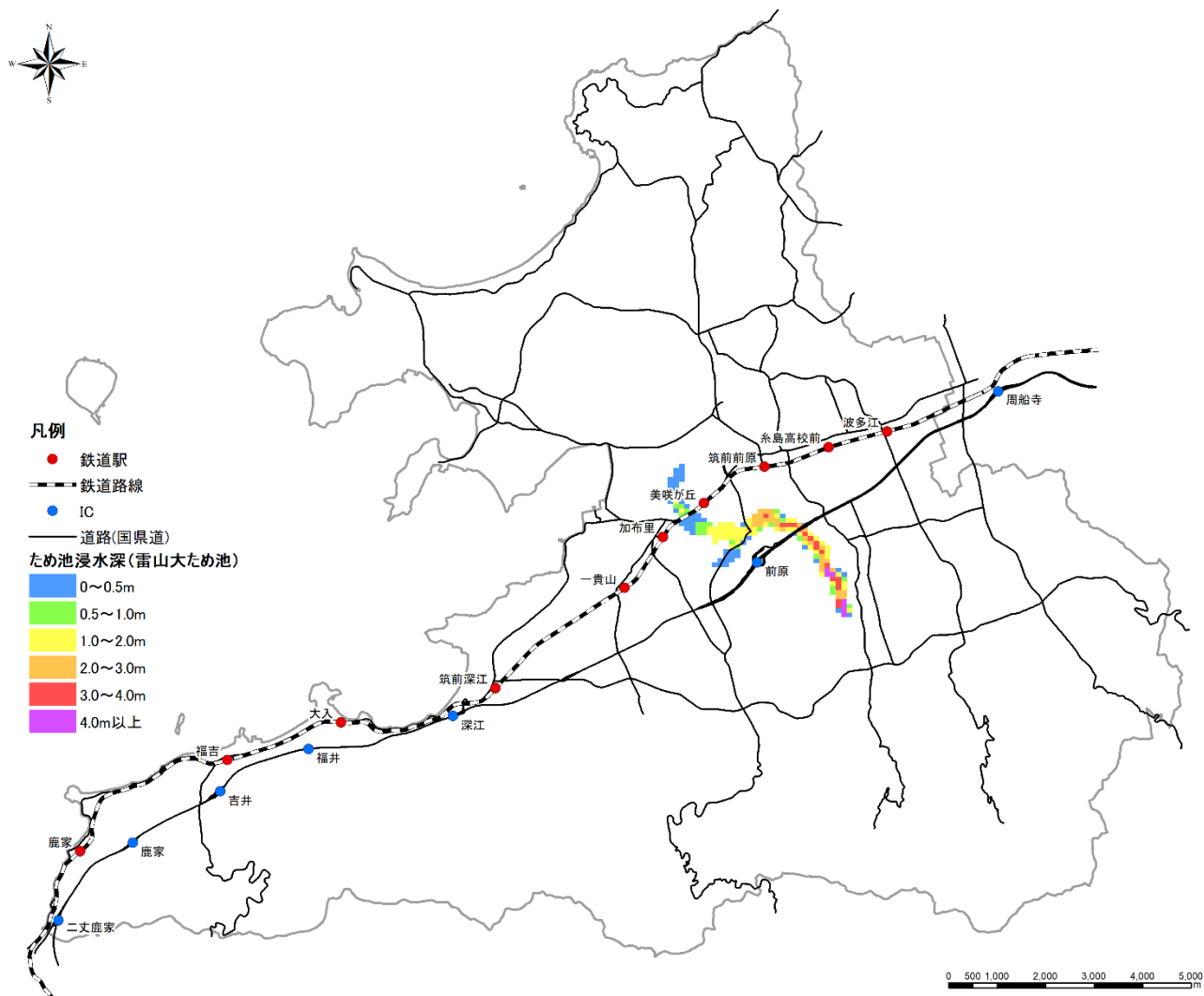


## (2) 不動池



出典：庁内資料（ため池ハザードマップ）

### (3) 雷山大ため池



出典：庁内資料（ため池ハザードマップ）

## 第2次糸島市国土利用計画策定経過

日程	内容
令和2年4月7日	庁議
令和2年4月16日	第1回第2次糸島市国土利用計画策定ワーキング会議
令和2年5月15日	第2回第2次糸島市国土利用計画策定ワーキング会議
令和2年7月21日	庁議
令和2年7月21日から 令和2年7月31日まで	庁内各課からの意見聴取
令和2年8月5日	第1回糸島市土地利用計画審議会 ・糸島市国土利用計画諮問と会長及び副会長の選任 ・国土利用計画の概要と土地利用審議会の役割説明 ・糸島市国土利用計画素案と策定スケジュールの説明
令和2年 8月から9月	福岡県関係6課協議
令和2年10月26日	第2回糸島市土地利用計画審議会 ・第1回会議及び福岡県の意見を受けての修正案説明 ・糸島市国土利用計画素案の審議
令和2年11月10日	庁議
令和2年11月11日	市議会議員全員協議会
令和2年12月4日から 令和3年 1月5日まで	パブリックコメント
令和3年 1月18日から 令和3年 2月 5日まで	第3回糸島市土地利用計画審議会（書面会議） ・庁議及び市議会議員全員協議会の意見並びにパブリックコメントを受けての計画素案の審議
令和3年 2月16日から 令和3年 3月12日まで	福岡県協議
令和3年 3月22日	糸島市土地利用計画審議会答申

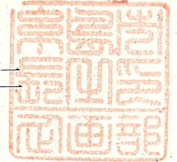
## 糸島市土地利用計画審議会 委員名簿

委員氏名	所属	役職など	備考
辰 巳 浩	福岡大学工学部社会デザイン工学科	教授	会長
松 永 千 晶	福岡女子大学国際文理学部環境科学科	准教授	副会長
内 野 敏 一	糸島市農業委員会	会長	
馬 場 秀 昭	福岡県福岡農林事務所	副所長	
森 山 衛	福岡県県土整備事務所	地域整備企画監	
朝 田 好 春		公募委員	
鈴 木 清		公募委員	
池 加 菜 子	いとしま蘭々クラブ (女性起業家環境ボランティア)	会長	
井 土 敏 幸	糸島市商工会	事務局長	
小 金 丸 肇	糸島農業協同組合	営農部・部長	
竹 原 弘 子	糸島市農業女性の会ふた葉	会長	
田 中 三 香 子	糸島市男女共同参画推進ネットワーク	代表	
外 山 貴 寛	一般社団法人糸島市観光協会	副会長	
柚 木 利 道	糸島市行政区長会	会長	
吉 村 寿 敏	糸島漁業協同組合	参事	

2糸経第380号  
令和2年8月5日

糸島市土地利用計画審議会会長 様

糸島市長 月形 祐二



第2次糸島市国土利用計画について（諮問）

このことについて、糸島市土地利用計画審議会規則第2条の規定により、下記の事案について諮問します。

記

1 諮問内容

「第2次糸島市国土利用計画案」について審議いただき、貴審議会のご意見を伺いたい。

以上

2糸経第1169号  
令和3年3月22日

糸島市長 月形 祐二 様

糸島市土地利用計画審議会  
会長 辰巳 浩

第2次糸島市国土利用計画について（答申）

令和2年8月5日付2糸経第380号で諮問のありました糸島市国土利用計画について、慎重に審議を重ねた結果、以下のとおり答申します。

少子高齢社会の本格化、経済の成熟化、環境意識の高まりなど、市土利用を巡る経済、社会の情勢を見据え、当審議会では、第2次糸島市長期総合計画に掲げる将来像の実現に向けた基本方針に基づき、有限な資源である市土の有効利用と保全に努めることを基本として、本市の個性を発揮できる計画になるよう審議を重ねて参りました。

答申に当たっては、本計画が市土の利用に関する全ての計画の指針であることを踏まえ、市土を6つの地域に区分し、九州大学伊都キャンパスの移転完了、JR筑肥線や西九州自動車道などによる利便性の高い地域の住宅、製造・物流施設や研究・開発施設用地などの需要の高まりや、自然景観・環境の保全、コミュニティの維持・活性化、観光・レクリエーションなどによる交流促進など、それぞれの地域の特性に応じた土地利用に配慮しました。

さらに、本計画は市が実施したパブリックコメントの市民意見を反映するとともに、県との協議を行い取りまとめたものであり、地域の特性を活かした土地利用の指針となるものと考えております。

貴職におかれましては、関連する施策の展開に際してこの答申が十分反映されるよう要望します。

以上